

栃木県内における後期旧石器時代の東北頁岩について（その1）

せり ざわ せい はち
芹澤 清八⁽¹⁾

はじめに
1 栃木県の状況

栃木県内の東北頁岩製石器 出土遺跡一覧
石器実測図

栃木県の後期旧石器時代の全般を通して、また縄文時代への橋渡しとなる神子柴段階から草創期では大型の尖頭器が、さらに縄文時代前期にはやはり大型な抉入尖頭器（両尖匕首）など、本県には明らかに東北地方を供給元とする珪質ないしは硬質頁岩が原礫や素材剥片、また製品として搬入されていることは疑いようもない事実である。既に下総台地では、これらの石材の使用について幾つかの時期が確認され、栃木・茨城方面を経由してもたらされたとの論考もある。このことを裏付けるためにも、先ず東北からの玄関口である本県の状況を的確に把握することが必要である。

はじめに

2022年の岩宿フォーラムでは、「東北頁岩と北関東地方」と題し、量的に僅少であるものの当該地域において岩宿時代各期に存在する東北頁岩に焦点を当てている。このテーマについて議論するにあたっては、渋谷孝雄氏による「加藤稔と東北地方の旧石器時代研究」の基調講演（渋谷2022）、基調報告では外部より中村由克氏に「東北地方の珪質頁岩（東北頁岩）について」（中村2022）、また橋本勝雄氏に「下総台地からみた旧石器時代の東北頁岩製石器の特質」（橋本2022）をお願いし、そしてさらにフォーラム実行委員6名により群馬県及び周辺地域の状況が報告されている。

今回、珪質頁岩もしくは硬質頁岩と呼称される石器石材を東北頁岩として一括りにしているが、このことについては趣旨説明で明らかにされている（岩宿フォ2022）。しかしその原産地となると、中村氏による詳細な検証がある。群馬県下の多くが山形系の「寒河江D」としながらも、色調や光沢の具合、微化石の状況等のバリエーションから高精度の石材鑑定が原産地推定に極めて有効と説いている。

1 栃木県の状況

フォーラムでは、茨城県・栃木県の状況を石川太郎氏が報告を行い（石川2022）、栃木県については芹澤が作成した当日資料が配布された¹⁾。ここでは当日資料を再録することを岩宿フォーラム実行委員より了解をいただき、またこの資料を踏まえ栃木県の状況を（その2）で検討するものである。なお、石器実測図についてはキャプションの変更はあるものの配布資料のまま²⁾、また出土遺跡一覧表については若干の訂正を加えている。

さて一覧表及び掲載図には、本県における発掘調査等によって、東北頁岩が出土した遺跡を掲載している。それはあくまでも報告書記載の珪質頁岩及び硬質頁岩とする石材名に従っており、専門者による石材鑑定以外についてはすべてが東北頁岩とする根拠に乏しい。

本県における石材の認定については、幾つかの段階を経て今日に至っているが、その一つは報告書作成時期

(1) 株式会社シン技術コンサル 文化財調査部

に関係するものである。別表内の栃木市赤羽根遺跡（田代1984）では、石材名の認定について県内に頼る研究者もなく、調査者がこれまでの経験から東北系の珪質頁岩と同一の石材名として頁岩と記載した経緯がある。古墳時代中期の大集落として注目された赤羽根遺跡であるが、削片系細石核の出土はその後の研究に必須の資料である。

一覧表への掲載はないが、小山市本郷前遺跡（芹澤1985）では石材鑑定を県内の地質に詳しい研究者にお願いしている。石器の幾つかには流紋岩や珪化木との石材名が与えられたが、その幾つかには東北頁岩に加えられべき石材であると確認されるのは数年後のことである。

1990年以降、栃木県立博物館に地質及び岩石を専門とする荒川竜一氏が赴任されてからは、特に岩宿及び縄文時代を通じ各遺跡からの出土石器について石材鑑定をお願いすることが通例となり、同一鑑定者による石材名の統一は、石材研究上極めて有効な結果をもたらすこととなる。

しかし近年では、新たに高原山麓より珪質泥岩、さらに下総半島の各所より珪質頁岩の産出とその利用が確認されたことにより（田村・国武・吉野2003、田村2005）、なおいっそう識別が混沌としている。実際に、那須町内出土や狭原根本遺跡出土の尖頭器の報告では（森嶋2015）、珪質泥岩としながら括弧書きにて珪質頁岩の名称も与えられ、また寺平遺跡では白滝頁岩の利用も報じられている（中村2015）。これまで北関東では、出土する珪質及び硬質頁岩について、すべて東北からの搬入と一括りにしてきたが、考古学を専門とする我々にとってこれを認定するには、中々ハードルが高く困難な部分と言えよう。

さて、別表の出土層位では、下位より基本となるハードローム、暗色帯（上位にAT）、ハードローム、ソフトローム（上位に今市、七本桜パミス）及び漸移層からの出土を明示し、出土石器群の様相から岩宿フォーラムによる群馬Ⅰ～Ⅴ期の根拠としている（岩宿フォ1994・2010）。しかし、中には後世の遺構内や攪乱等からの出土もあり、複数の時期が混在する遺跡もある。それらの遺跡については、一覧表の巻末に掲載し差別化を図っている。なお、出土層位が不明であっても、細石器段階のⅤ期や神子柴段階から草創期の石器群などは一見して所属時期が明確であるため、各々の時期に位置付けている。

註

- 1) 岩宿フォーラム実行委員は、今回のテーマを設定した後に、早い段階で群馬県埋蔵文化財調査事業団が保管する資料の確認を行っている。その際、茨城及び栃木県の基調報告については、石川太郎氏が担当することとし、栃木の関連資料については芹澤がまとめることとなった。本来ならば、栃木の資料もフォーラム予稿集にまとめられるべきであるが、予定を大幅に超える枚数であったため、当日の配布資料とした。
- 2) 出土遺跡一覧表では、出土石器の時期を群馬編年のⅠ～Ⅴ期に準拠している。これを南関東の編年に合わせるならばⅠ期は立川ロームⅩ・Ⅸ層、Ⅱ期はⅦ・Ⅵ層、Ⅲ期はⅤ・Ⅳ層、Ⅳ期は砂川期と槍先形尖頭器、Ⅴ期は細石器の時期となる。掲載した石器は基本的に縮尺2/3に統一しているが、中にはそれ以外のものもある。スケールを確認されたい。

参考文献

- 石川太郎 2022「茨城県・栃木県における旧石器時代の東北頁岩の利用について」『東北頁岩と北関東地方』岩宿博物館 岩宿フォーラム実行委員会
- 岩宿フォーラム 1994『群馬の岩宿時代の変遷と特色』岩宿文化資料館 岩宿フォーラム実行委員会
- 2010『北関東地方の石器文化の特色』岩宿博物館 岩宿フォーラム実行委員会
- 岩宿フォーラム実行委員会 2022「東北頁岩と北関東地方」『東北頁岩と北関東地方』岩宿博物館 岩宿フォーラム実行委員会
- 渋谷孝雄 2022「加藤稔と東北地方の旧石器時代研究」『東北頁岩と北関東地方』岩宿博物館 岩宿フォーラム実行委員会

- 芹澤清八 1985 「IV本郷前遺跡の発掘調査 イ. 先土器時代」『鷹の巣前遺跡 本郷前遺跡 向野原遺跡』栃木県教育委員会（財）栃木県文化振興事業団
- 田代 隆 1984 「第IV章 発見された遺物 第2節 石器」『赤羽根』栃木県教育委員会（財）栃木県文化振興事業団
- 田村 隆・国武貞克・吉野真如 2003 「下野—北総回廊外縁部の石器石材（第一報）—特に珪質頁岩の分布と産状について—」『千葉県史研究』第11号 千葉県
- 田村 隆 2005 「氷河時代の旅」『発掘された日本列島2005—新発見考古速報展 地域展示解説』千葉県立中央博物館
- 中村信博 2015 『寺平遺跡発掘調査報告書』市貝町教育委員会
- 中村由克 2022 「東北地方の珪質頁岩（東北頁岩）について」『東北頁岩と北関東地方』岩宿博物館 岩宿フォーラム実行委員会
- 橋本勝雄 2022 「下総台地からみた旧石器時代の東北頁岩製石器の特質—関東地方の調査成果を中心として—」『東北頁岩と北関東地方』岩宿博物館 岩宿フォーラム実行委員会
- 森嶋秀一 2015 「栃木県那須町出土の大型尖頭器について」『栃木県立博物館研究紀要』第32号 栃木県立博物館

栃木県内の東北頁岩製石器 出土遺跡一覧

No	時期	遺跡名	地点・文化層	全体数量	珪質頁岩製の点数	珪質頁岩製石器の内容	備考	資料所蔵者	調査報告書
1	I 期	上林遺跡 かみばやしいせき 出土層位は暗色帯下部	第2文化層 A-01～A-64にエ リア区分	3,564点 (エリア外24)	38点 (外2.1%) チャート2854, 黒曜石382, 流紋岩53, 砂岩43, ガラス質 黒色安山岩42, ホルンフェル ス36, 黒色頁岩34, 頁岩14な ど	ナイフ状石器6, 微細剥離痕 剥片14, 石核2, 剥片類16	石材鑑定は柴田徹 館 荒川竜一	佐野市教委	出居 博 2004『上林遺跡』 佐野市教育委員会
2	I～II 期	大志白遺跡群 おおしじろいせきぐん 出土層位はAT下位の暗色 帯中	1地区 1～3ブロック 4-1地区 1・2ブロック 5-1地区 1～3ブロック 5-2地区 1～4ブロック 6地区 1～6ブロック 7地区 1～6ブロック	31点 32点 21点 35点 95点 401点	10点 (32%) 安山岩12, 流紋岩2など 3点 (9%) 流紋岩17, 安山岩4, ホルン フェルス3など 4点 (19%) 黒曜石6, 流紋岩4など 8点 (23%) 安山岩15, 黒曜石7, 流紋岩3 など 1点 (1%) 安山岩43, 黒曜石29, 流紋岩 6, ホルンフェルス6など 1点 (0.003%) 安山岩287, ホルンフェルス 73, 流紋岩9など	ナイフ形石器1, 彫器1, U フレ4, 剥片4 彫器1, Uフレ1, 石核1 Uフレ1, 切断剥片2, 剥片1 台形礫石器1, 剥片7 彫器1 切断剥片1	石材鑑定は県立博物 館 荒川竜一	宇都宮市教委 (河内町)	戸田正勝 2000『大志白遺跡』 群発掘調査報告書(旧石器時 代編)』河内町教育委員会
3	II 期	上神主・茂原遺跡 かみこうぬし・もばらいせき 出土層位は暗色帯を含む 上下のハードルーム内, 集中範囲は暗色帯	第1ブロック	284点	40点 (14%) 珪質頁岩20点の接合資料 他に流紋岩質凝灰岩71点の接 合資料あり	石核1, Rフレ3, 剥片36 (ブロック外に同一石材のナ イフ形石器あり)	石材鑑定は県立博物 館 荒川竜一	栃木県教委	安永真一 2001『上神主・茂 原 茂原向原 北原東』栃木 県教育委員会 (朝)とちぎ生 涯学習文化財団
4	II 期	塚崎遺跡 つかさきいせき 第2文化層 出土層位は暗色帯上位～ ハードルーム内	ブロックB	291点	3点 (0.1%) チャート110, ホルンフェルス 46, 安山岩36, 玉髓36, 黒曜 石10, 流紋岩9, 流紋岩質凝灰 岩9など	ナイフ形石器1, 削器1, U フレ1	石材鑑定は県立博物 館 荒川竜一	栃木県教委	斎藤 弘 1994『塚崎遺跡』 栃木県教育委員会 (朝)とちぎ 生涯学習文化財団
5	II 期	伊勢崎II遺跡 いせきにいせき 第II文化層 1区1～3号 2区4～9号 3区10号ブロック 出土層位は暗色帯下部 上位に1～5ブロックを伴 う第I文化層あり 出土層位は暗色帯上部～ ハードルーム 珪質頁岩は皆無	1号ブロック 2号ブロック 3号ブロック 4号ブロック	25点 243点 43点 (外8) 26点	5点 (20%) 黒色安山岩13, 流紋岩質溶結 凝灰岩3など 128点 (53%) 流紋岩質溶結凝灰岩74, 流紋 岩質凝灰岩32, 黒色安山岩7な ど 20点 (外4.47%) 流紋岩質凝灰岩10, 黒色安山 岩6, 流紋岩質溶結凝灰岩6な ど 10点 (38%) 流紋岩質凝灰岩6, 黒色安山岩 3, 泥岩3, 玉髓2など	剥片2, 砕片3 石刃18, 石核3, Rフレ3, Uフレ1, 剥片63, 砕片40 石刃3, Uフレ1, 剥片12, 砕片4 石刃2, 石核2, 剥片6	石材鑑定は県立博物 館 荒川竜一	栃木県教委	森嶋秀一 2000『伊勢崎II遺 跡』栃木県教育委員会 (朝)栃 木県文化振興事業団

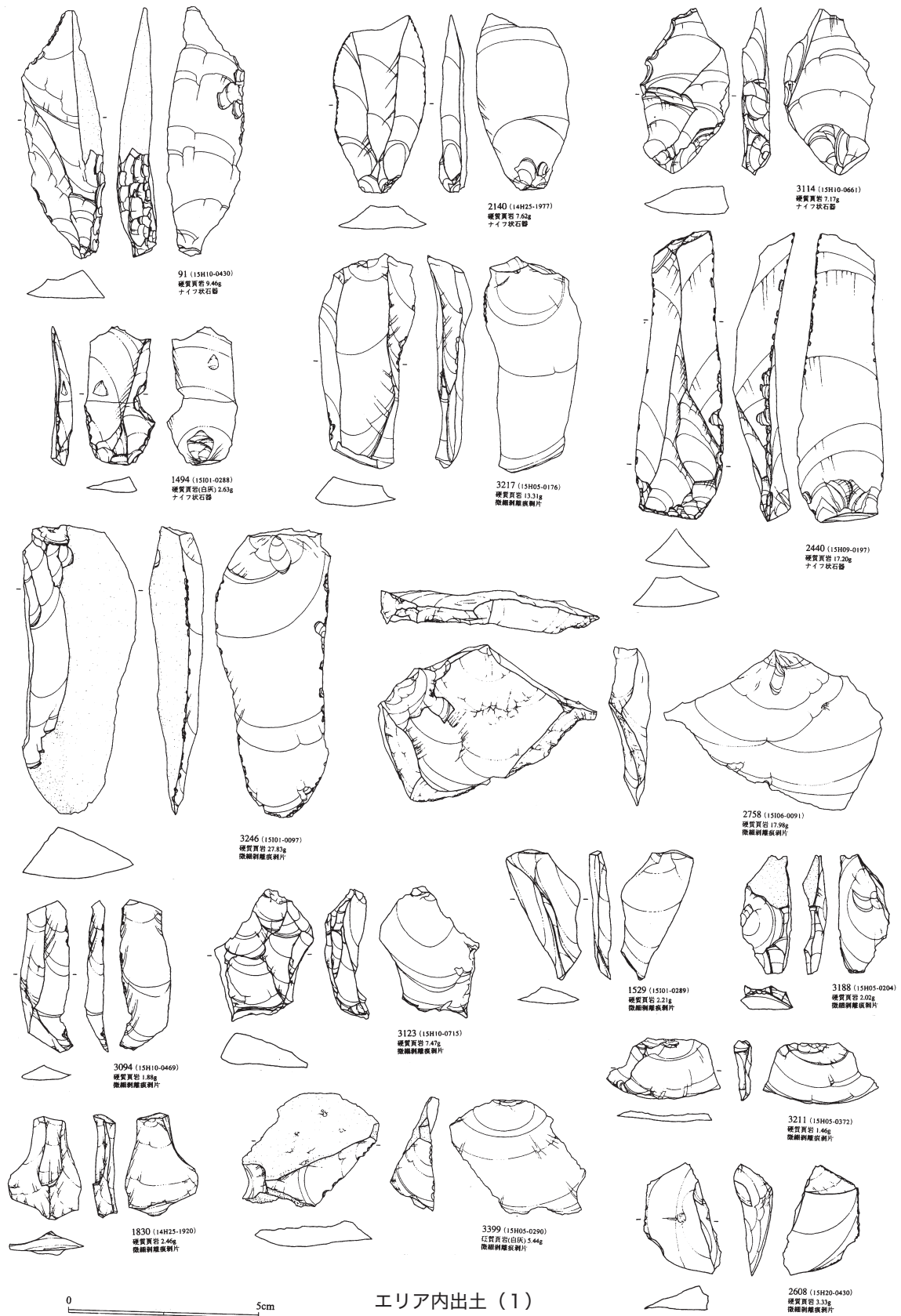
				5号ブロック	44点	30点 (68%) 流紋岩質溶結凝灰岩11, 黒色 安山岩2など	石刃3, 石核2, 剥片13, 砕 片12					
				6号ブロック	64点	24点 (38%) 流紋岩質溶結凝灰岩17, 黒色 安山岩14, 流紋岩質凝灰岩4な ど	彫器1, 石刃2, 敲石1, 剥 片13, 砕片7					
				7号ブロック	33点	8点 (24%) 流紋岩質溶結凝灰岩13, 流紋 岩質凝灰岩4, 黒色安山岩3, 黒曜石3など	剥片8					
				8号ブロック	22点	4点 (18%) 黒色安山岩6, 流紋岩質凝灰岩 4, 流紋岩質溶結凝灰岩2, 石 英2など	剥片2, 砕片1, 原礫1					
				9号ブロック	27点 (外17)	9点 (外4.53%) 流紋岩質凝灰岩2など	石刃2, 楔形石器1, 剥片 3, 砕片21					
				10号ブロック	35点 (外1)	10点 (外1.35%) 流紋岩質凝灰岩18, 黒色安山 岩5など	石刃1, 剥片5, 砕片3					
6	II期	寺平遺跡 てらだいらいせき 第2文化層 (B地点) 出土層位はハードローム 下半部		第1ブロック	132点 石材分析掲載は 58点	8点 (6%) 黒曜石47, 泥岩3など	ナイフ形石器2, 先刃搔器 1, 二次加工剥片2, 剥片3		石材鑑定は報告者 黒曜石は建石徹ほか	市貝町教委	中村信博. 2015『寺平遺跡発 掘調査報告書』市貝町教育委 員会	
7	III期	三ノ谷東遺跡 さんのやひがしいせき III地区 第2文化層 出土層位はハードローム 上位~ソフトローム下位 III地区 第3文化層 出土層位の中心はハード ローム		第2ブロック	396点 石材分析掲載は 215点	8点 (3%) 黒曜石197, 流紋岩2, 安山岩 2など	ナイフ形石器1, 剥片7		石材鑑定は県立博物 館 荒川竜一	栃木県教委	田代 隆. 1990『三ノ谷東・ 谷館野北遺跡』栃木県教育委 員会 (栃木県文化振興事業 団)	
8	III期	上林遺跡 かみばやしせいせき 第1文化層 出土層位はハードローム 内As-BP~ソフトローム 内As-YP間		散漫な1ブロック ブロック外	22点	1点 (0.45%) 黒曜石, 安山岩主体 5点	剥片1 尖頭器1, ナイフ形石器1, 有髄尖頭器1, 削器2		石材鑑定は柴田徹	佐野市教委	出居 博. 2004『上林遺跡』 佐野市教育委員会	
9	III~IV期	エプロ遺跡 えぐろいせき 文化層はハードローム上 位~ソフトローム		集中箇所C-1, C-2, C-3, 集中 以外 1~7ブロック (2 号と3に接合あ り)	2,005点	備かに10点程度 99%は足尾山系の層状チャ ー ト 9点 (9%) 黒曜石46, チャート22, 黄玉 石10, 碧玉5など	大型な削片1, 有髄尖頭器 1, 尖頭器1, 搔器1, 削器 1, 石刃など これ以外に凝灰質泥岩の大 型石刃型削器が複数あり		石材鑑定は県立博物 館 荒川竜一	佐野市教委	芹澤清八. 2001『エグロ遺跡』 栃木県教育委員会 (助とちぎ 生涯学習文化財団)	
10	III~IV期	寺野東遺跡 てらのひがしいせき		地点外出土		6点	ナイフ形石器2, 有髄尖頭器 2, 削器1, 彫器1		石材鑑定は県立博物 館 荒川竜一	栃木県教委	森嶋修一. 1998『寺野東遺跡 I (旧石器時代編)』栃木県教 育委員会 小山市教育委員会 (栃木県文化振興事業団)	

No.	時期	遺跡名	地点・文化層	全体数量	珪質頁岩製の点数	珪質頁岩製石器の内容	備考	資料所蔵者	調査報告書
11	IV期	八幡根東遺跡 やはたなほがしいせき 出土層位はAs-BPより上 位で、As-YPに近い位置	第1プロック 第2プロック 第3プロック 第4プロック 第5プロック 第6プロック 第7プロック 第8プロック 第9プロック プロック外	60点 49点 286点 21点 42点 31点 36点 44点 12点 30点	37点 (62%) 珪質凝灰岩7, 油性頁岩4, 安 山岩4, チャート3など 13点 (27%) 珪質凝灰岩21, 安山岩14, 黒 曜石1 177点 (62%) チャート41, 珪質凝灰岩28, 凝灰岩22, 黒曜石6など 21点 (100%) 37点 (88%) 珪質凝灰岩2, 油性頁岩2, ホ ルンフェルス1 29点 (94%) 油性頁岩1, チャート1 32点 (89%) 油性頁岩2, チャート1, 珪質 凝灰岩1 38点 (86%) ホルンフェルス2, チャート2 など 6点 (50%) 安山岩2, 凝灰岩1, 珪質凝灰 岩1, チャート1など 15点 (50%) チャート6, 黒曜石3, 油性頁 岩2, 玉髄2など 1点 (0.002%) 黒曜石514など	彫器1, 搔器1, Uフレ2, R フレ3など ナイフ形石器1, 鋸歯縁石器 1, 錐1, 石核1など ナイフ形石器2, 削器3, 挟 入石器1, 尖頭器2, Uフレ 35, Rフレ16など 唯一尖頭器含む ナイフ形石器2, Uフレ2, 剥片7など ナイフ形石器5, 彫器1, 円 形搔器1, 削器1など 搔器1, 削器1, 錐1など 彫器2, 搔器1, 円形搔器 1, 削器1, Uフレ3など ナイフ形石器1, 挟入石器 1, 削器1, 石核2など ナイフ形石器1, 石核2など ナイフ形石器6, 削器1, U フレ4, Rフレ3など	石材鑑定は県立博物 館 荒川竜一	栃木県教委	斎藤 弘 1996 『八幡根東遺 跡』 栃木県教育委員会 栃木文化振興事業団
12	IV期	多功南原遺跡 たこうみなみほらいせき 出土層位はソフトロー ム 1～13プロック中、1, 4, 5, 7～9は珪質頁岩の出 土なし	第2プロック 第3プロック 第6プロック 第10プロック 第11プロック 第12プロック	519点 80点 504点 434点 582点 644点	1点 (0.002%) 黒曜石514など 3点 (0.04%) 黒曜石50, 溶結凝灰岩8, 花崗 岩6, チャート5, 安山岩4凝灰 質頁岩3など 9点 (0.02%) 黒曜石378, 溶結凝灰岩32, 玉髄19, チャート15, 流紋岩 11, 凝灰質頁岩10, 珪質凝灰 岩8など 1点 (0.002%) 黒曜石427, 玉髄4など 8点 (0.014%) 黒曜石530, 玉髄22, チャー ト5, 珪質凝灰岩5など 8点 (0.012%) 黒曜石578, 玉髄22, 凝灰質 頁岩12, チャート9, 溶結凝灰 岩6など	剥片1 剥片3 ナイフ形石器1, 石刃4, 剥 片4 剥片1 剥片8 剥片8	石材鑑定は県立博物 館 荒川竜一	栃木県教委	山口耕一 1999 『多功南原遺 跡《旧石器・縄文編》』 栃木県 教育委員会 興事業団

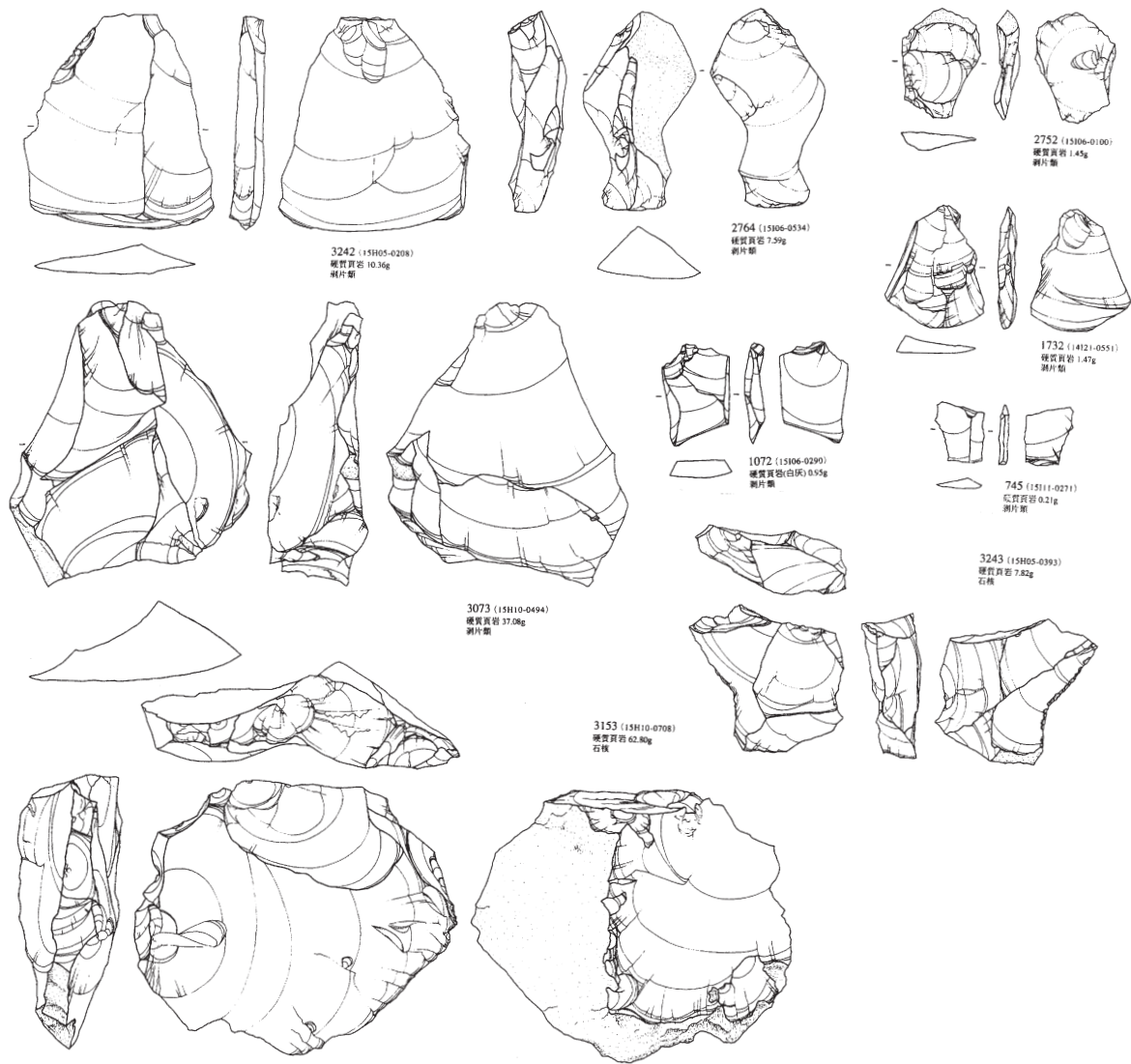
栃木県内における後期旧石器時代の東北頁岩について（その1）

13	IV期	寺平遺跡 てらひらいせき 第1文化層 (A地点) 出土層位はソフトローム 中位	第13ブロック ブロック外	174点 30点	2点 (0.011%) 黒曜石169, チャート2など 6点 (0.2%)	剥片2 尖頭器1, 細石刃核1, 剥片4 尖頭器1, 尖頭器未成品1, 剥片45 尖頭器5, 尖頭器未成品2, 削片1, 削器2, 石核4, 剥 片91 剥片27	石材鑑定は報告者 黒曜石は建石徹ほか	市貝町教委	中村信博 2015『寺平遺跡発 掘調査報告書』市貝町教育委 員会
14	IV期	西裏遺跡 にしうらいせき	第1ブロック 第2ブロック 第3ブロック 第4ブロック 第5ブロック 第6ブロック	197点 132点 644点 265点 716点 239点 424点 263点 428点 245点 3点 17点	47点 (36%) 流紋岩46, チャート23, 安山 岩9など 105点 (40%) 珪質凝灰岩60, チャート57, 流紋岩46など 27点 (11%) チャート155, 流紋岩54, 碧 玉4など 62点 (24%) 流紋岩77, チャート49, 碧玉 21, 安山岩15, 珪質凝灰岩 14, ホルンフェルス9など 44点 (18%) チャート105, 流紋岩52, 玉 髓17, 黒曜石9, 珪質凝灰岩2 など 3点 (100%) 7点 (33%) 黒曜石4, 玉髓2, ホルンフェ ルス, 頁岩, チャート, 珪質 凝灰岩各1	尖頭器1, 彫器2, 削 片5, 石核1, 微細剥離剥片 1, 調整剥片2, 剥片50 尖頭器未成品1, 削片4, 石 核2, 微細剥離剥片1, ドリ ル2, 石刃2, 剥片32 尖頭器1, 剥片2 ナイフ形石器3, 尖頭器2, Uフレ1	石材鑑定は報告者	栃木県教委	斎藤 弘 1996『西裏遺跡』 栃木県教育委員会 (栃木県 文化振興事業団)
15	IV期	小倉水神社裏遺跡 おぐらみずんじやうらいせき 出土層位はローム層上位 及び後世の遺構内出土	ユニット外	19点	4点 (21%) チャート5, 流紋岩4, 黒曜石3	ナイフ形石器1, 尖頭器2, 二次加工剥片1	石材鑑定は県立博物館 館 荒川竜一	栃木県教委	塚本師也 1990『小倉水神社 裏遺跡』水木東遺跡』栃木県 教育委員会 (栃木県文化振 興事業団)
16	IV～V期	西赤堀遺跡 にしあかほりいせき 出土層位は今市パミス直 下のソフトローム上部	第1ブロック 第2ブロック 第3ブロック 第4ブロック	328点 69点 81点 2点	101点 (31%) 凝灰質頁岩42, 溶結凝灰岩34 など 27点 (39%) 安山岩27, 砂岩9, 凝灰質頁岩 7など 41点 (51%) 凝灰質頁岩13, 溶結凝灰岩9, 安山岩7など 1点 2点	Uフレ2以外は剥片 (実測図の掲載なし) 搔器1, Uフレ1 剥片41 剥片1	石材鑑定は県立博物館 館 荒川竜一	栃木県教委	上野修一 1996『西赤堀遺跡』 栃木県教育委員会 (栃木県 文化振興事業団)
17	V期	赤羽根遺跡 あかほねいせき	後世の遺構内出 土	2点	削片系細石刃核1, 削器1 他に細石刃あり	削片系細石刃核1, 削器1 他に細石刃あり	石材鑑定は報告者	栃木県教委	田代 隆 1984『赤羽根』栃 木県教育委員会 (栃木県文 化振興事業団)
18	草創期	三ノ谷東遺跡 さんのやひがしいせき III地区 第1文化層 出土層位はソフトローム 上位～漸移層	1ブロック	1,463点	276点 (19%) 珪質頁岩, 流紋岩主体	柳葉形尖頭器3, 搔器2	石材鑑定は県立博物館 館 荒川竜一	栃木県教委	田代 隆 1990『三ノ谷東・ 谷館野北遺跡』栃木県教育委 員会 (栃木県文化振興事業 団)

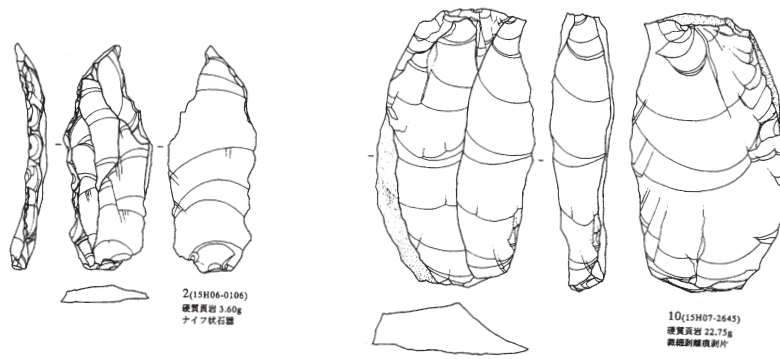
No	時期	遺跡名	地点・文化層	全体数量	珪質頁岩製の点数	珪質頁岩製石器の内容	備考	資料所蔵者	調査報告書
19	草創期	山崎北遺跡 やまさききたいせき	包含層出土		3点	半月形石器1, 尖頭器1, 石器1	石材鑑定は県立博物館 荒川竜一	栃木県教委	上野修一 1998『山崎北・倉沢・台耕地・関口遺跡』栃木県教育委員会(勸)栃木県文化振興事業団
20	V期～草創期	那須官衙岡遺跡 なすかつかんがくれんいせき	後世の遺構内出土		3点	荒屋型彫器1, 種子柴型尖頭器1, Uフレ1	石材鑑定は報告者	栃木県教委	森嶋秀一 2000『那須官衙岡遺跡発掘調査報告Ⅱ』栃木県教育委員会(勸)栃木県文化振興事業団
21	草創期	川木谷遺跡 かわきやいせき	一括採取資料	29点	14点(48%) 安山岩6, チャーコート4, 流紋岩4, 石英1など	彫搔器1, 搔器5, 削器5, ドリル2 他石材に種子柴型石斧3, 尖頭器7, 搔器1, 削器2, 石斧調整剥片1など	石材鑑定は報告者	個人蔵 大田原市指定文化財	芹澤清八 1989『川木谷遺跡の石器群について』『川木谷遺跡』黒羽町教育委員会
22	草創期	片府田富士山遺跡 かたふたふじやまいせき	後世の遺構内出土	19点	15点(79%) 黒色安山岩2, 珪質凝灰岩1, 凝灰岩1	尖頭器2, 調整剥片2, 石刃4, 石核4, 剥片3	パリノ・サーベイ	大田原市教委	津野田陽介 2012『片府田富士山遺跡』大田原市教育委員会
23	草創期	谷館野東遺跡 やだてのひがしいせき	単独出土		1点	大形尖頭器	石材鑑定は報告者	栃木県教委	田代 隆 1993『谷館野東・谷館野西・上芝遺跡』栃木県教育委員会(勸)栃木県文化振興事業団
24	草創期	狭原根本遺跡 せぼはらねもといせき	単独出土		1点	大形尖頭器未成品	石材鑑定は報告者	個人蔵	森嶋秀一 2011『栃木県東部の縄文遺跡』『氏家の歴史と文化』10
25	草創期	鹿沼流通業務団地内遺跡 かぬまろっぽんぎいせき ハードルーム上部～ソフトルーム下部	C区グリッド出土		2点	大型な柳葉形の尖頭器1, 木葉形尖頭器1 他石材に片刃石斧3	石材鑑定は県立博物館 荒川竜一	栃木県教委	芹澤清八 1991『鹿沼流通業務団地内遺跡』栃木県教育委員会(勸)栃木県文化振興事業団
26	草創期	那須町内出土 なすちやうないしゅうつど	採集資料		1点	大型尖頭器	石材鑑定は報告者	個人蔵	森嶋秀一 2015『栃木県那須町出土の大型尖頭器について』『栃木県立博物館研究紀要』第32号
27	草創期	迹室遺跡 いせむろいせき	採集資料		1点	大型尖頭器	石材鑑定は報告者	那須町教委	那須町教育委員会 1963『栃木県那須郡脇沢遺跡・迹室遺跡調査報告』
28	草創期	小深遺跡 おぶかいせき	採集資料		1点	大型の木葉形尖頭器	石材鑑定は報告者		中村紀男 1964『栃木県小深発見の尖頭器について』『若木考古』70号 國學院大学
29	Ⅲ～Ⅳ期	間々田六本木遺跡 ままだろっぽんぎいせき ハードルーム上部～ソフトルーム下部	3号墳周辺出土	62点	16点? 流紋岩, 黒曜石, 安山岩など(すべての石材記載なし)	ナイフ形石器1, 石刃含む剥片15 他の石材のナイフ形石器や 両面調整の尖頭器あり	石材鑑定は県立博物館 荒川竜一	栃木県教委	片根義幸 1997『間々田地区遺跡群Ⅰ』栃木県教育委員会(勸)栃木県文化振興事業団
30	Ⅱ期 Ⅲ～Ⅴ期	八剣遺跡 やつたるぎいせき 出土層位はハードルーム下部	第1ブロック 後世の遺構内出土	2点 17点	1点(Na7)	両面縁に疎らな二次加工, 他にナイフ形石器 ナイフ形石器1, 大型有樋尖頭器1, 細石刃1, 石刃4, Rフレ1	網アールカ	栃木県教委	玉橋さやか 2001『八剣遺跡(本文編Ⅰ)』栃木県教育委員会(勸)とちぎ生涯学習文化財団
31	Ⅳ期	西山遺跡 にしやまいせき	ブロック外・攪乱層出土	37点 縄文時代の石器も混在か	11点(29%)	ナイフ形石器2, 尖頭器2, 搔器1, 削器3, 縦長剥片2, 石核1	網アールカ	小山市教委	松井 泉 1996『西山遺跡発掘調査報告書』小山市教育委員会



第1図 上林遺跡 第II文化層出土石器 (1)



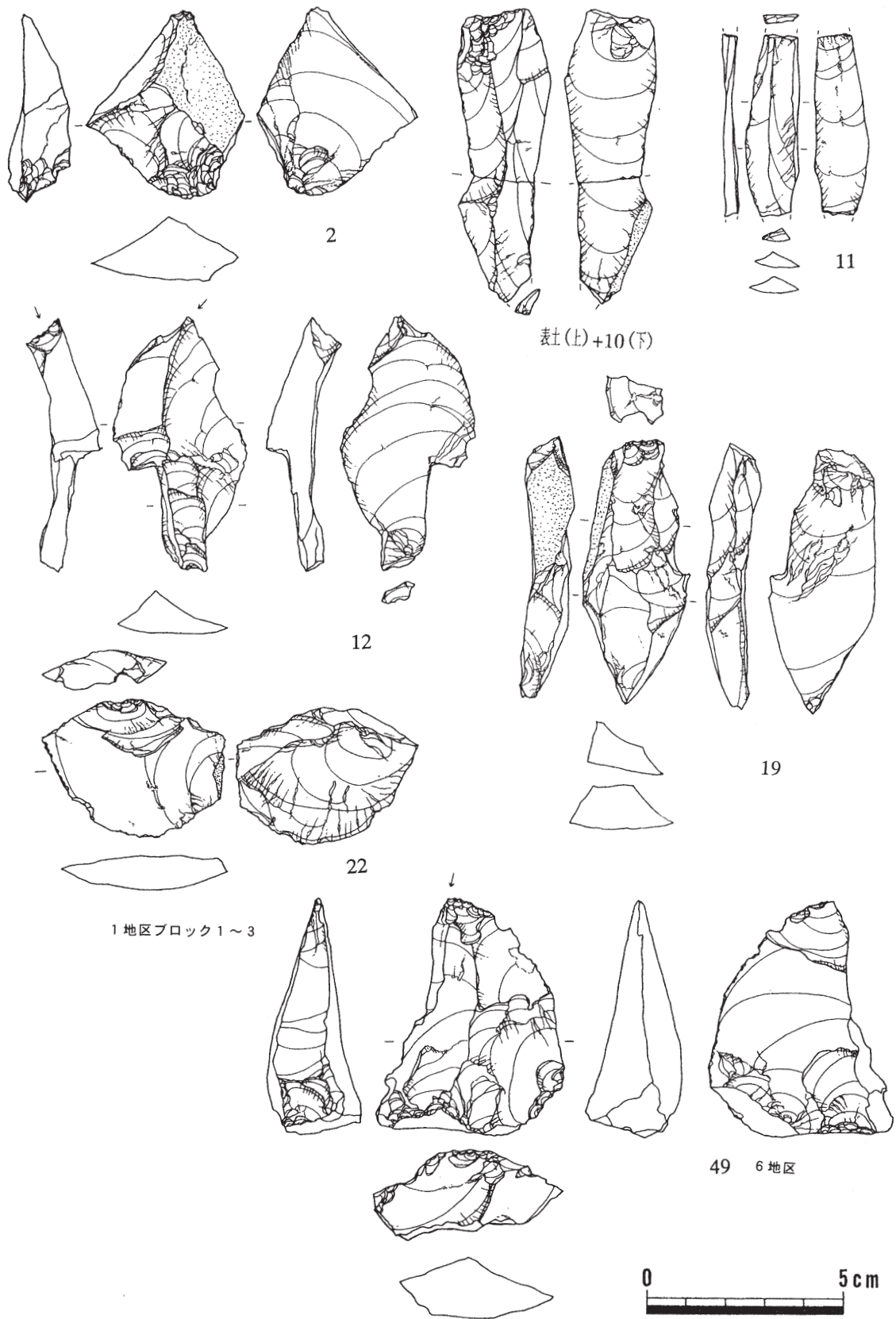
エリア内出土 (2)



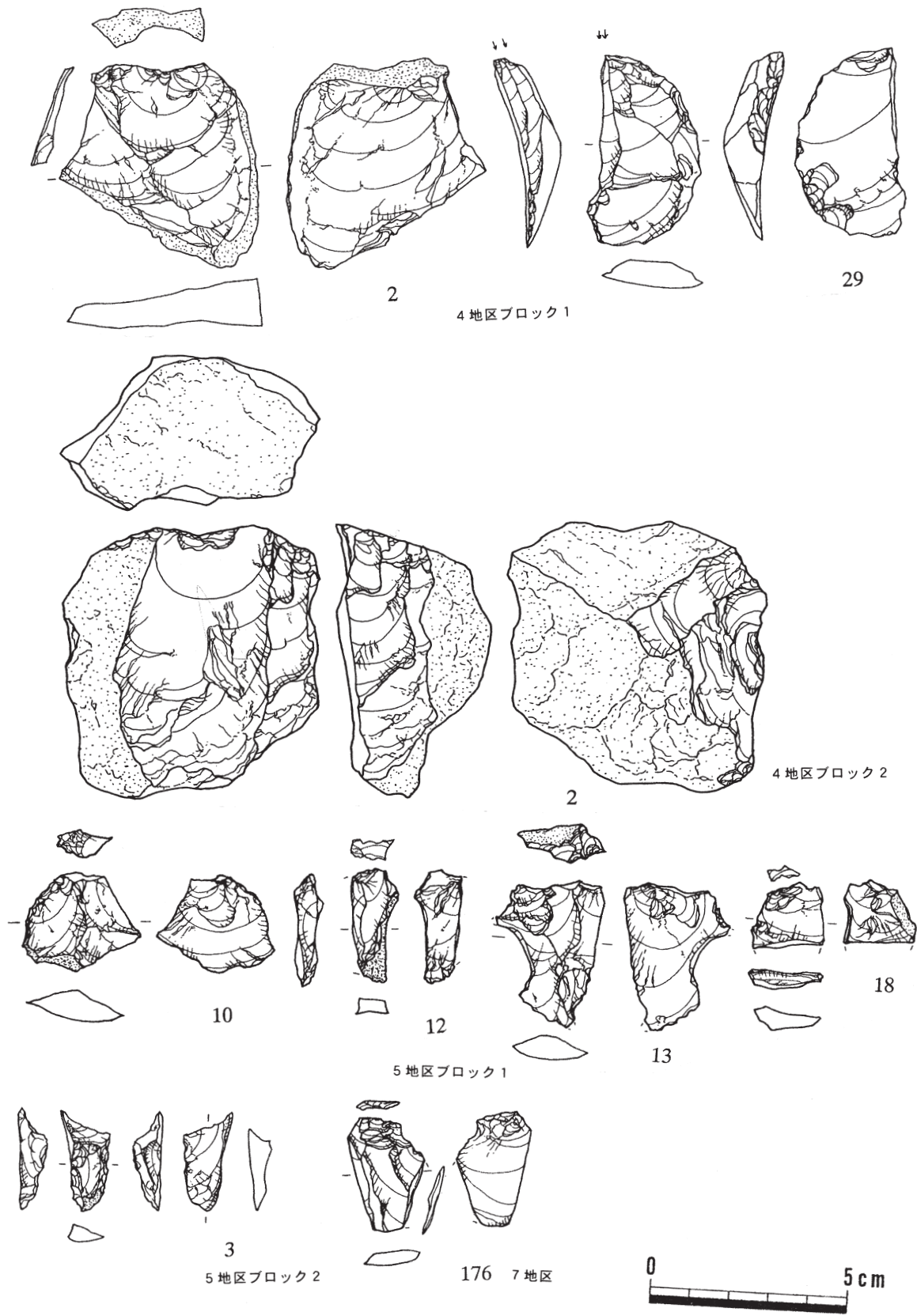
0 5cm

エリア外出土

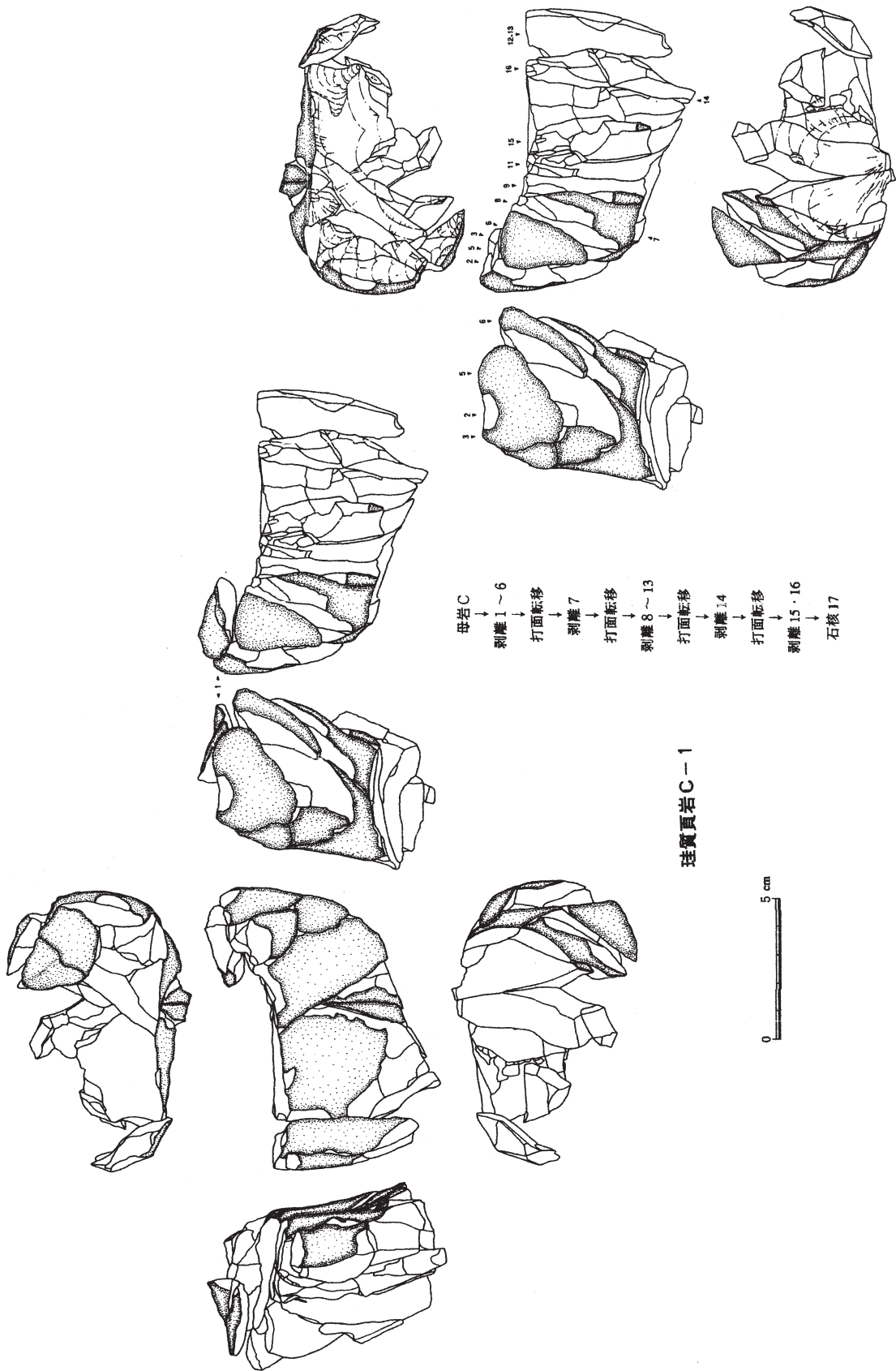
第 2 図 上林遺跡 第 II 文化層出土石器 (2)



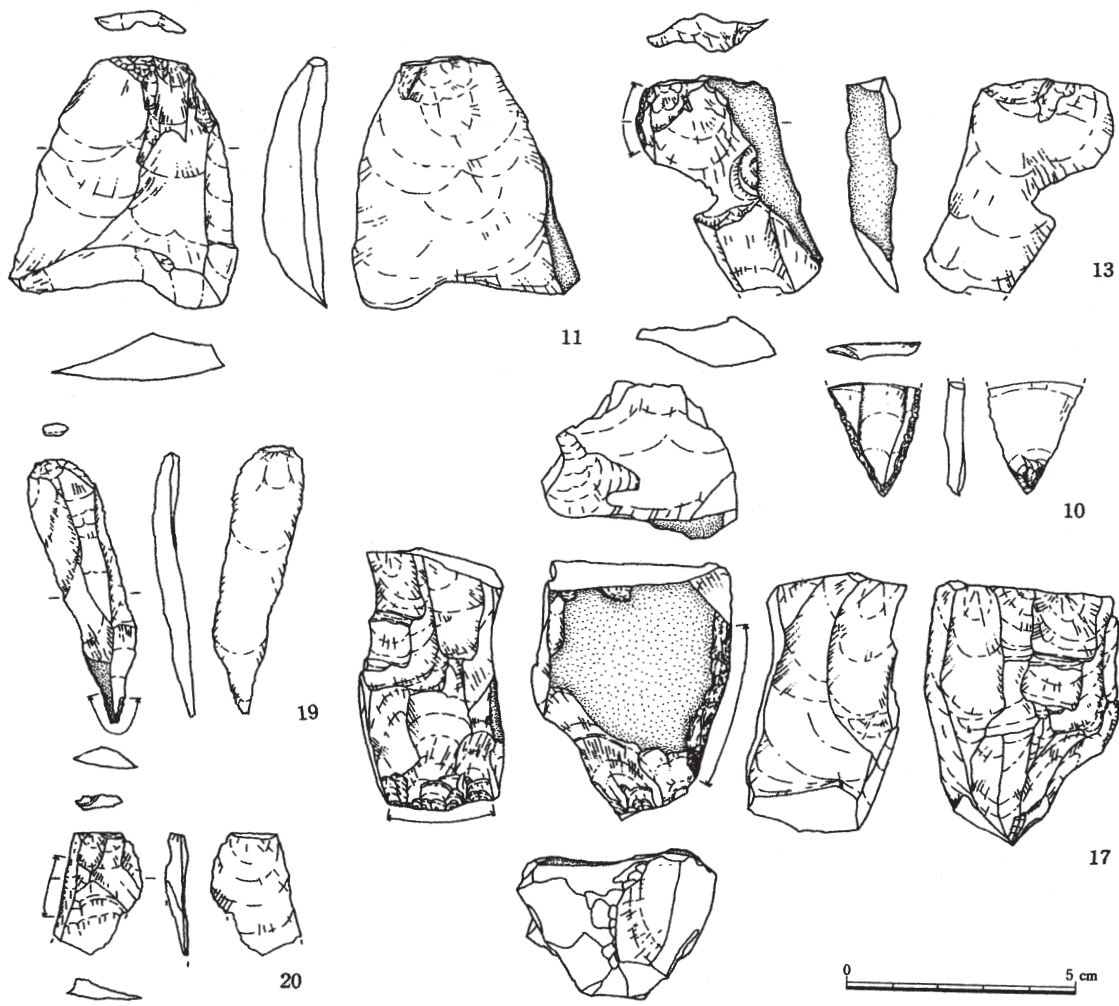
第3図 大志白遺跡 1・6地区出土石器



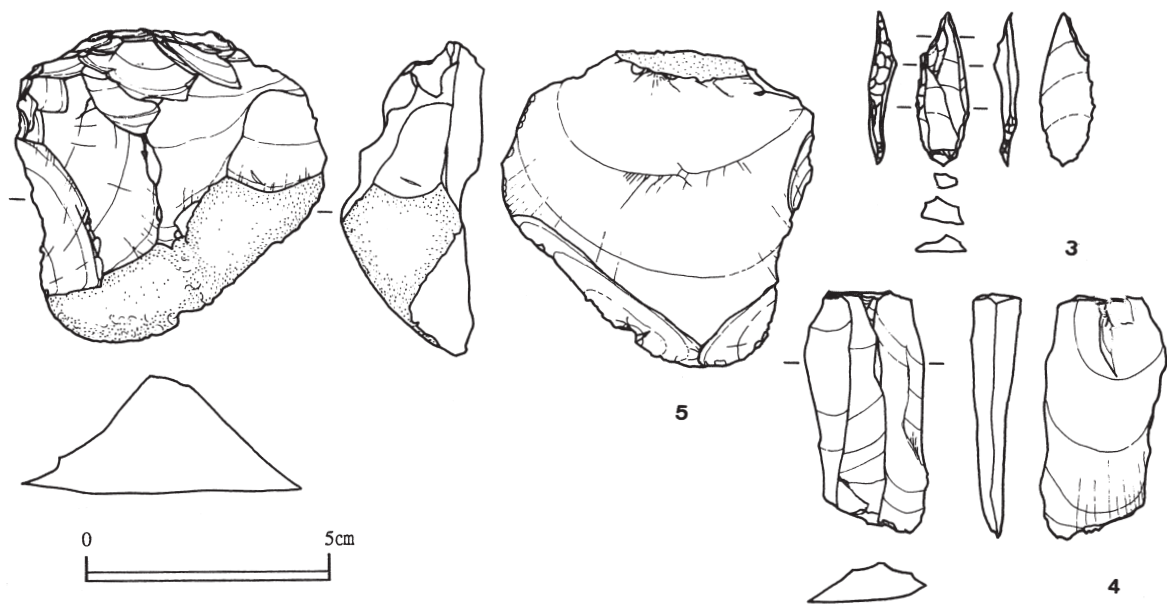
第4図 大志白遺跡 4・5・7地区出土石器



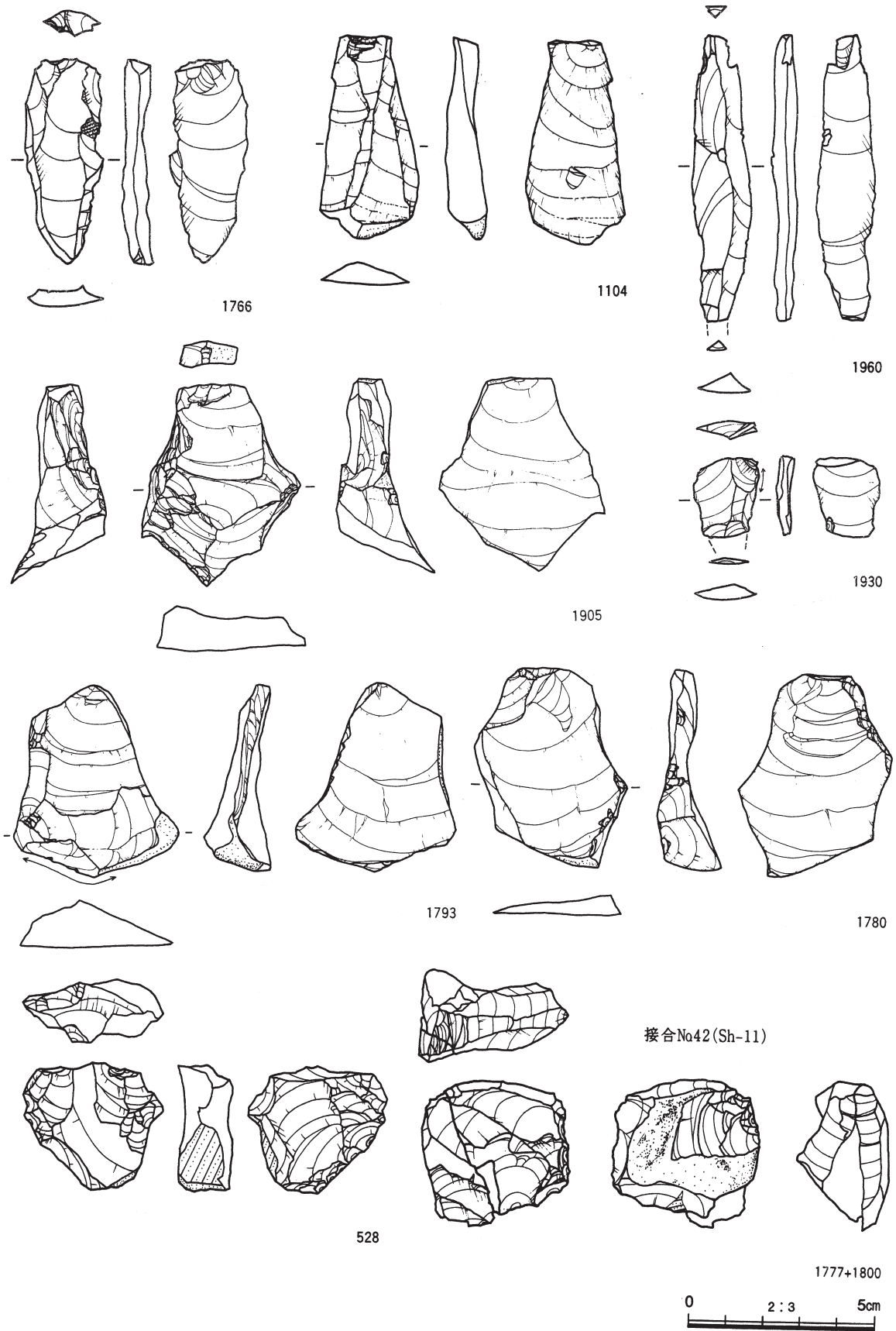
第5図 上神主・茂原遺跡 第1ブロック出土石器（1）



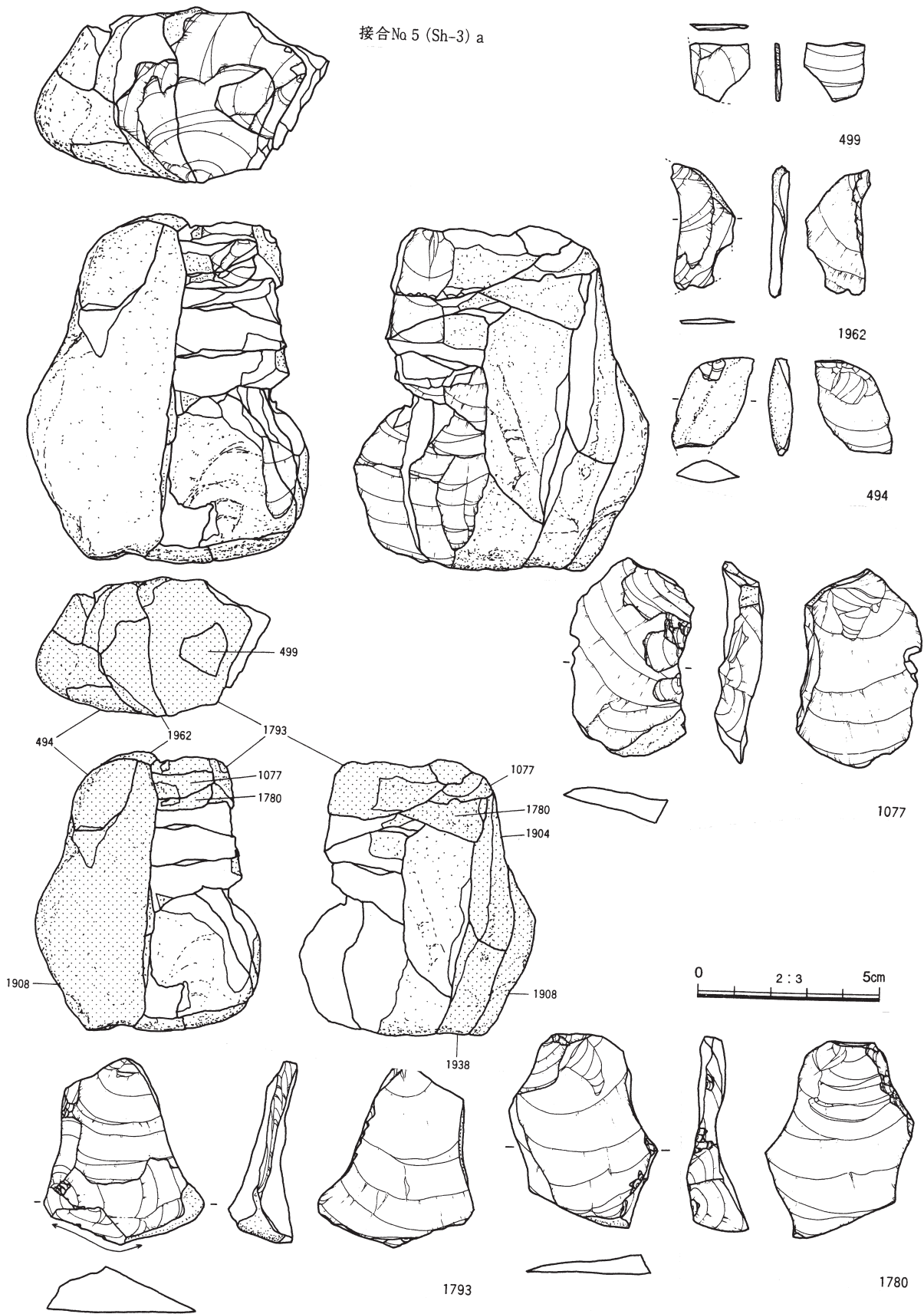
第6図 上神主・茂原遺跡 第1ブロック出土石器(2)



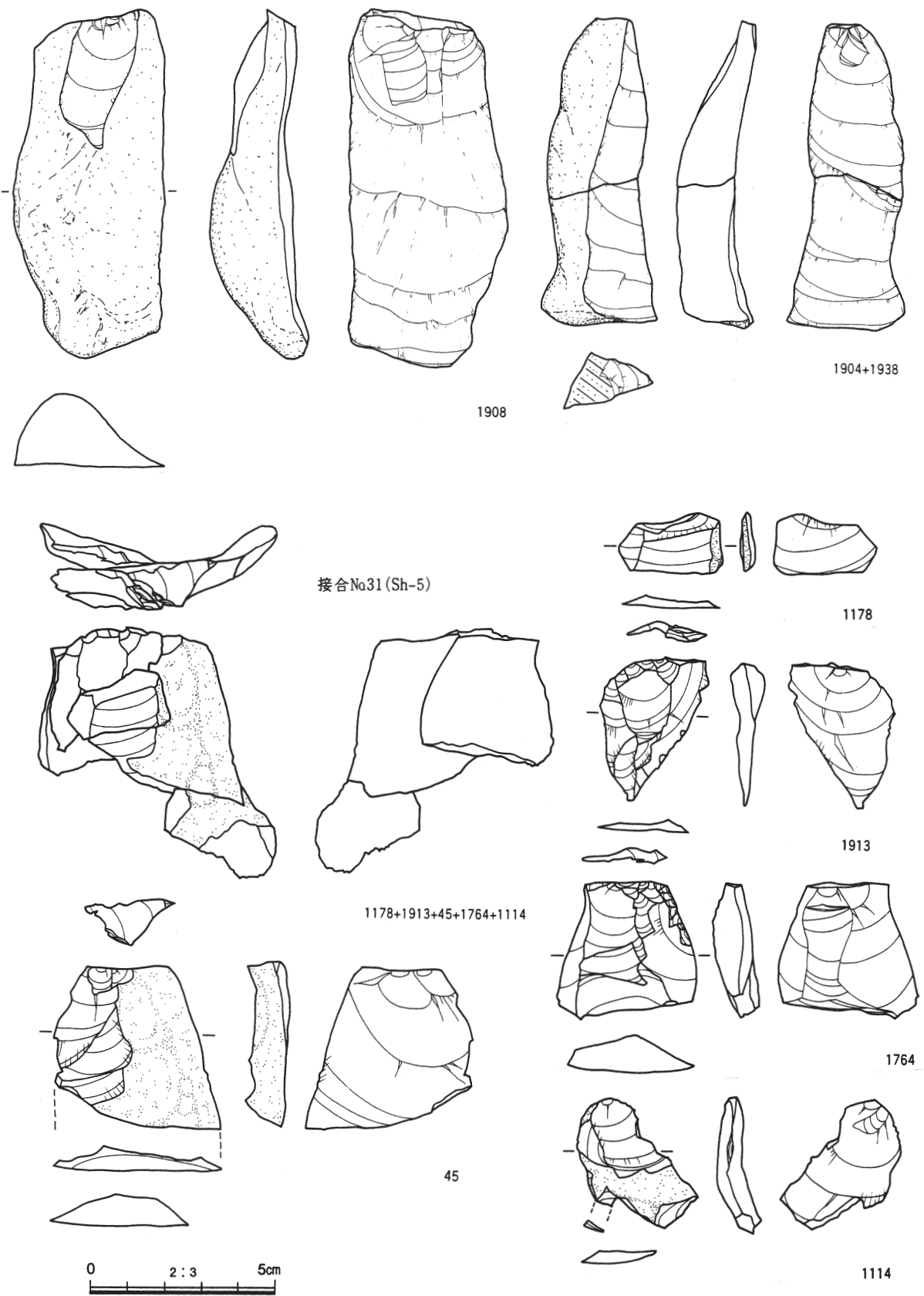
第7図 塚崎遺跡 第2文化層ブロックB出土石器



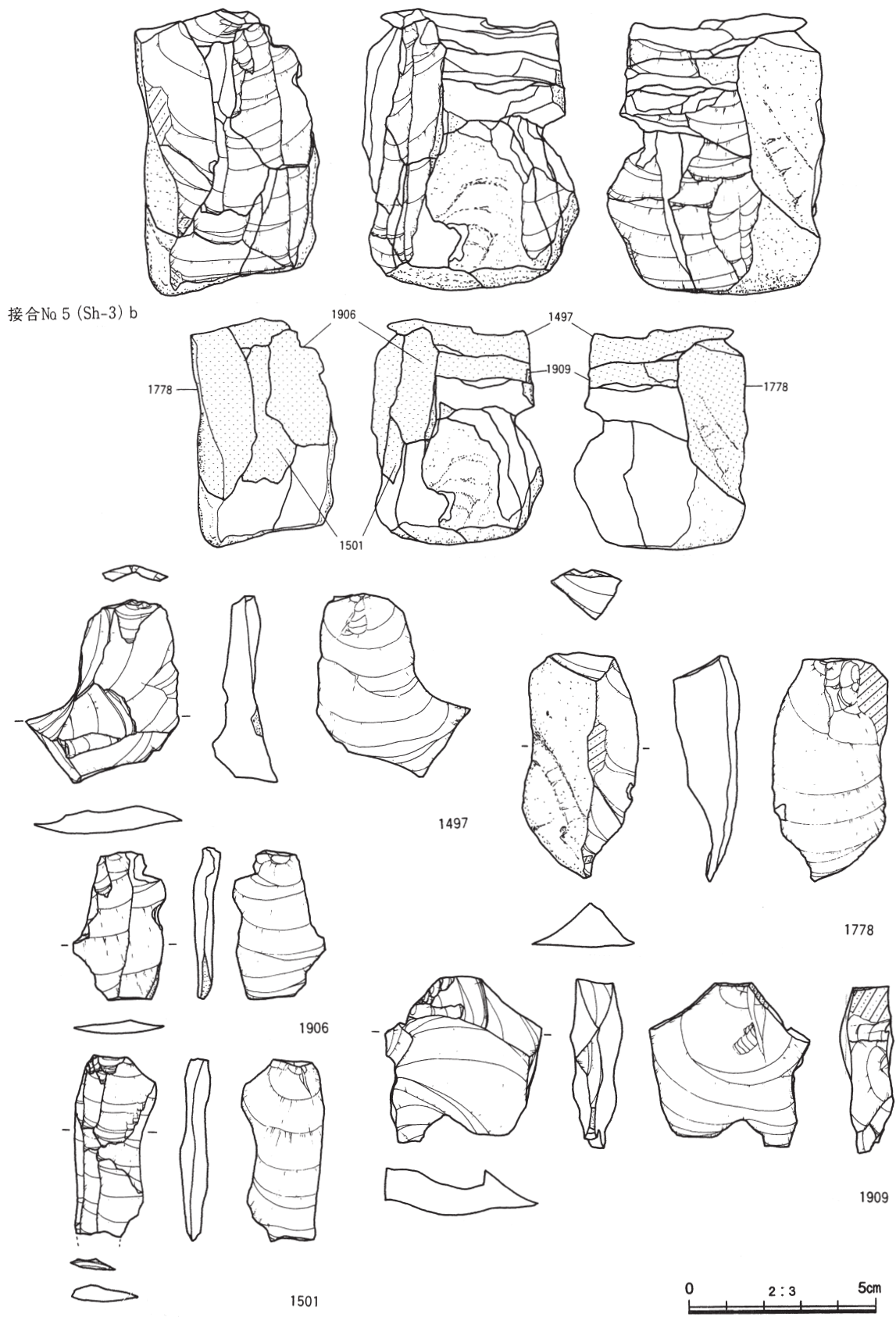
第8図 伊勢崎Ⅱ遺跡 第Ⅱ文化層2号ブロック出土石器（1）



第9図 伊勢崎II遺跡 第II文化層2号ブロック出土石器(2)

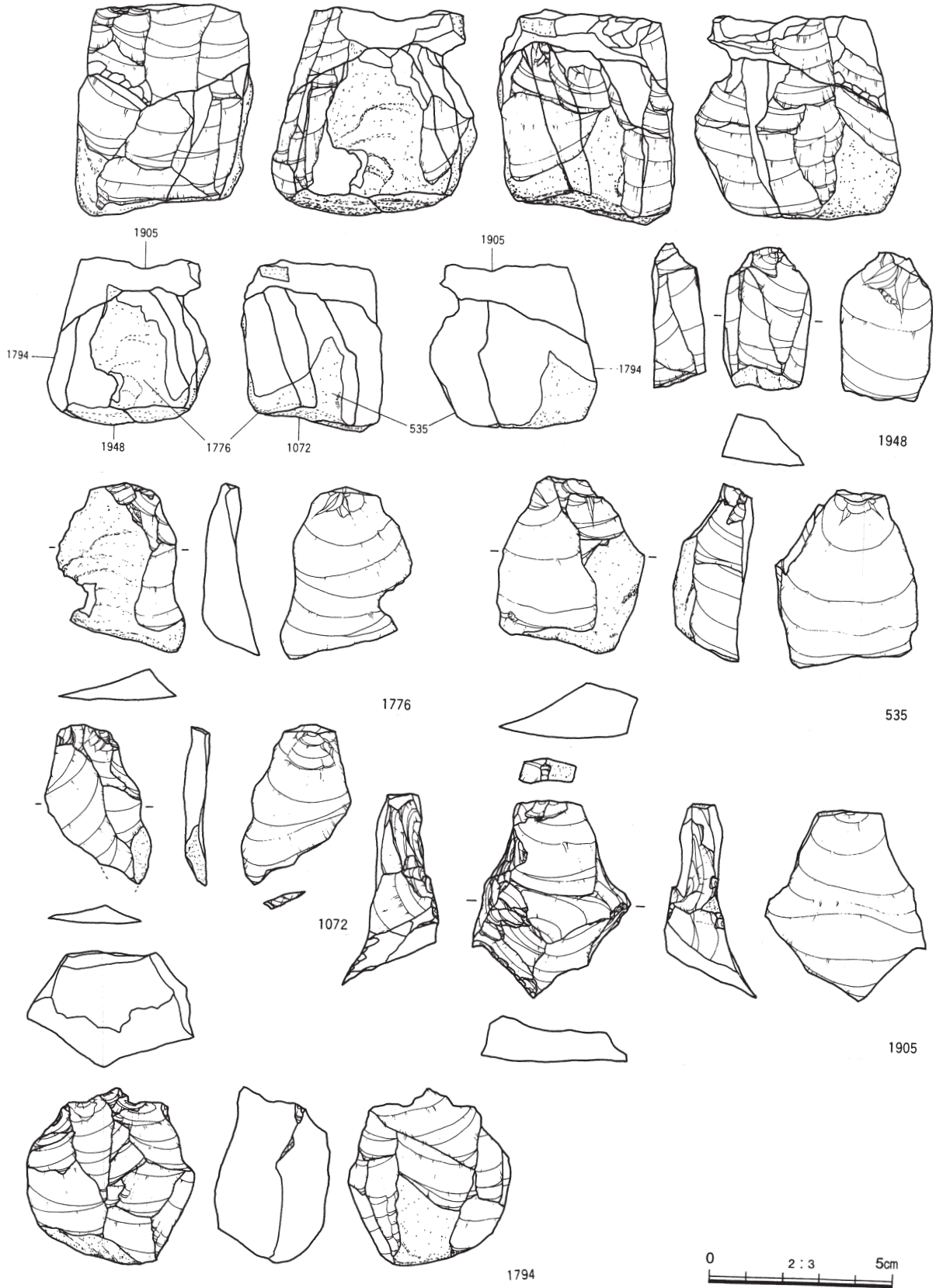


第10図 伊勢崎Ⅱ遺跡 第Ⅱ文化層2号ブロック出土石器（3）

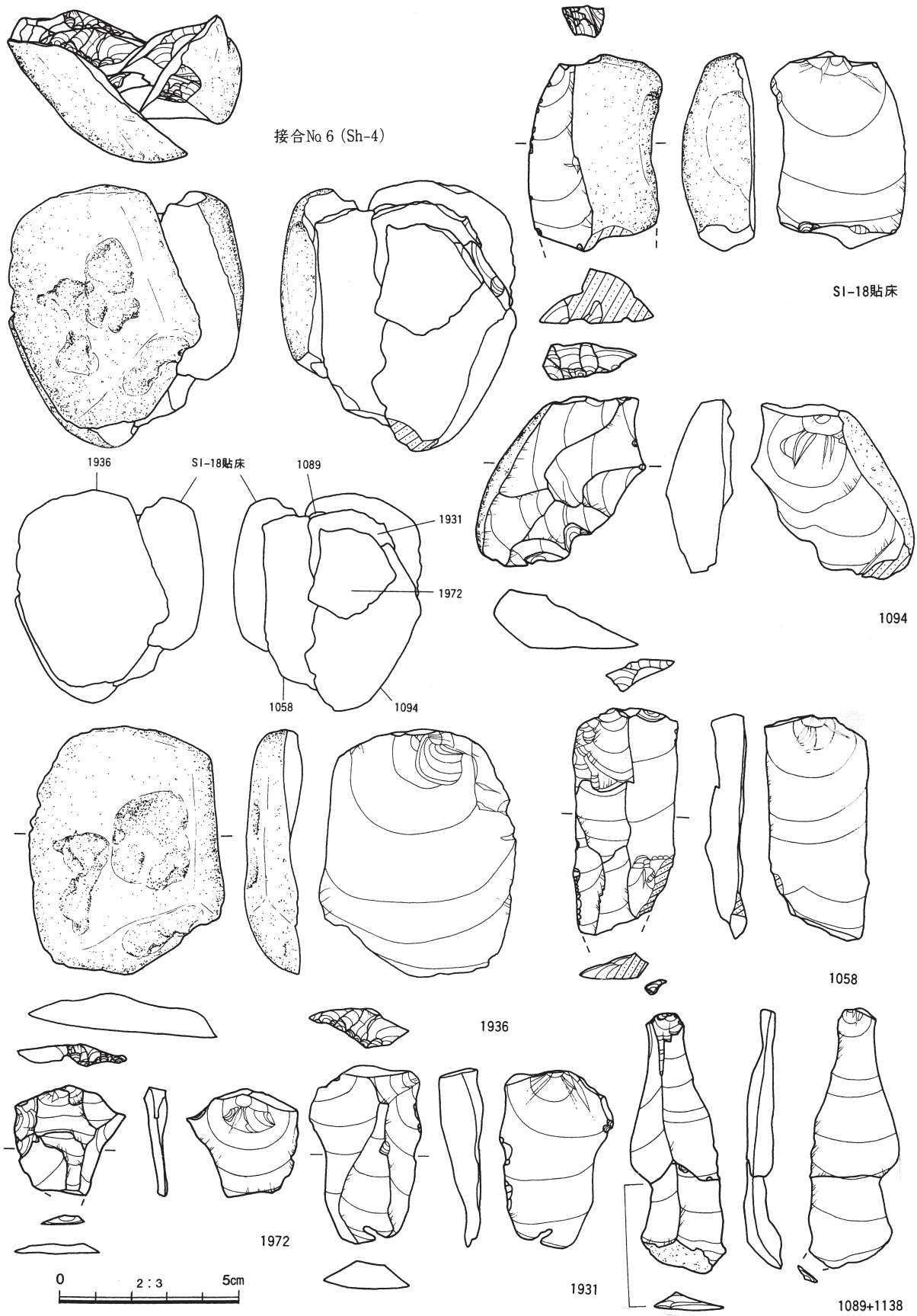


第11図 伊勢崎II遺跡 第II文化層2号ブロック出土石器(4)

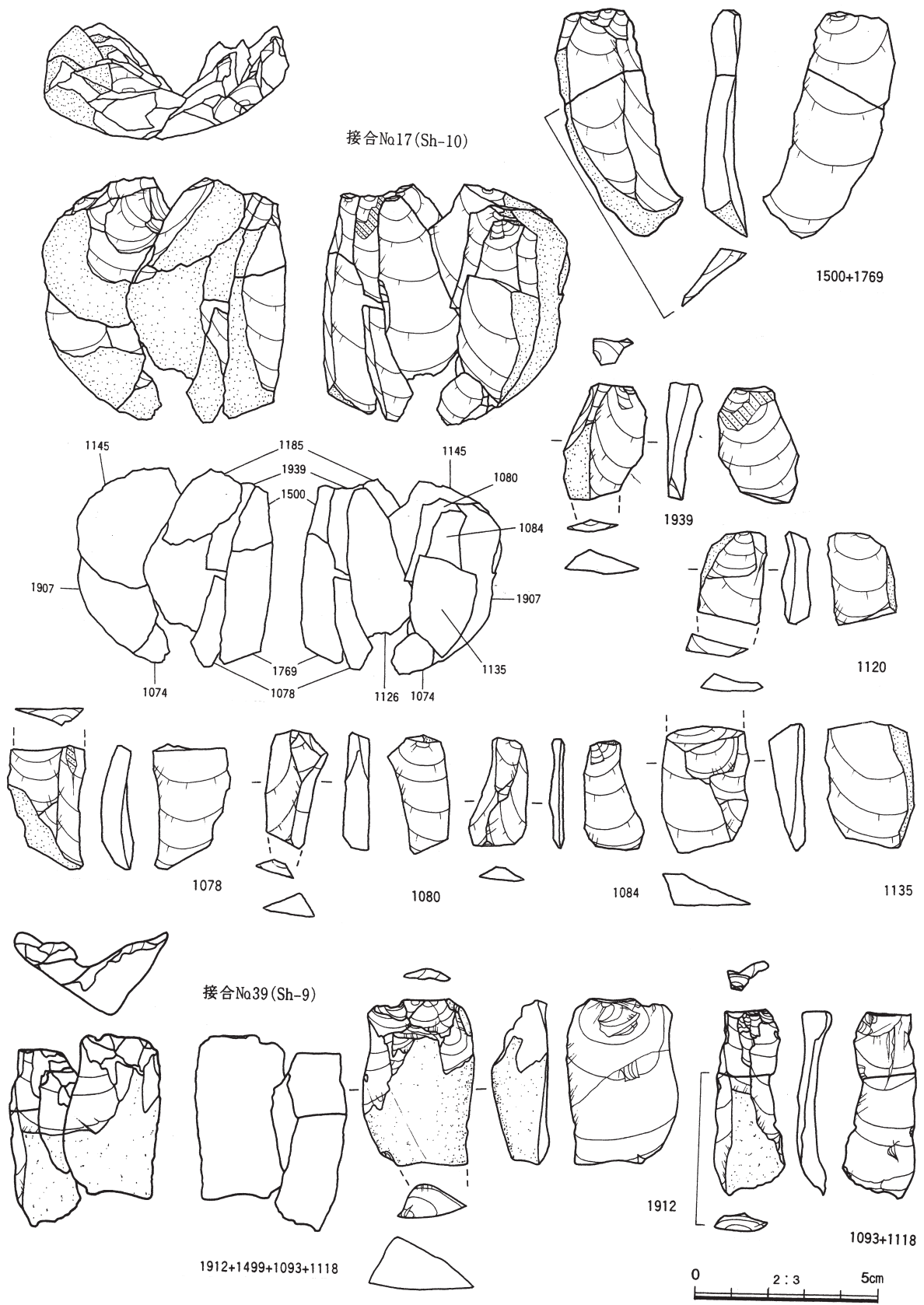
接合No 5 (Sh-3) c



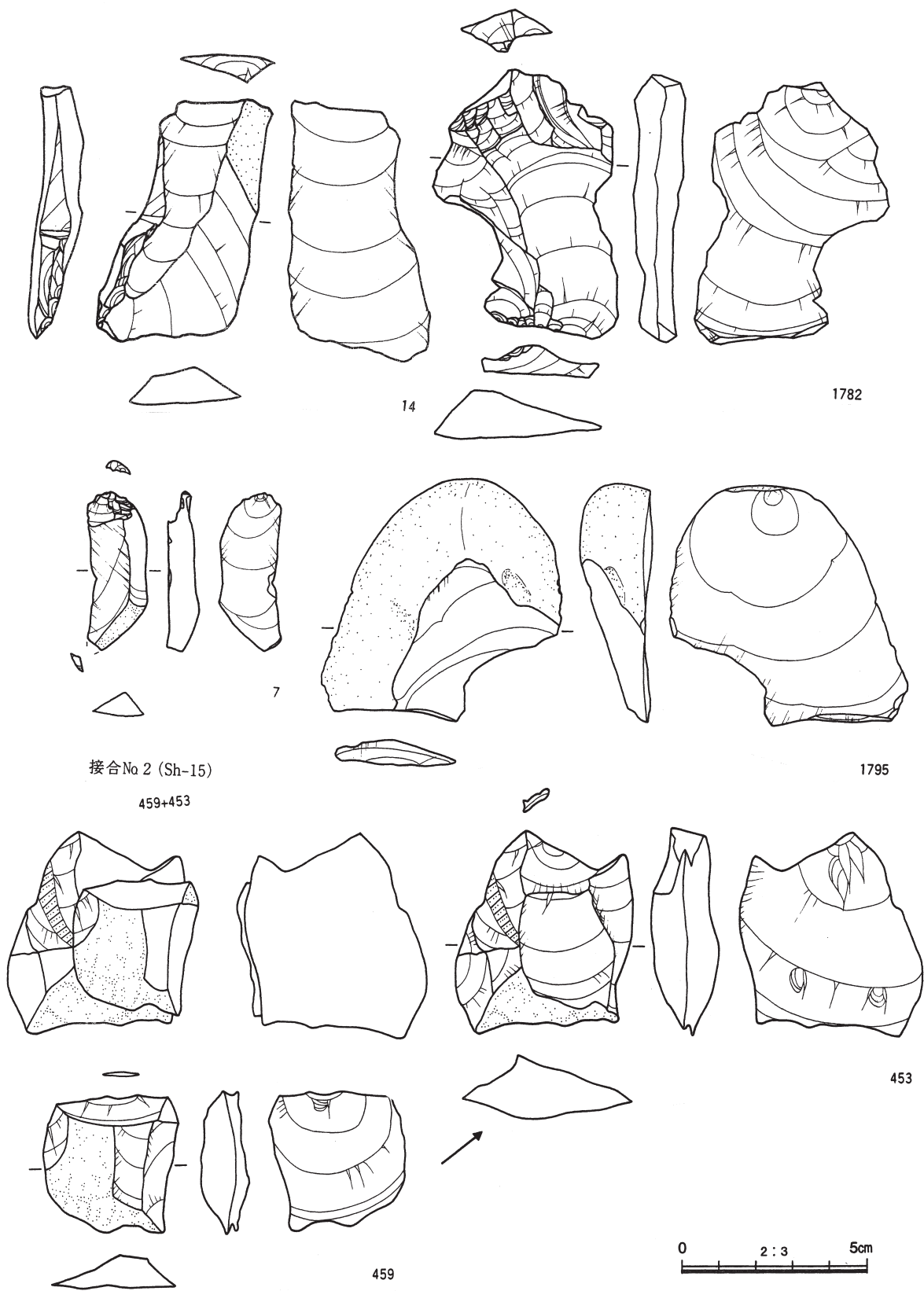
第12図 伊勢崎II遺跡 第II文化層2号ブロック出土石器（5）



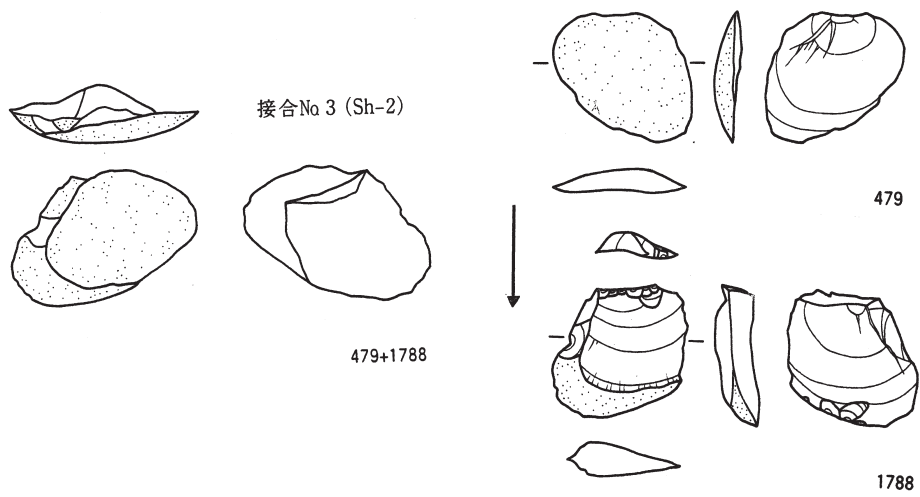
第13図 伊勢崎II遺跡 第II文化層2号ブロック出土石器(6)



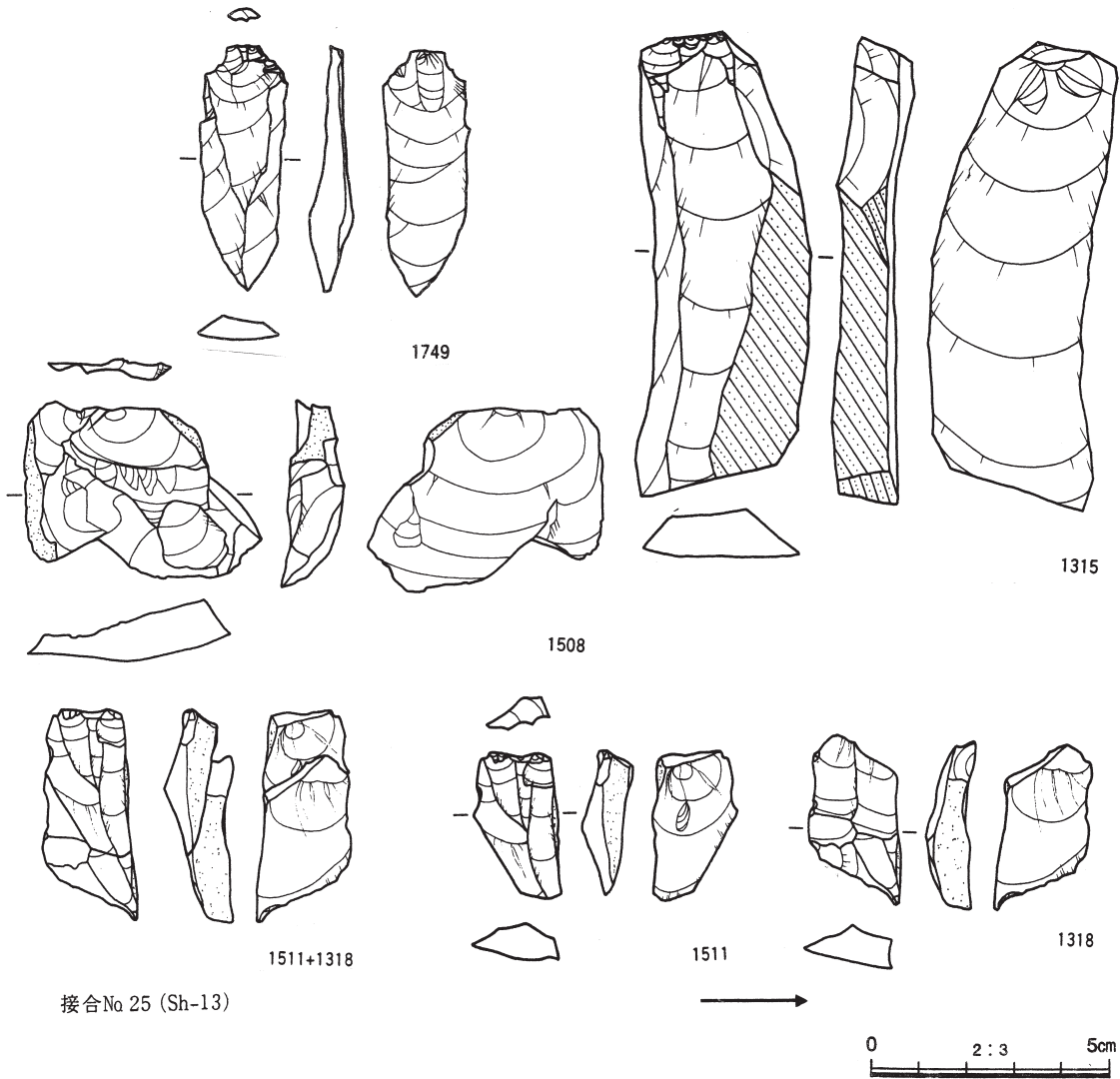
第14図 伊勢崎Ⅱ遺跡 第Ⅱ文化層2号ブロック出土石器（7）



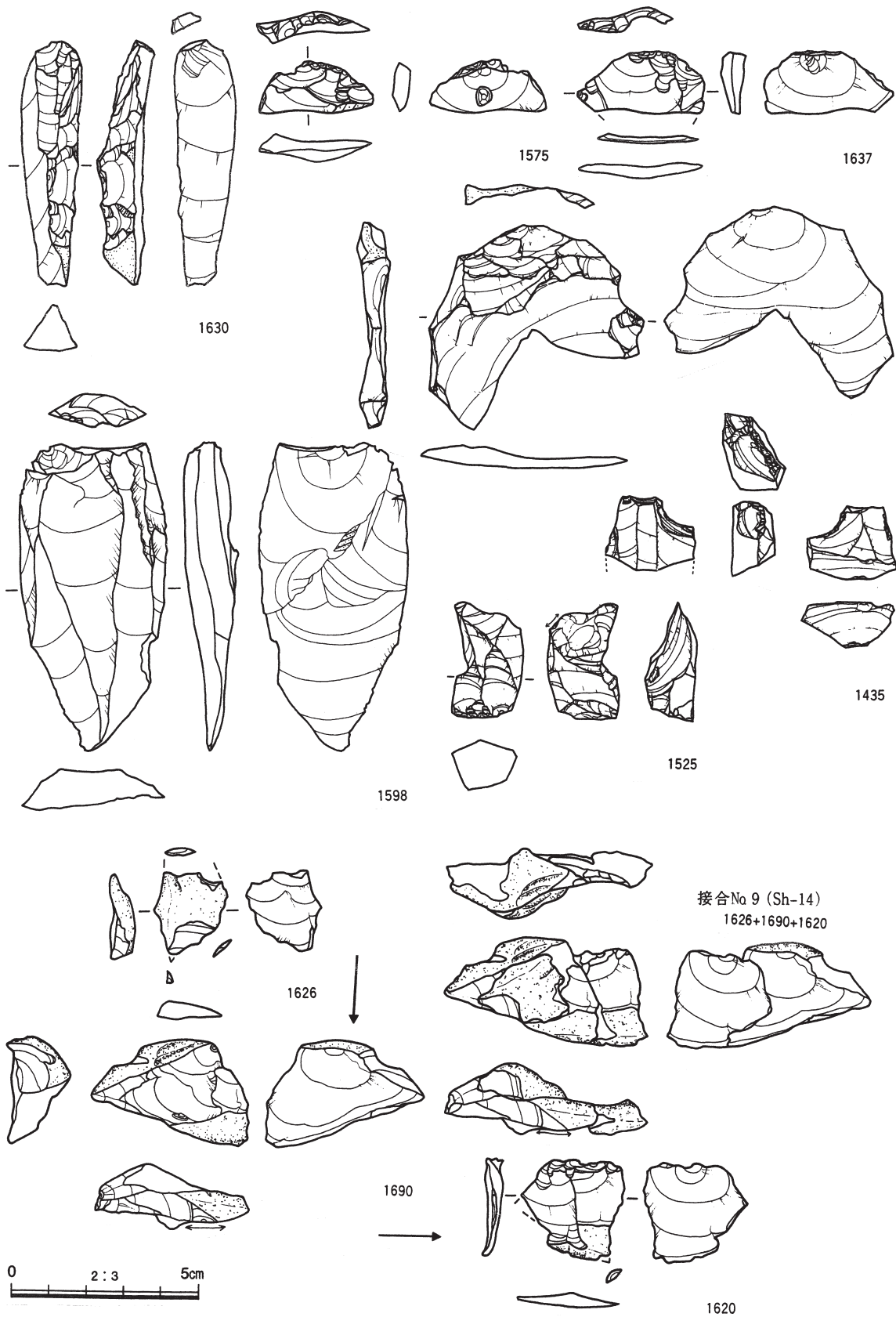
第15図 伊勢崎Ⅱ遺跡 第Ⅱ文化層3号ブロック出土石器(1)



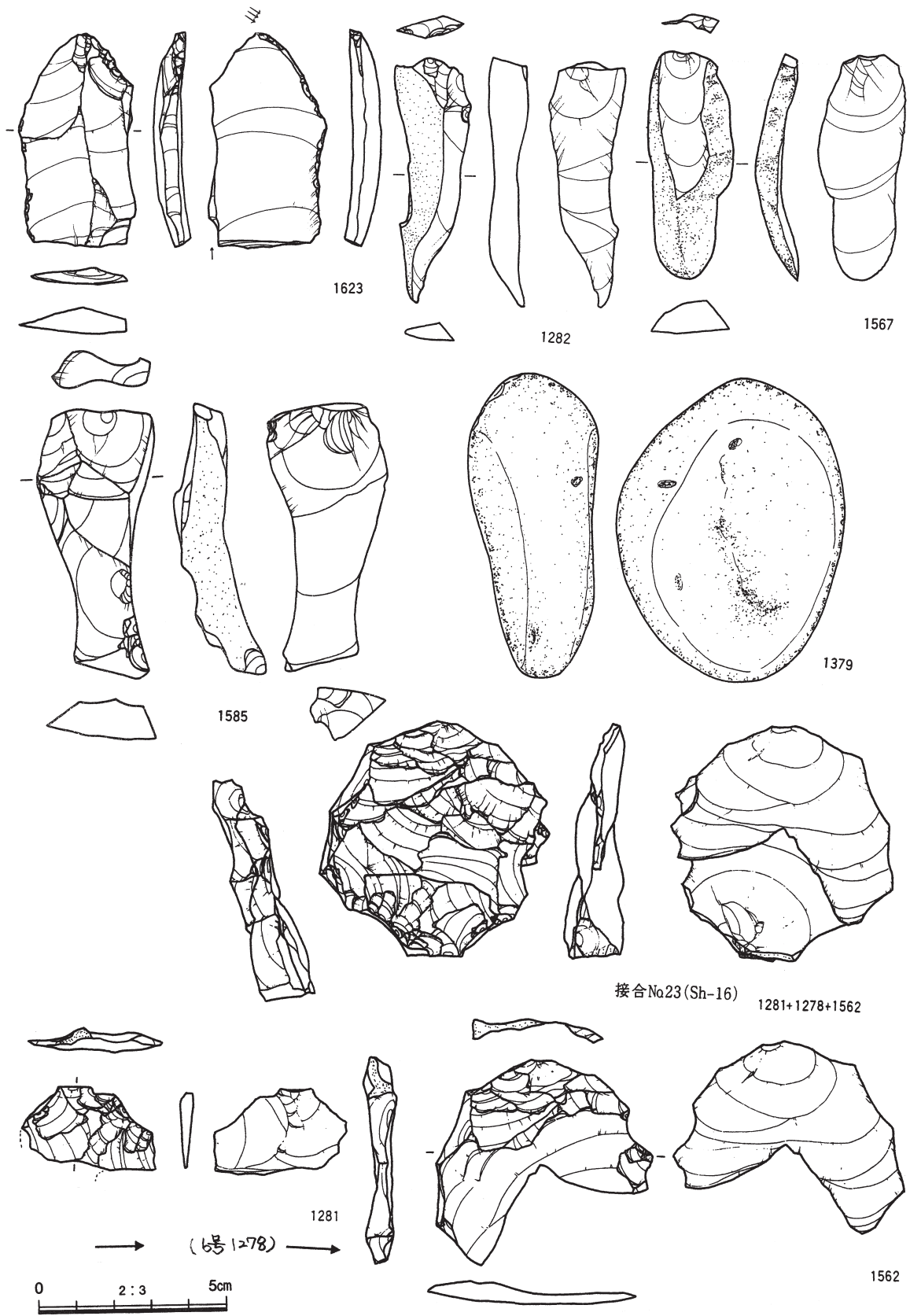
第16図 伊勢崎Ⅱ遺跡 第Ⅱ文化層3号ブロック出土石器（2）



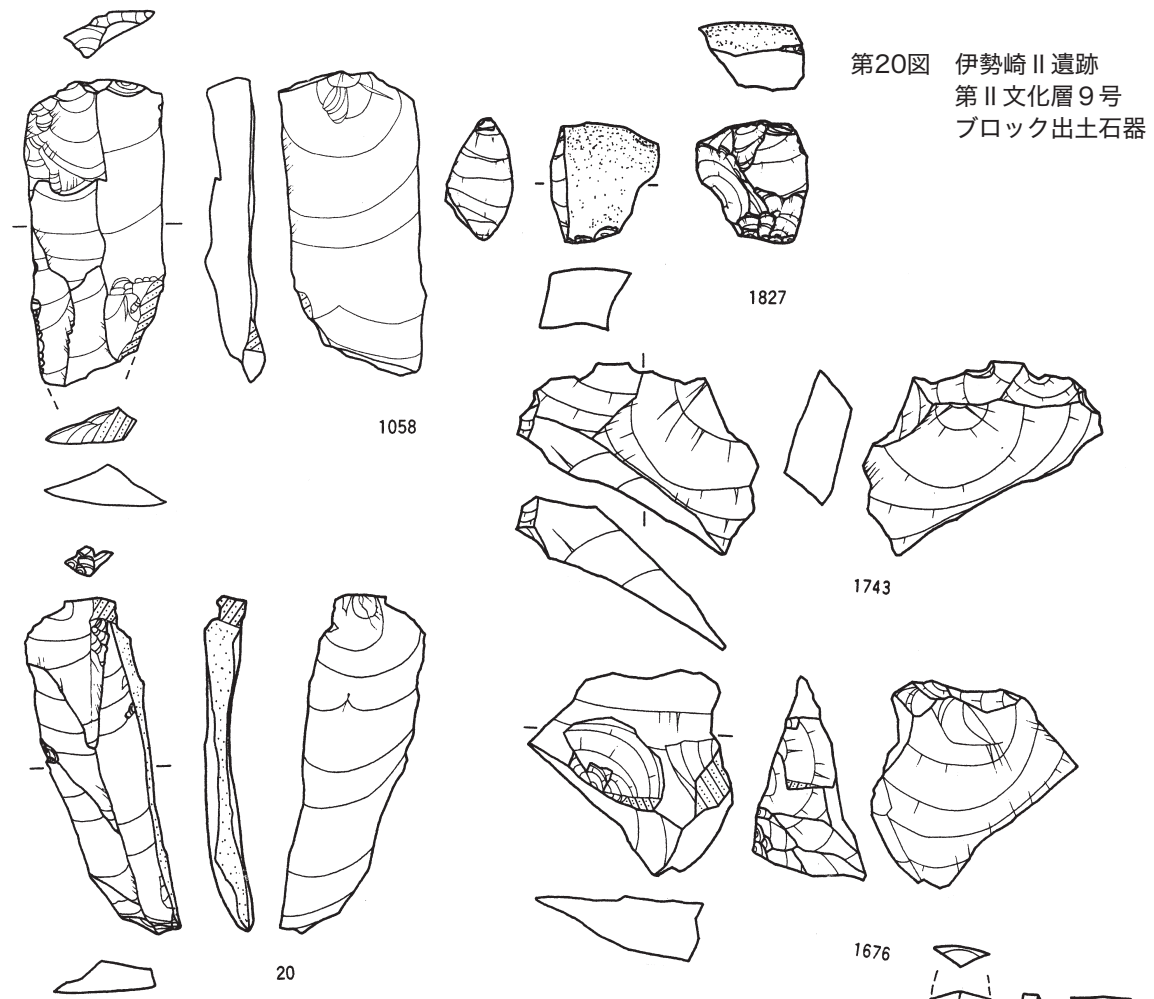
第17図 伊勢崎Ⅱ遺跡 第Ⅱ文化層4号ブロック出土石器



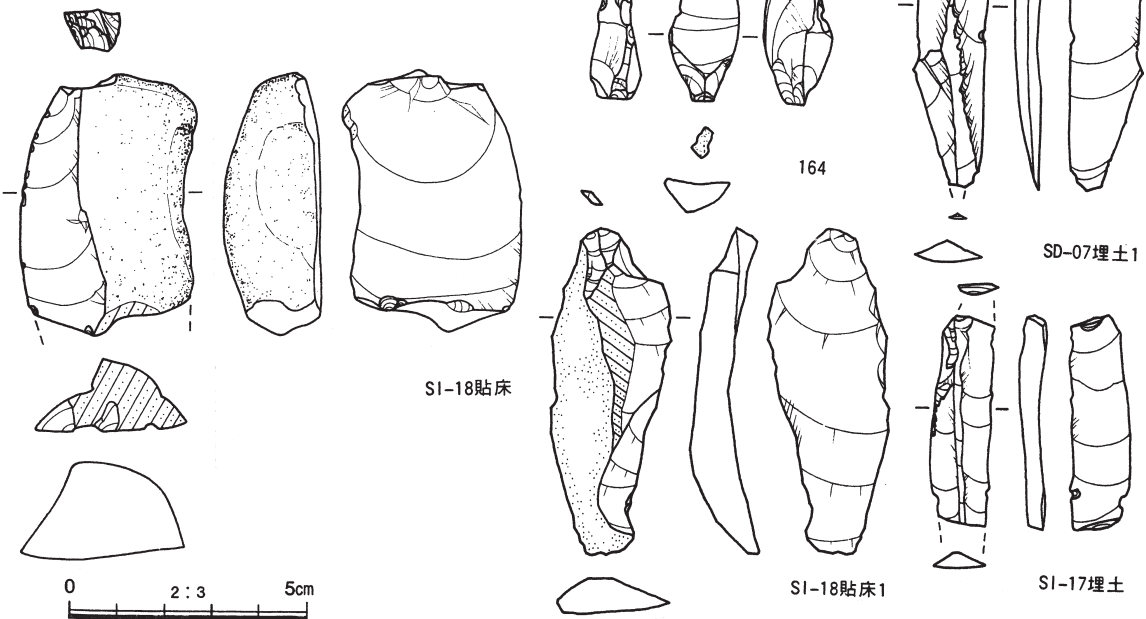
第18図 伊勢崎Ⅱ遺跡 第Ⅱ文化層5号ブロック出土石器



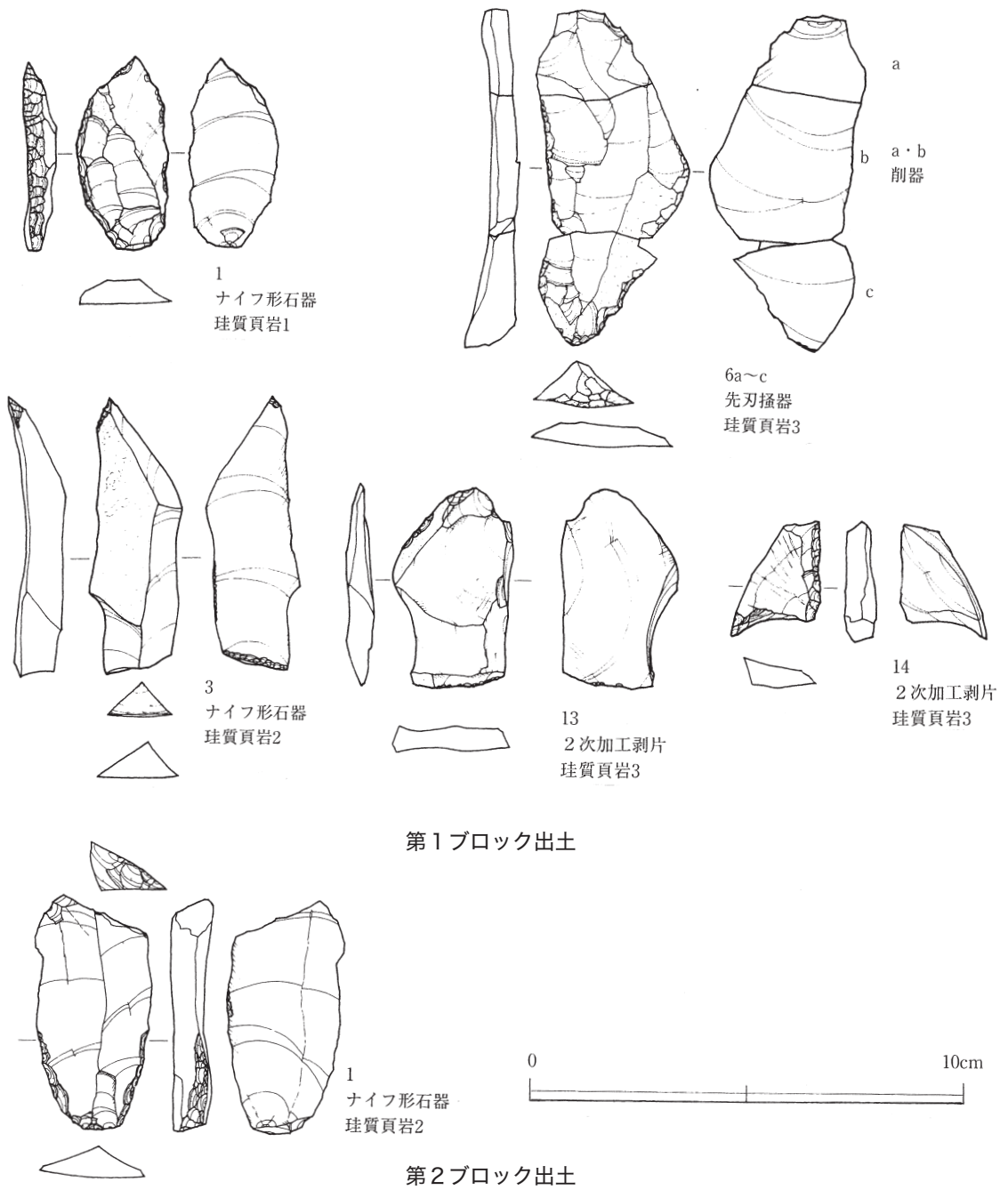
第19図 伊勢崎Ⅱ遺跡 第Ⅱ文化層6号ブロック出土石器



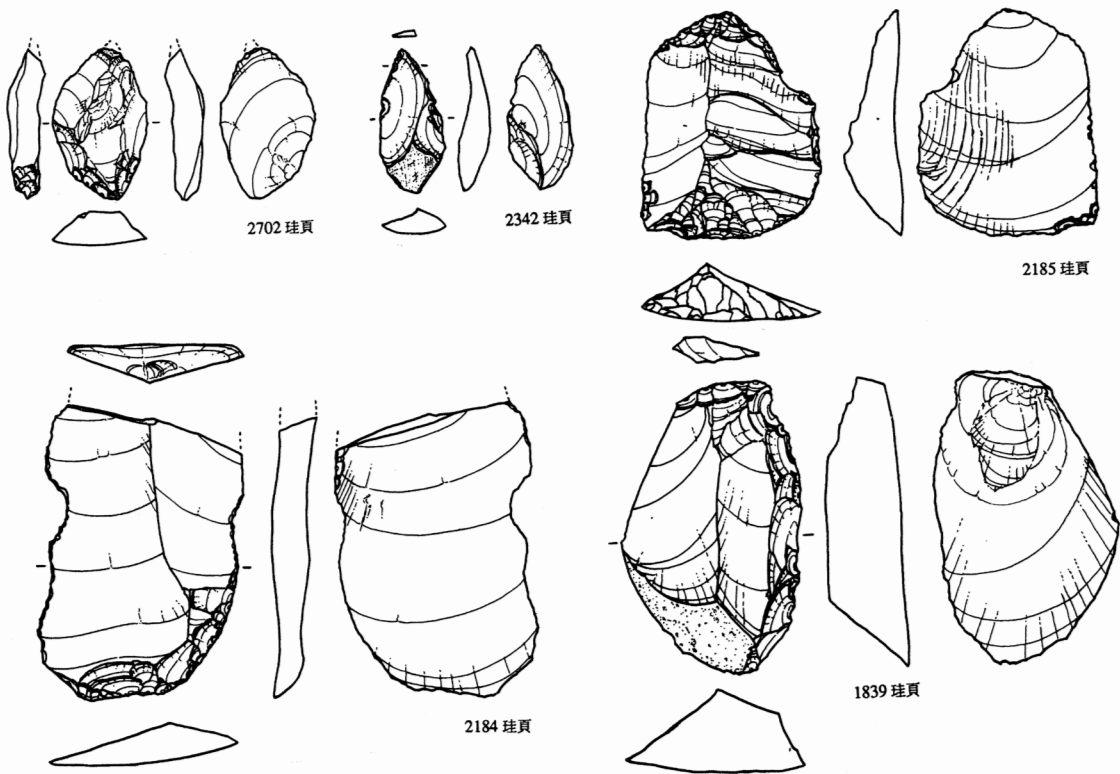
第21図 伊勢崎Ⅱ遺跡
第Ⅱ文化層10号ブロック出土石器



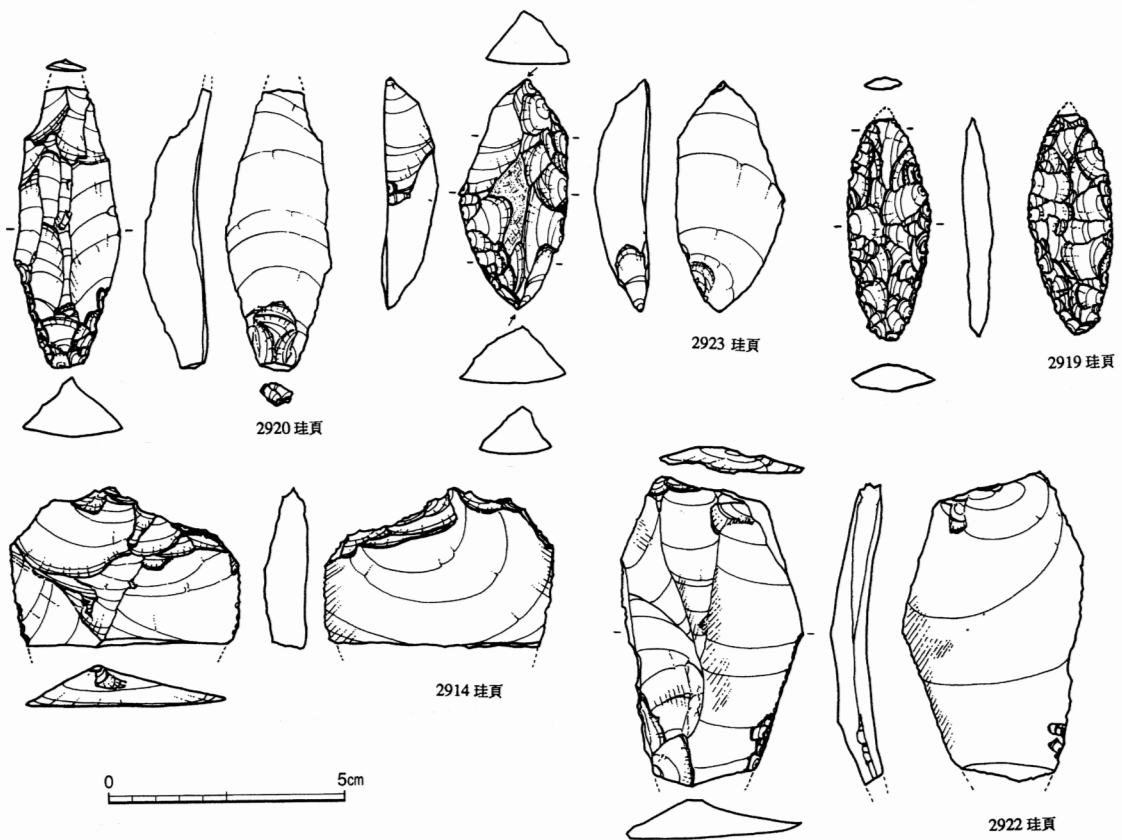
第22図 伊勢崎Ⅱ遺跡 ブロック外出土石器



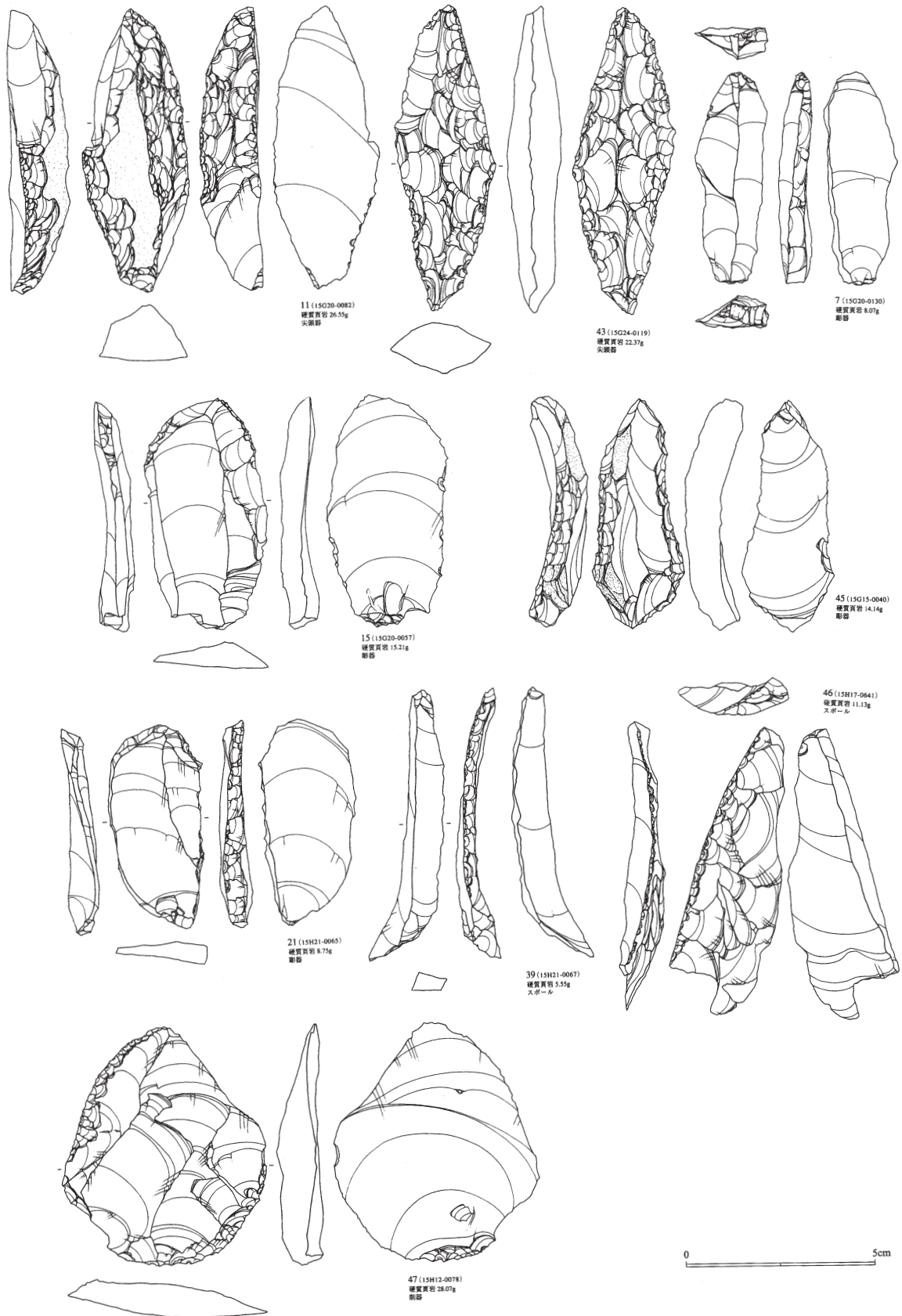
第23図 寺平遺跡 第2文化層出土石器



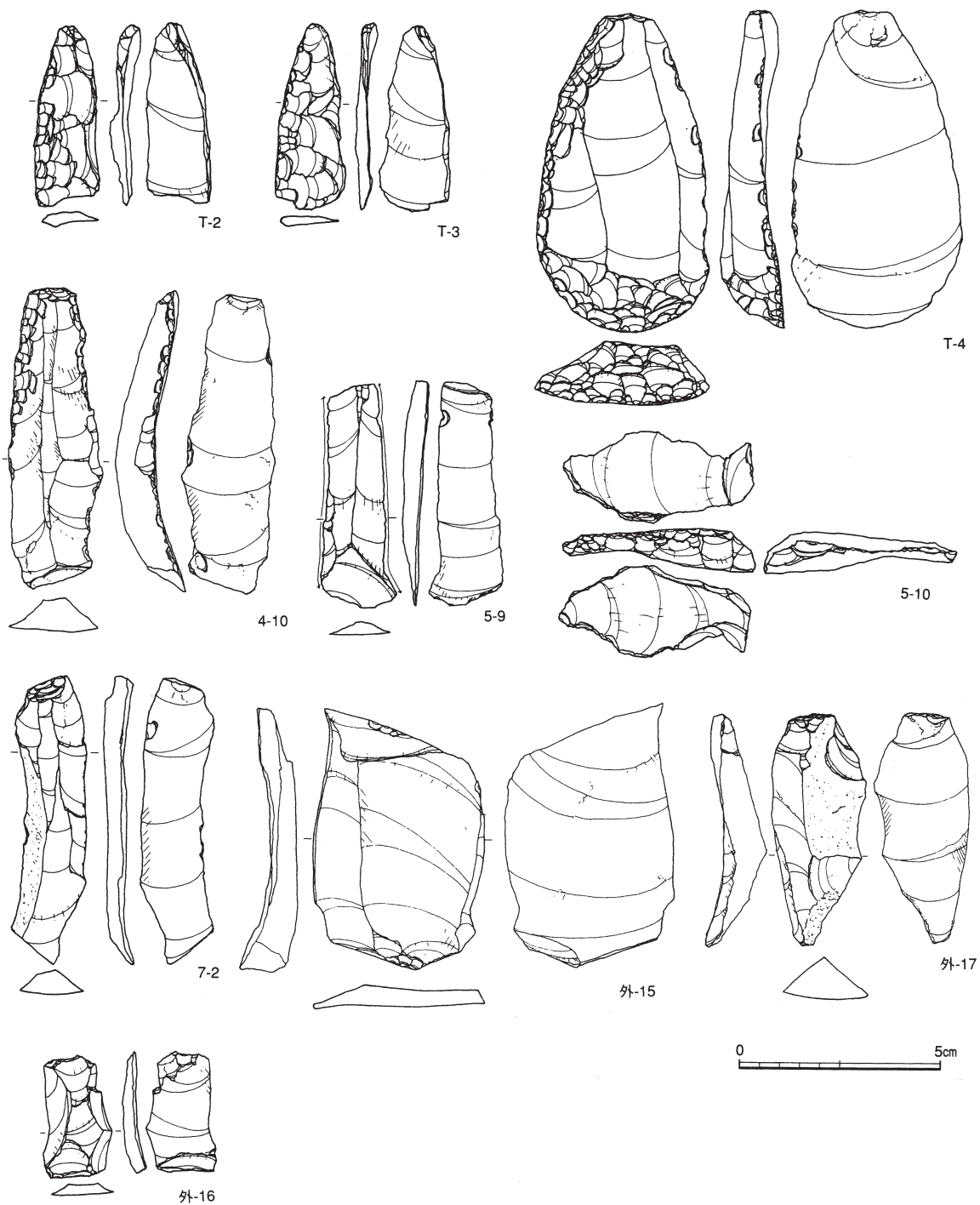
第24図 三ノ谷東遺跡 III地区第2文化層出土石器



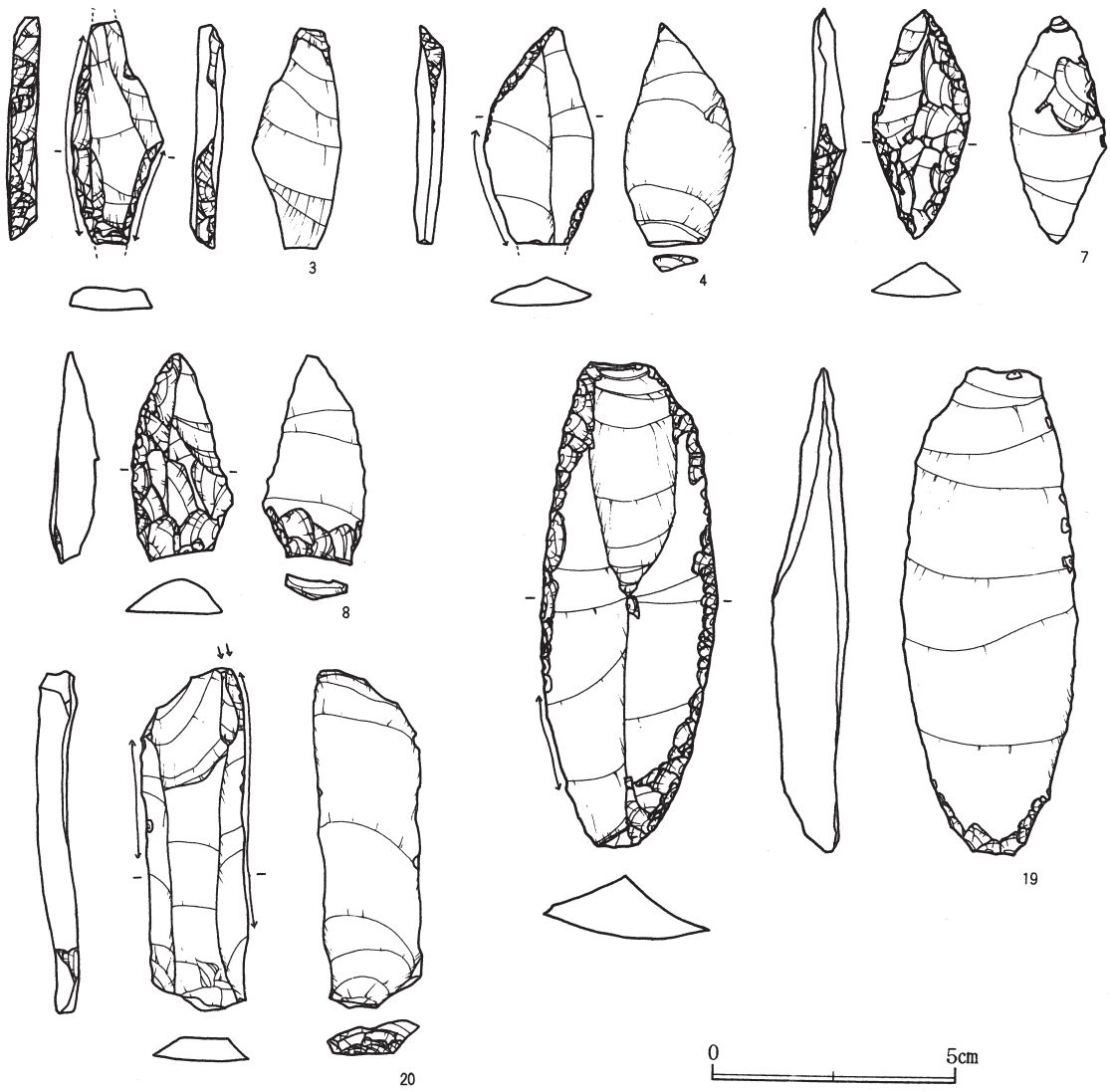
第25図 三ノ谷東遺跡 第2文化層ブロック外出土石器



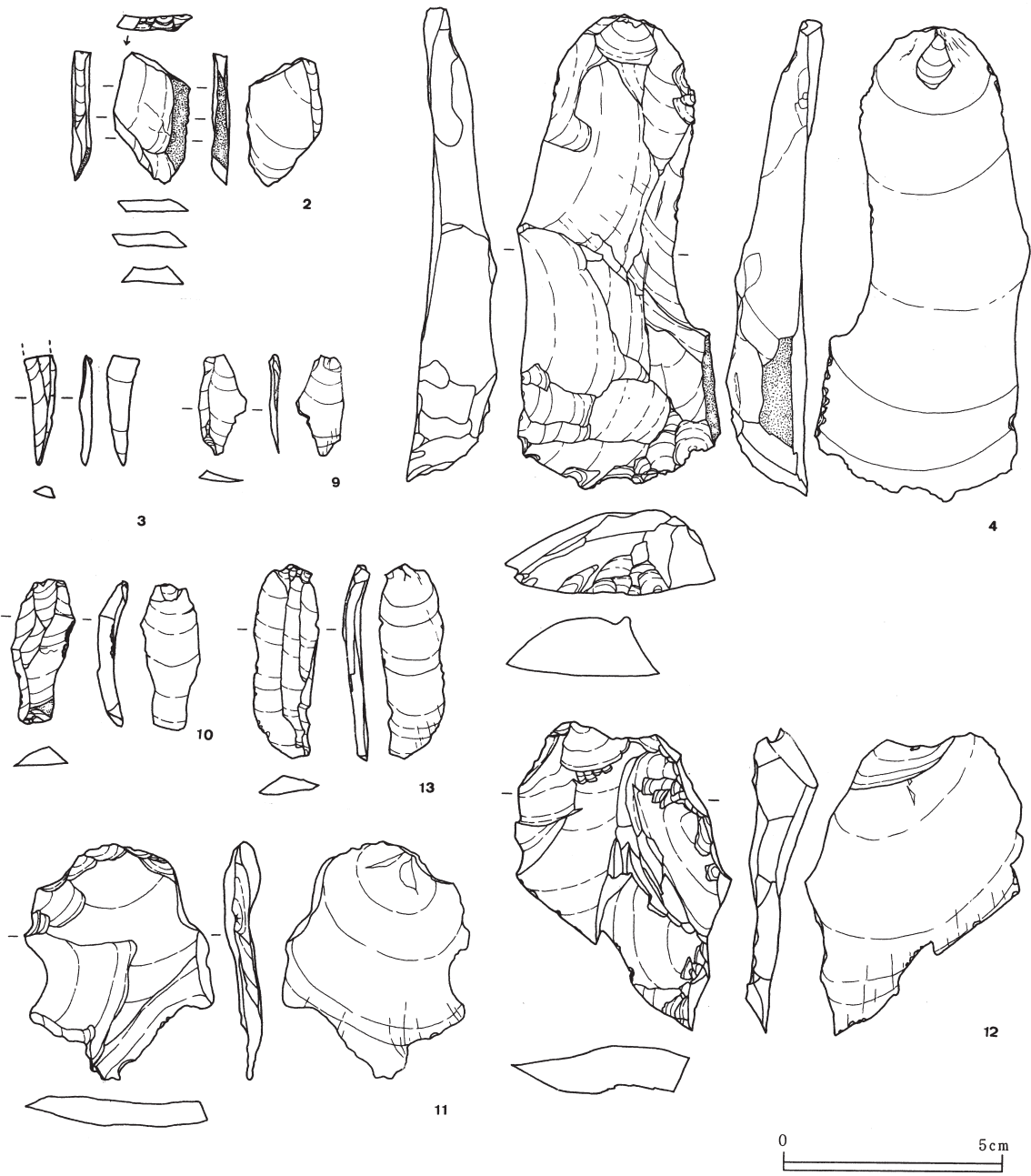
第26図 上林遺跡 第I文化層出土石器 (1)



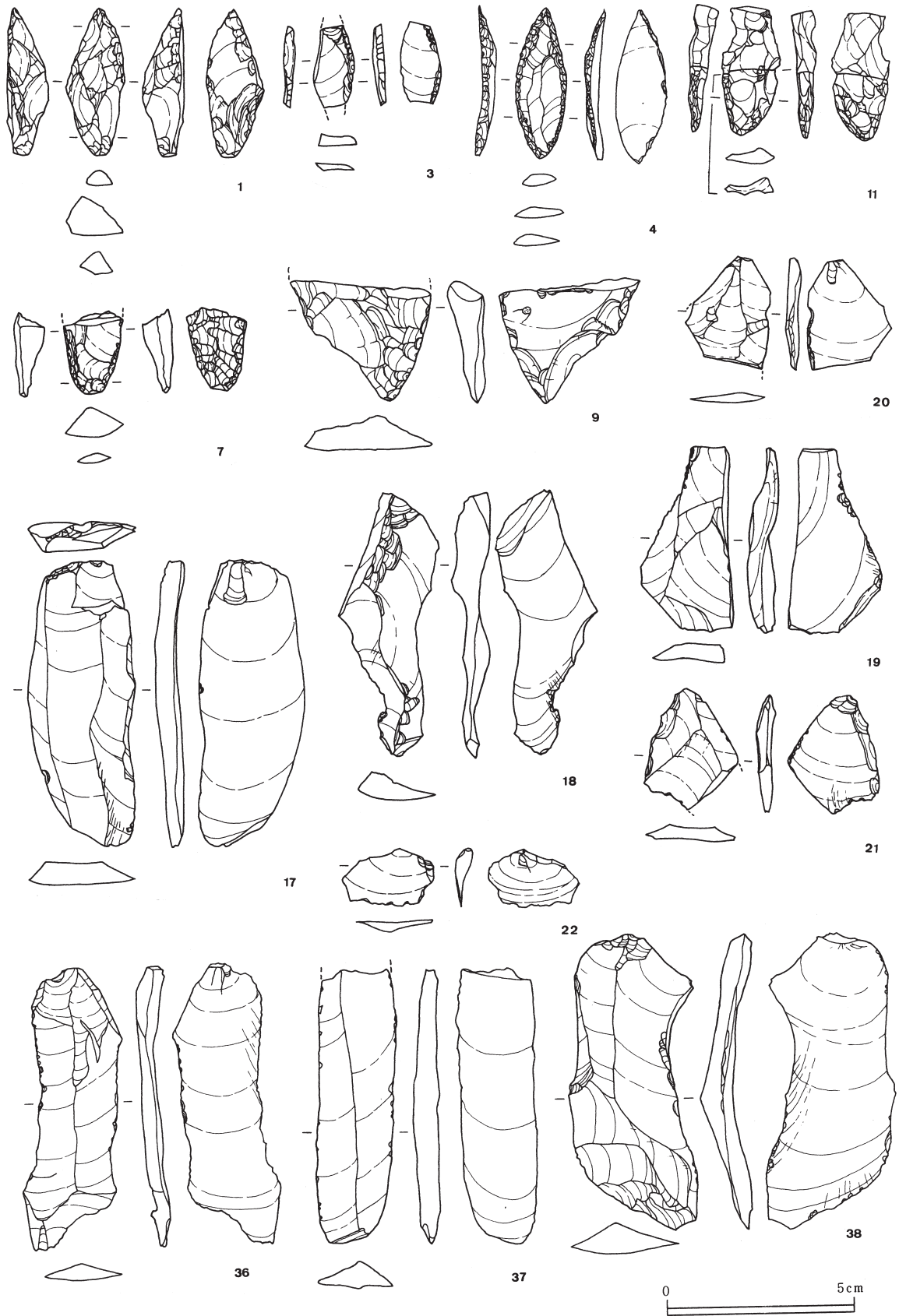
第27図 エグロ遺跡出土石器



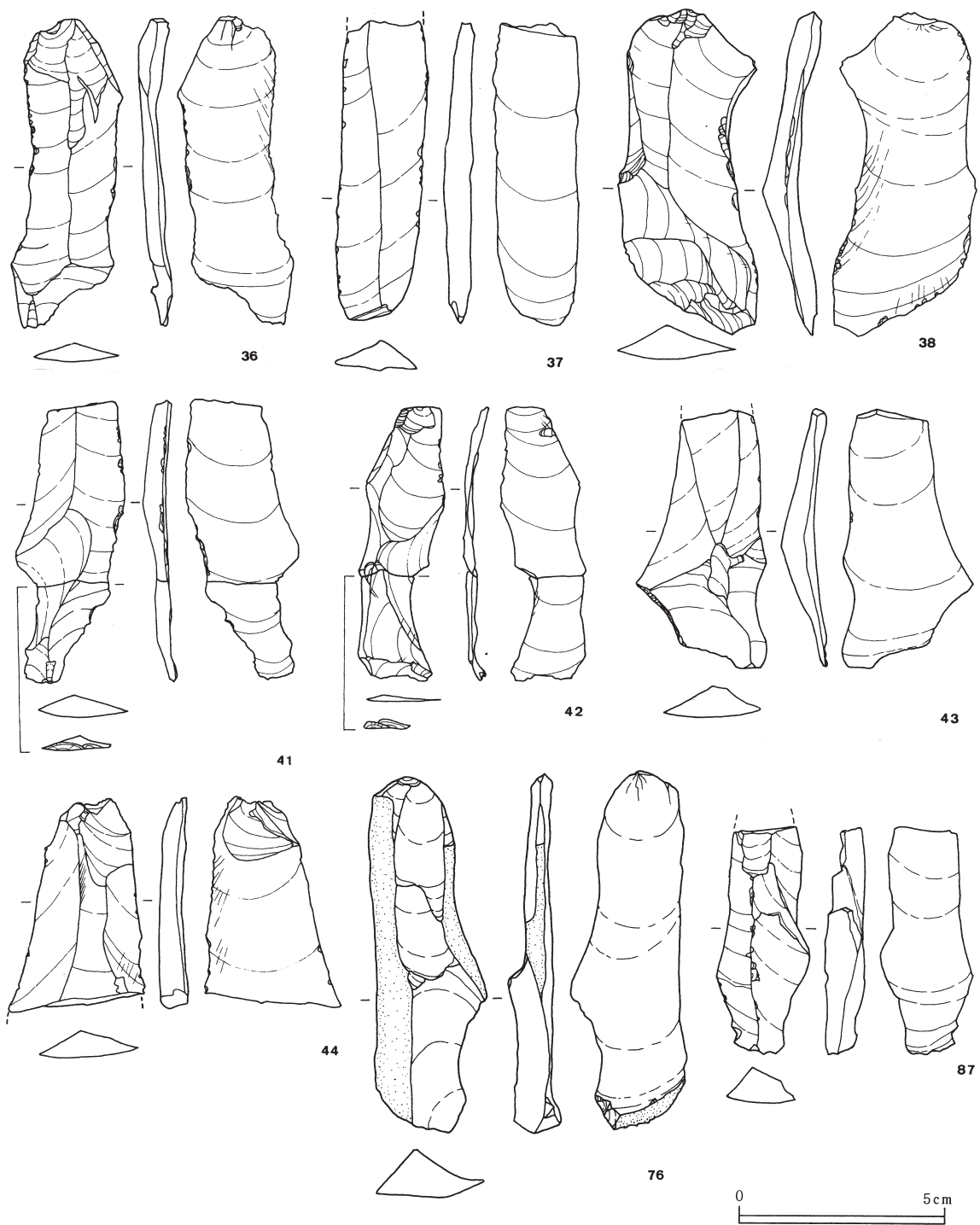
第28図 寺野東遺跡 地点外出土石器



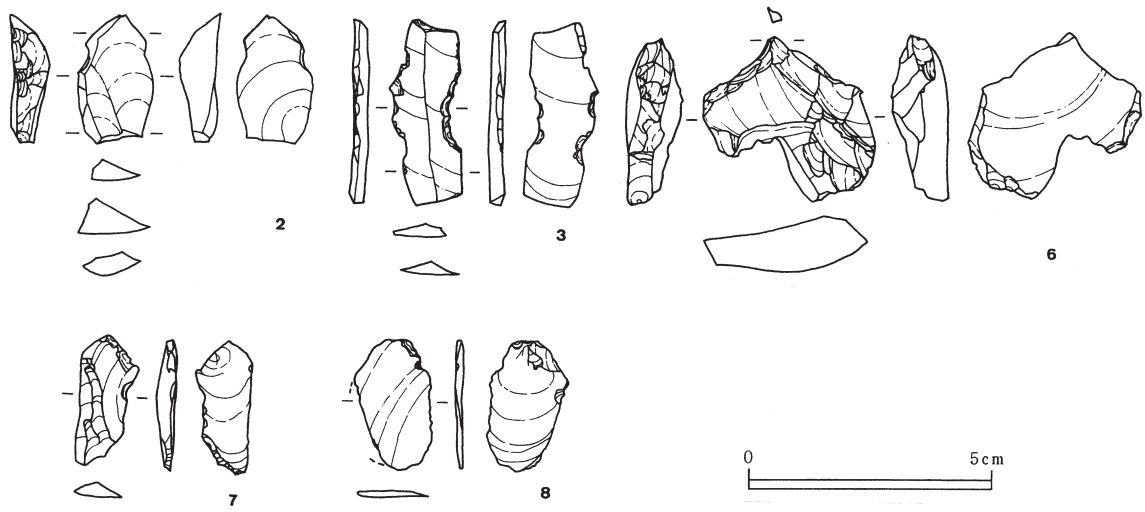
第29図 八幡根東遺跡 第1号ブロック出土石器



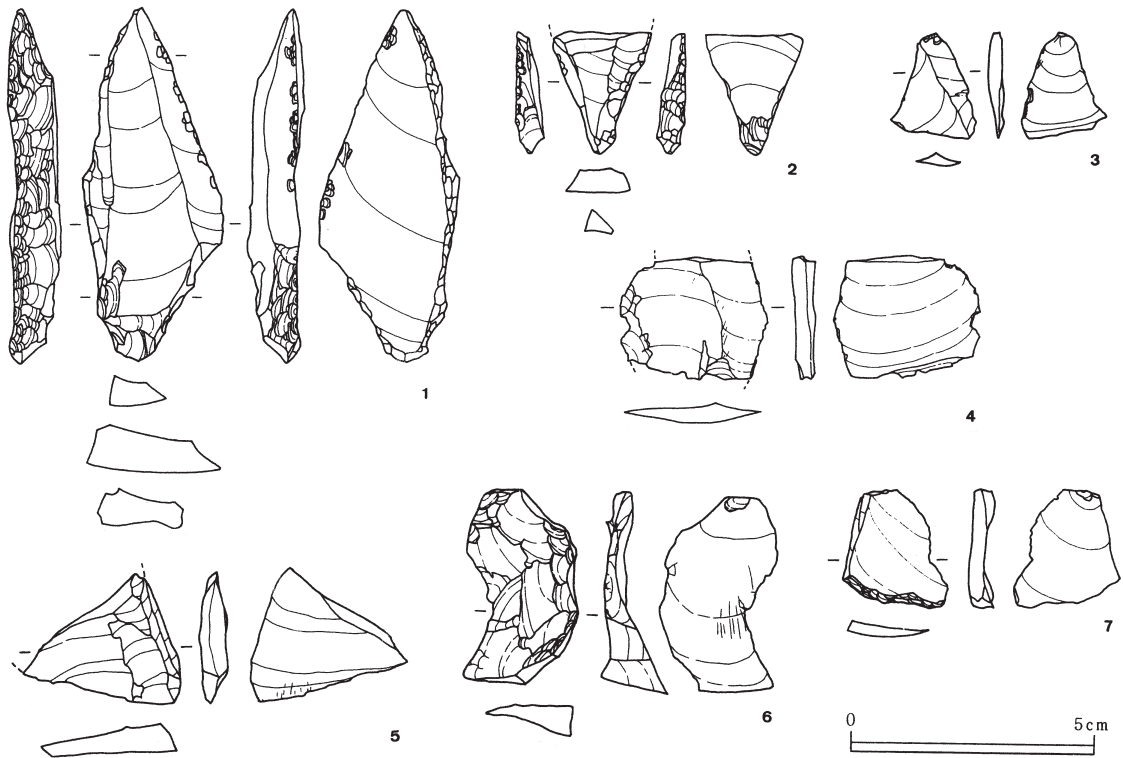
第30図 八幡根東遺跡 第3号ブロック出土石器（1）



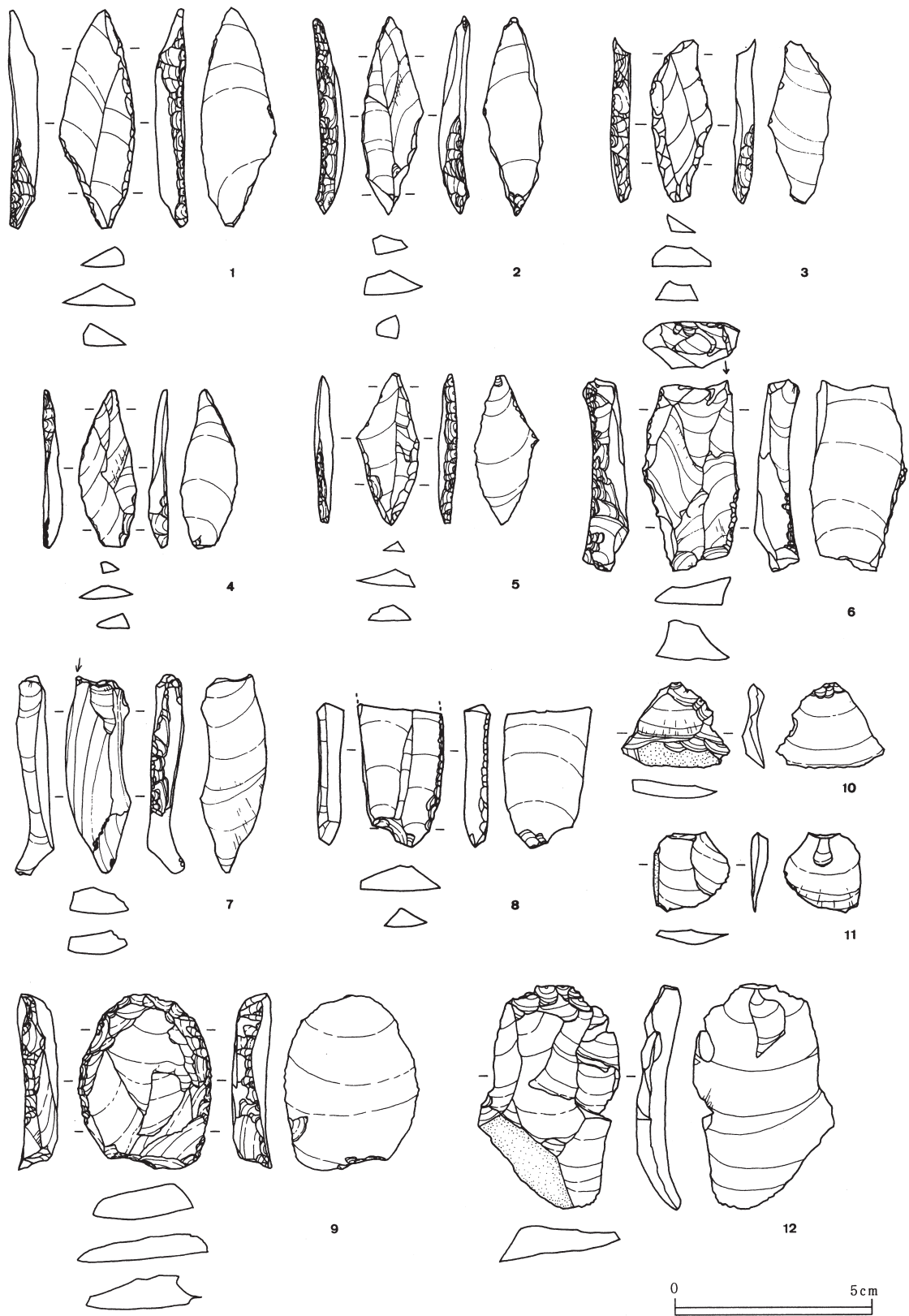
第31図 八幡根東遺跡 第3号ブロック出土石器 (2)



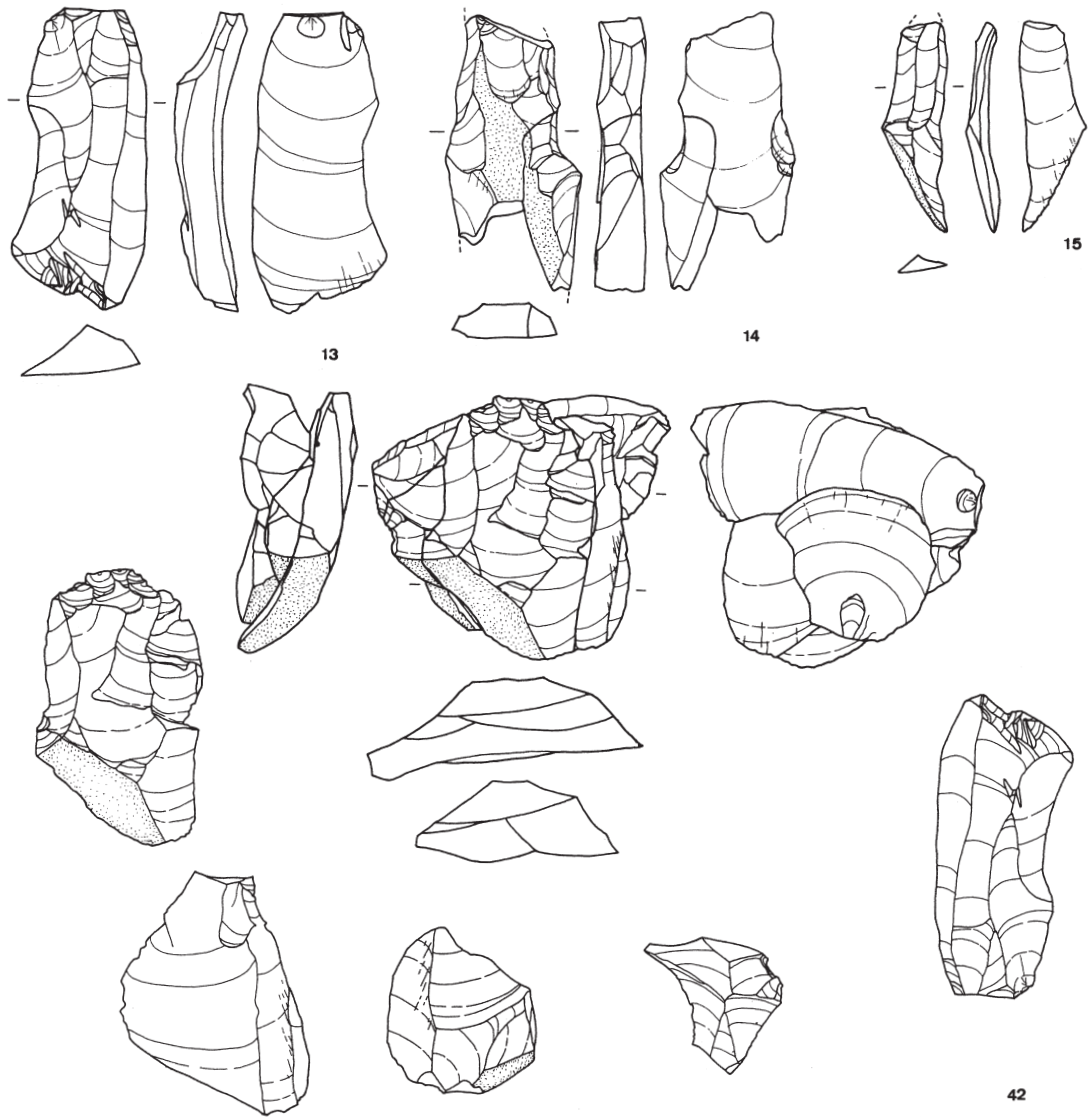
第32図 八幡根東遺跡 第2号ブロック出土石器



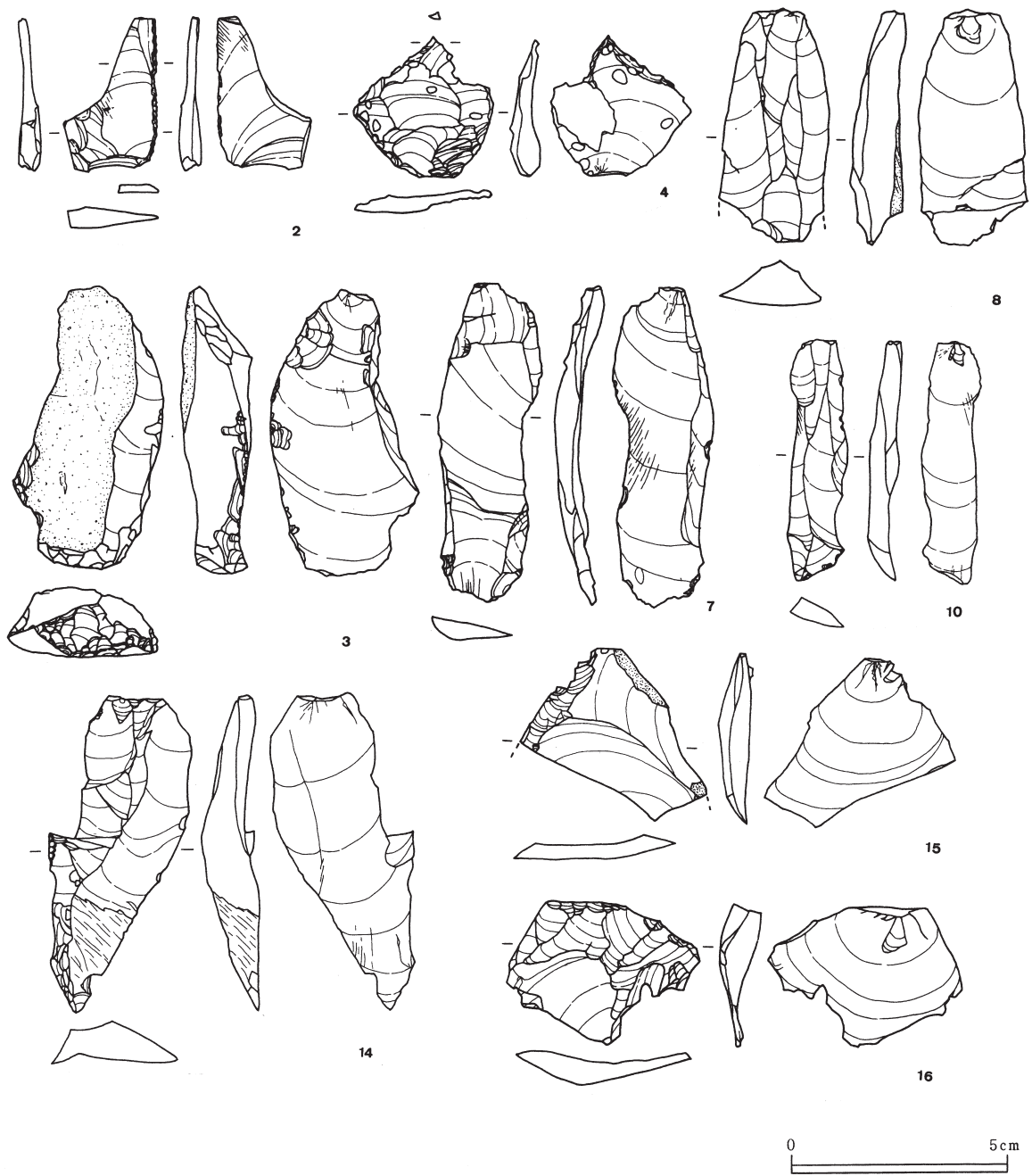
第33図 八幡根東遺跡 第4号ブロック出土石器



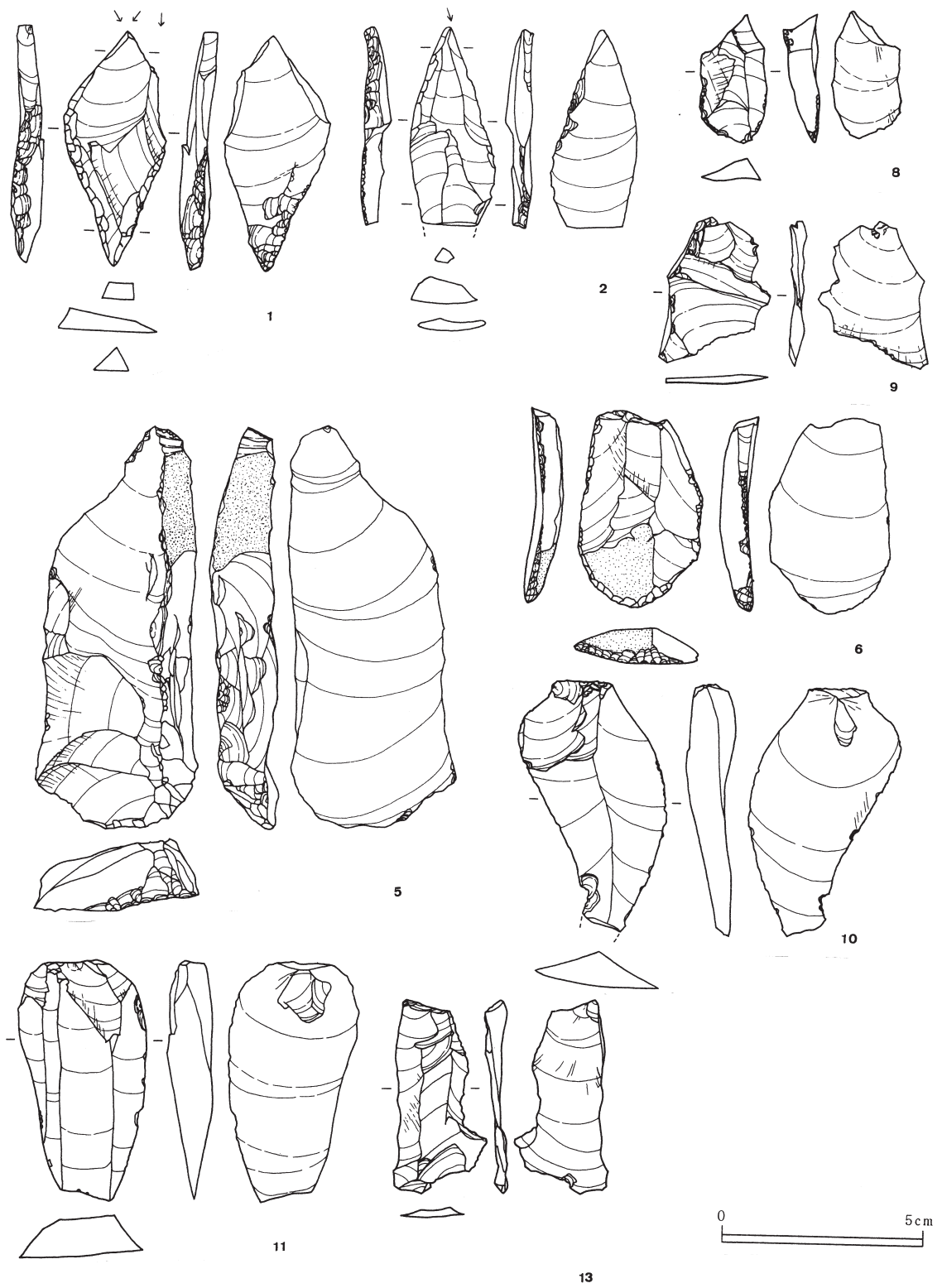
第34図 八幡根東遺跡 第5号ブロック出土石器 (1)



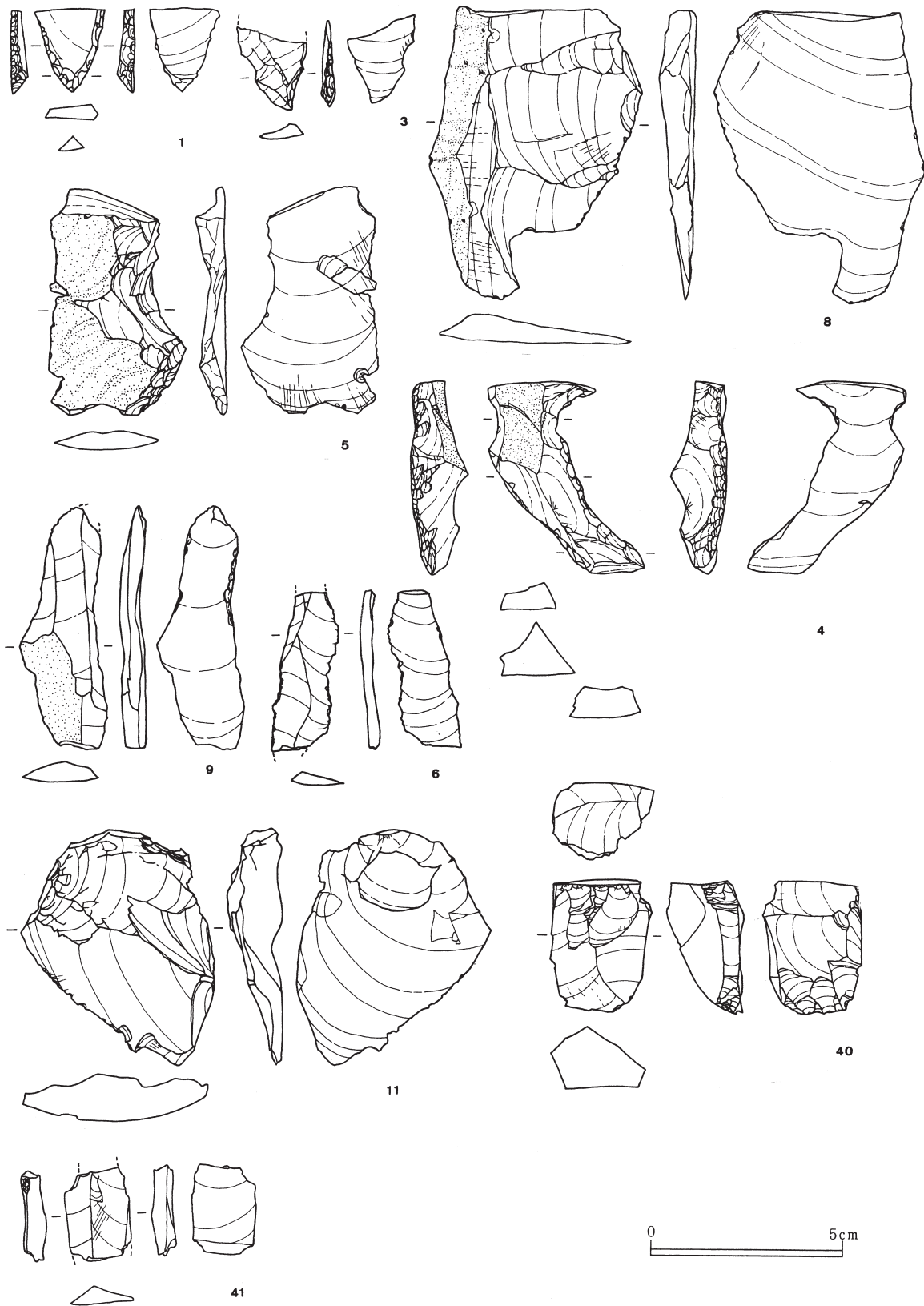
第35図 八幡根東遺跡 第5号ブロック出土石器（2）



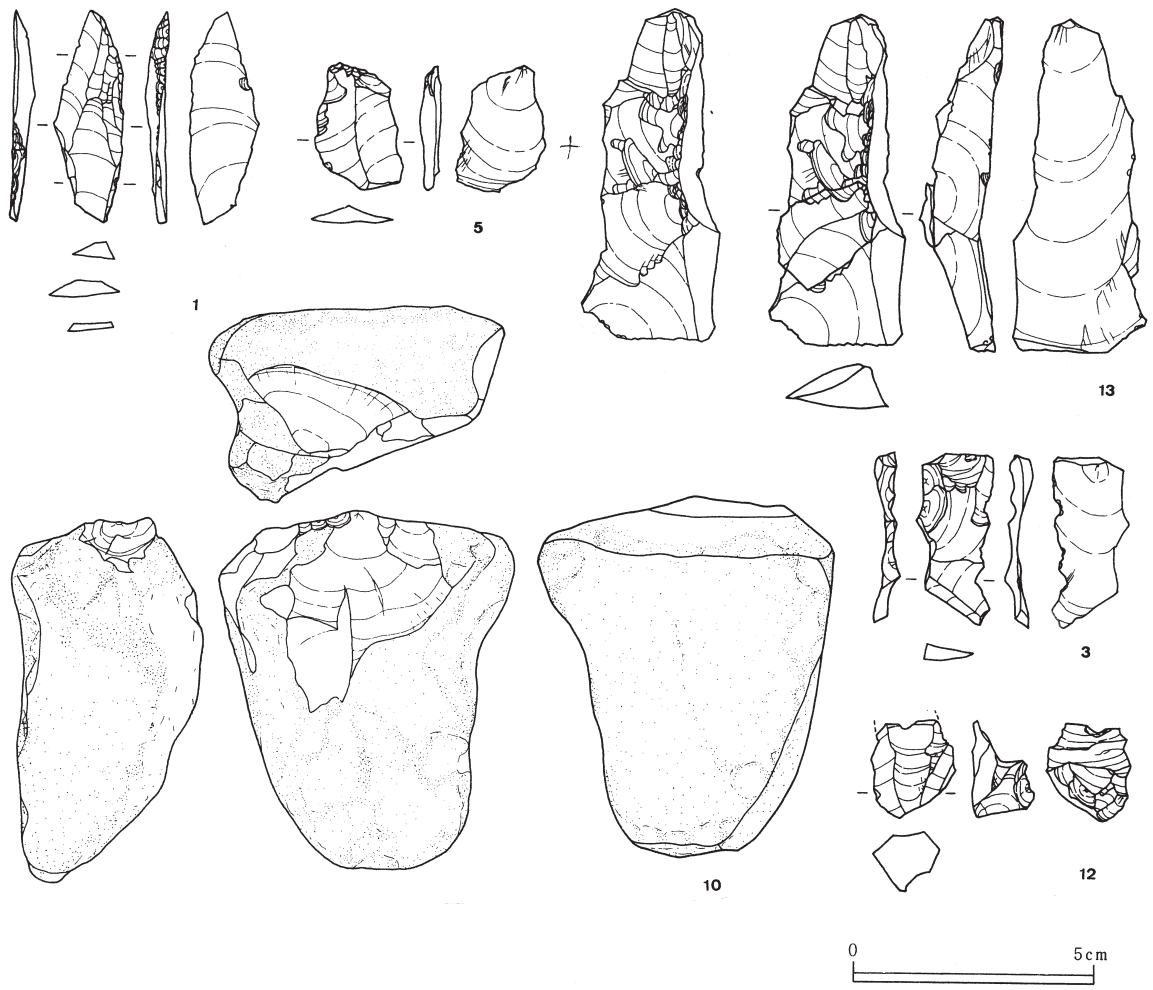
第36図 八幡根東遺跡 第6号ブロック出土石器



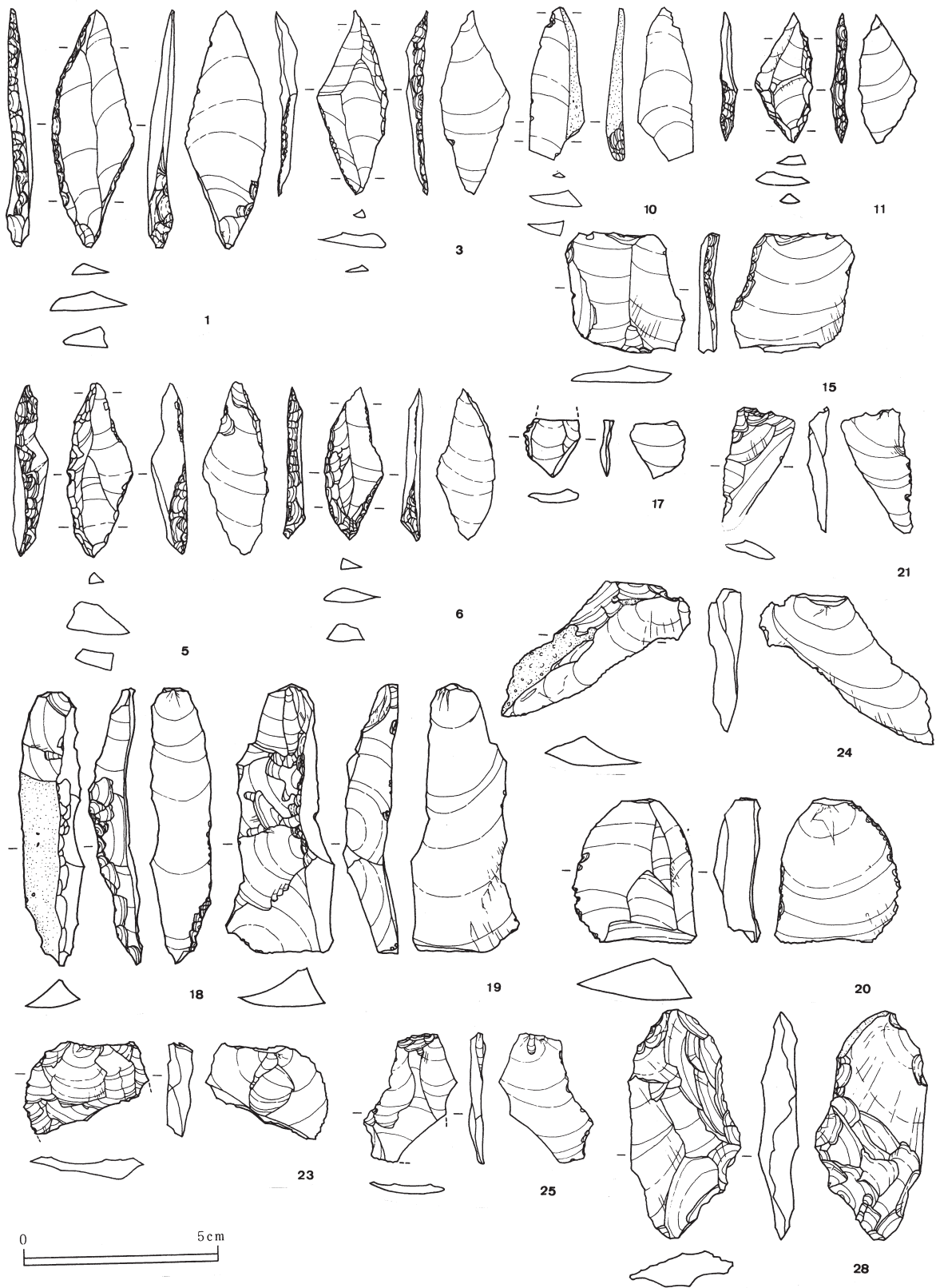
第37図 八幡根東遺跡 第7号ブロック出土石器



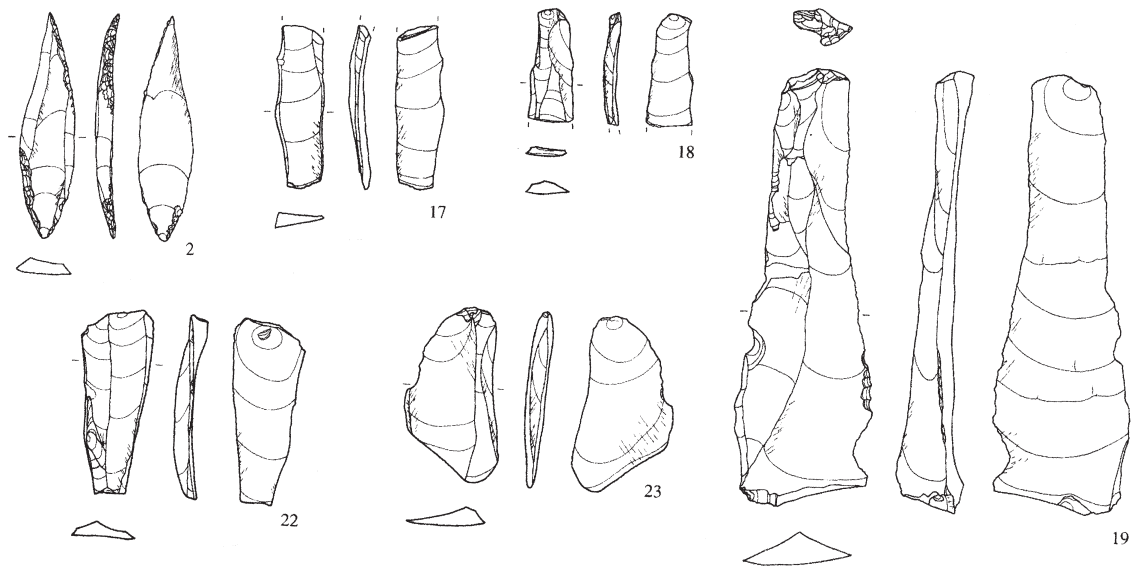
第38図 八幡根東遺跡 第8号ブロック出土石器



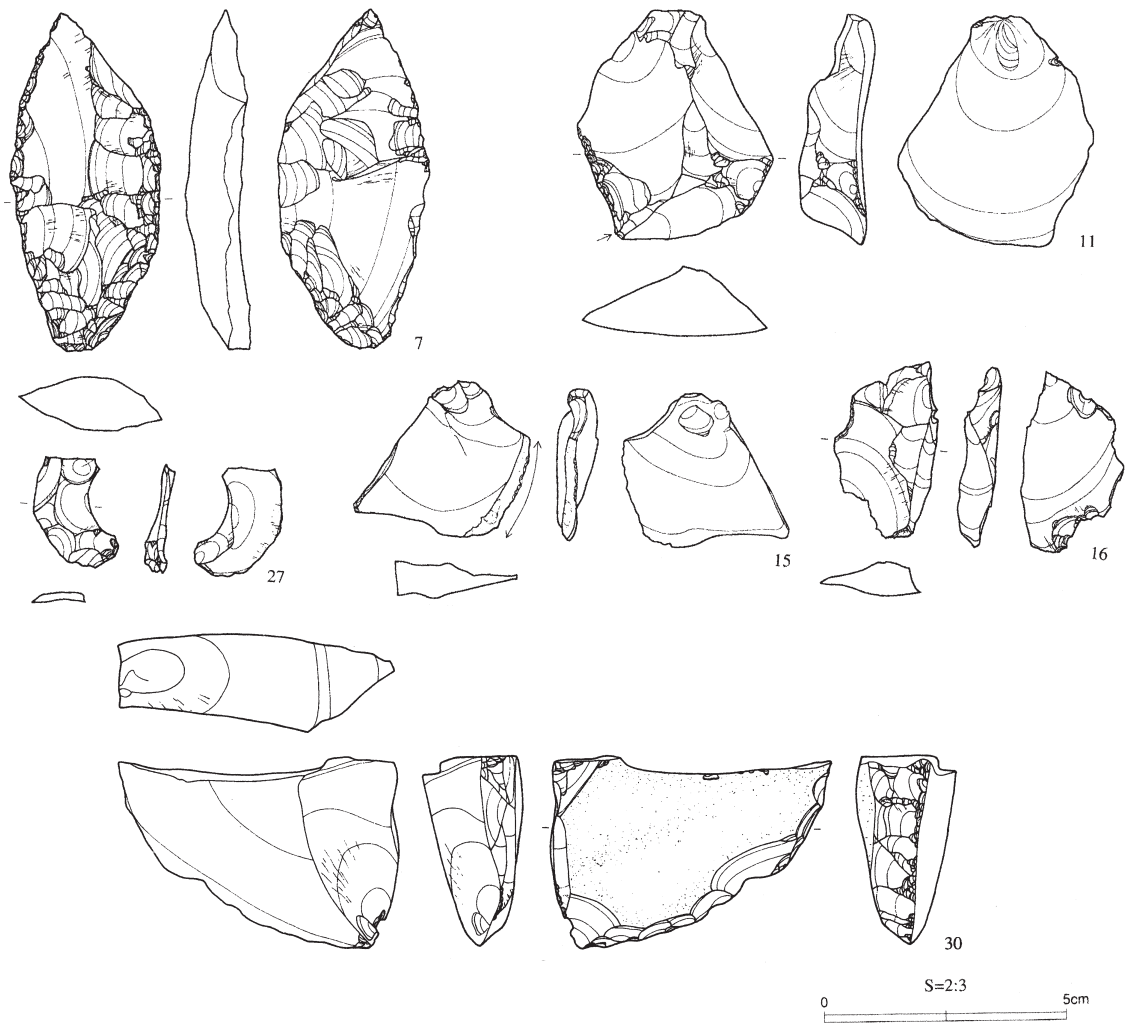
第39図 八幡根東遺跡 第9号ブロック出土石器



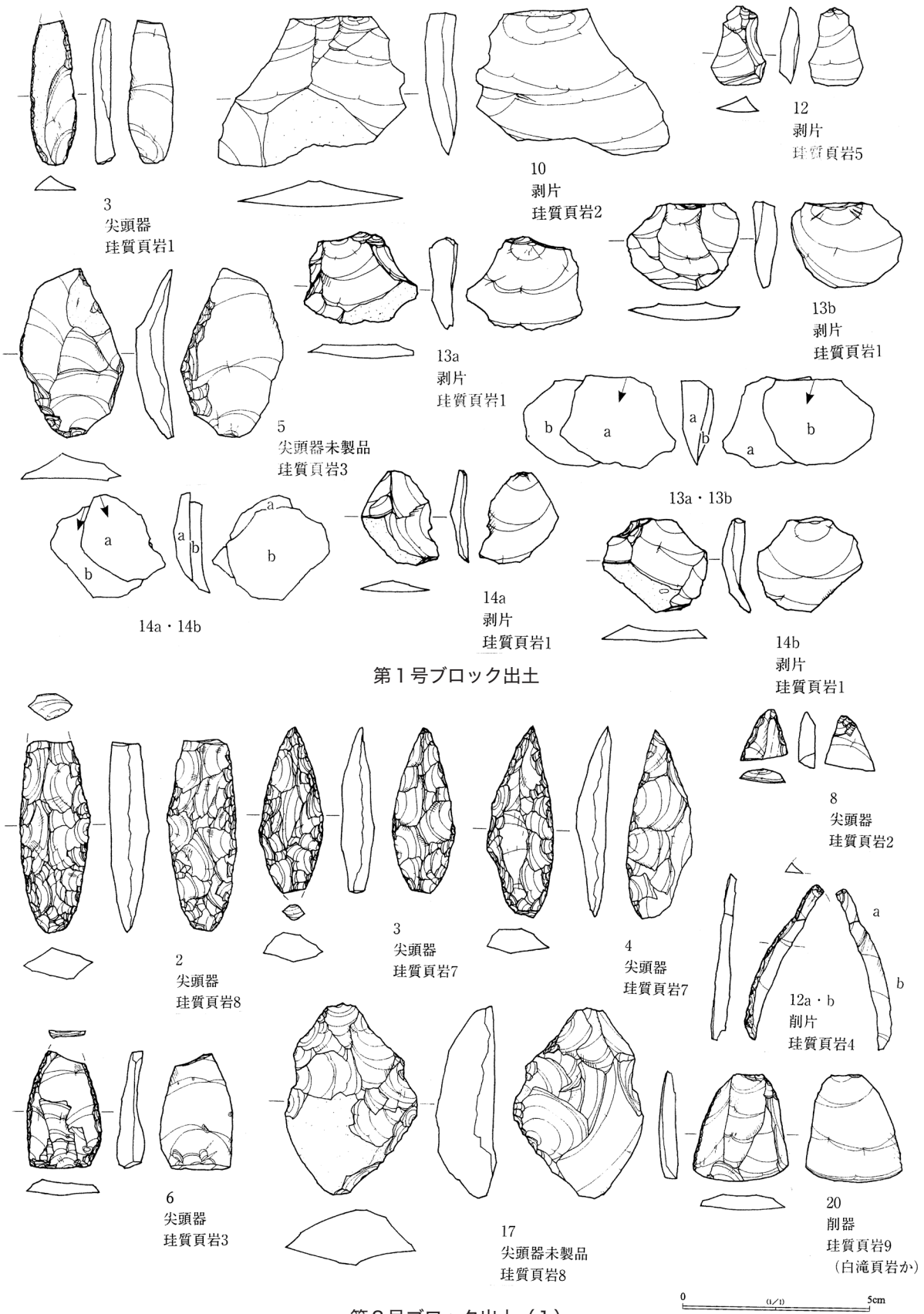
第40図 八幡根東遺跡 ブロック外出土石器



第41図 多功南原遺跡 第6号ブロック出土石器

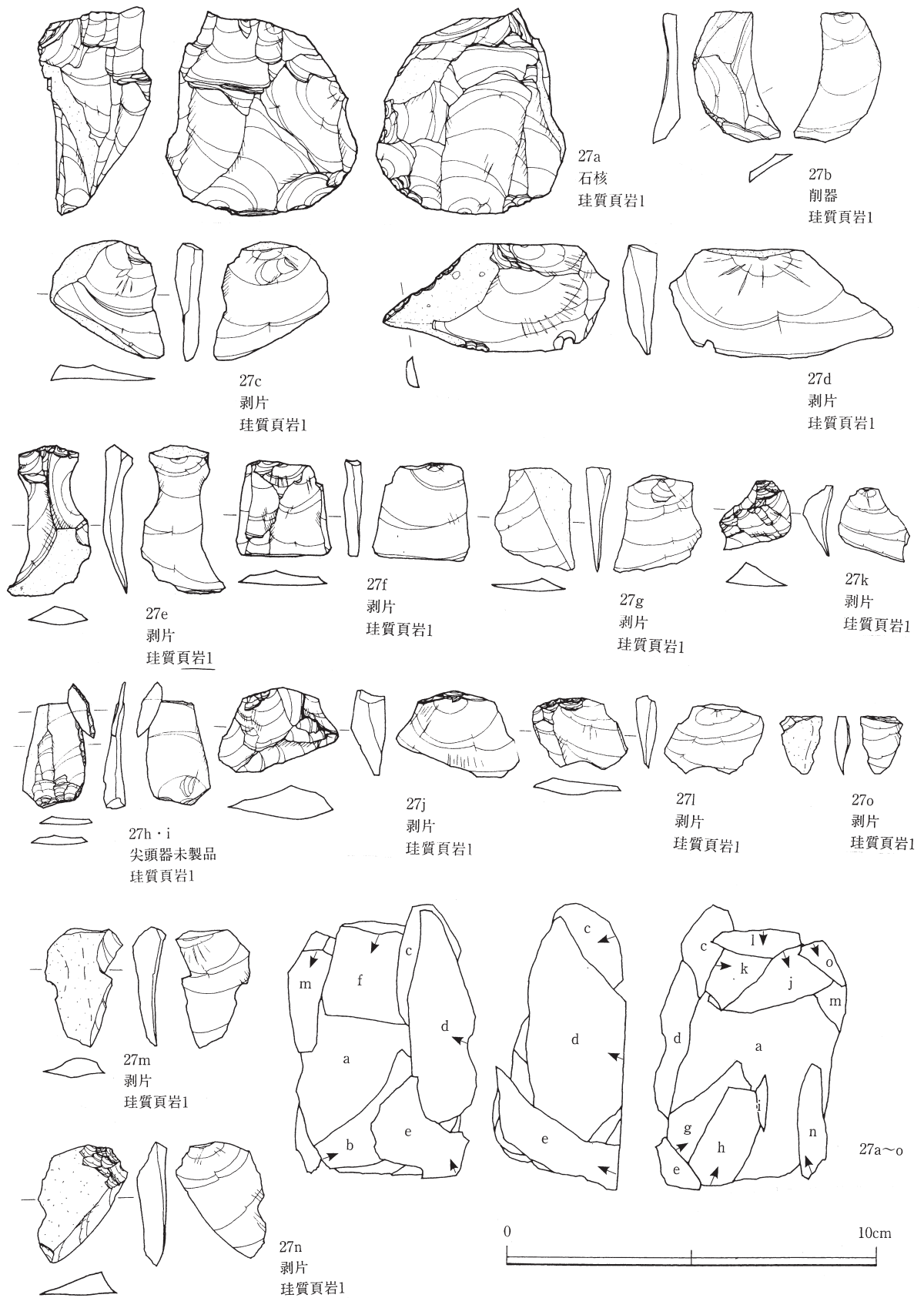


第42図 多功南原遺跡 ブロック外出土石器



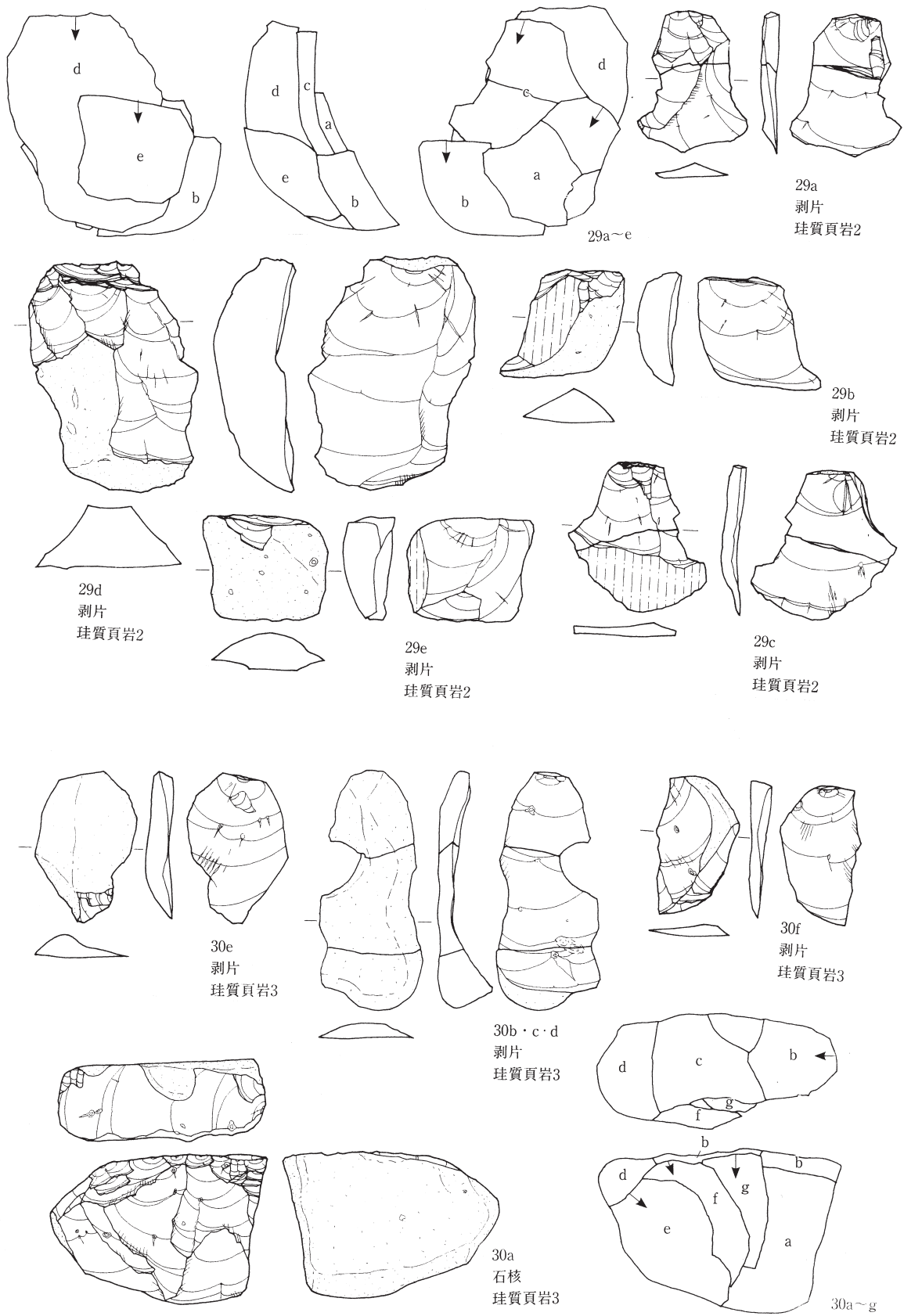
第2号ブロック出土 (1)

第43図 寺平遺跡 第1文化層出土石器 (1)



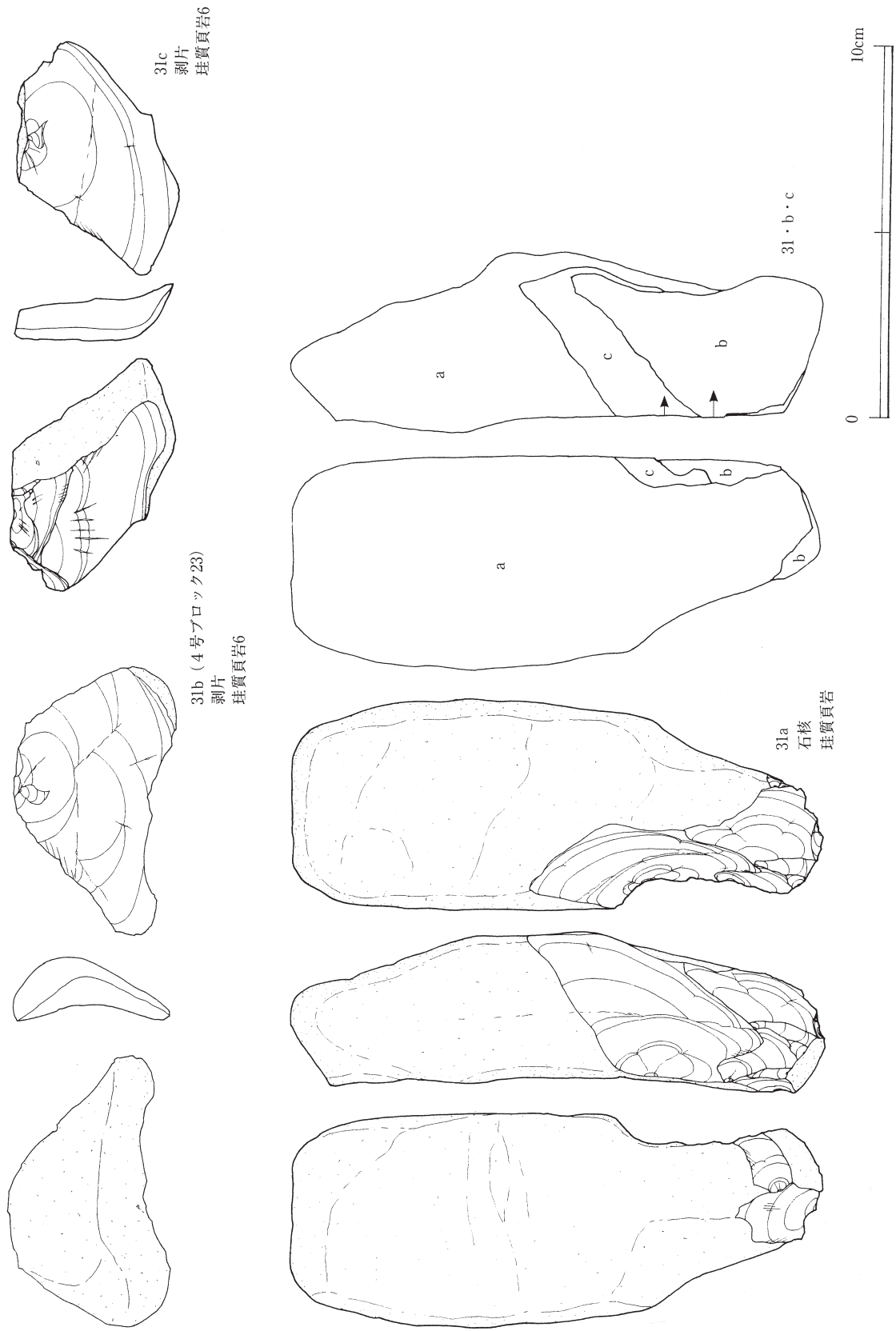
第2号ブロック出土（2）

第44図 寺平遺跡 第1文化層出土石器（2）



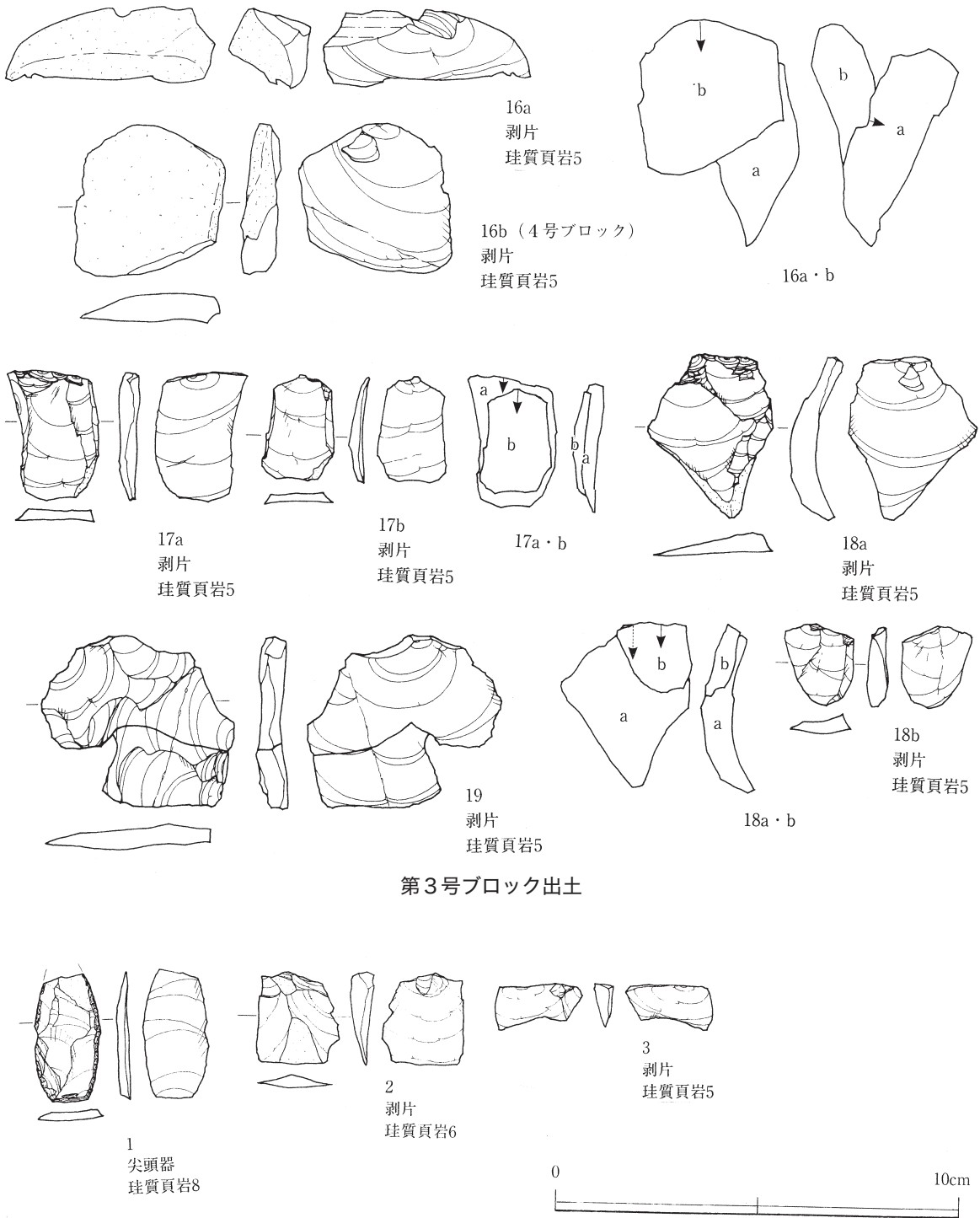
第2号ブロック出土 (3)

第45図 寺平遺跡 第1文化層出土石器 (3)

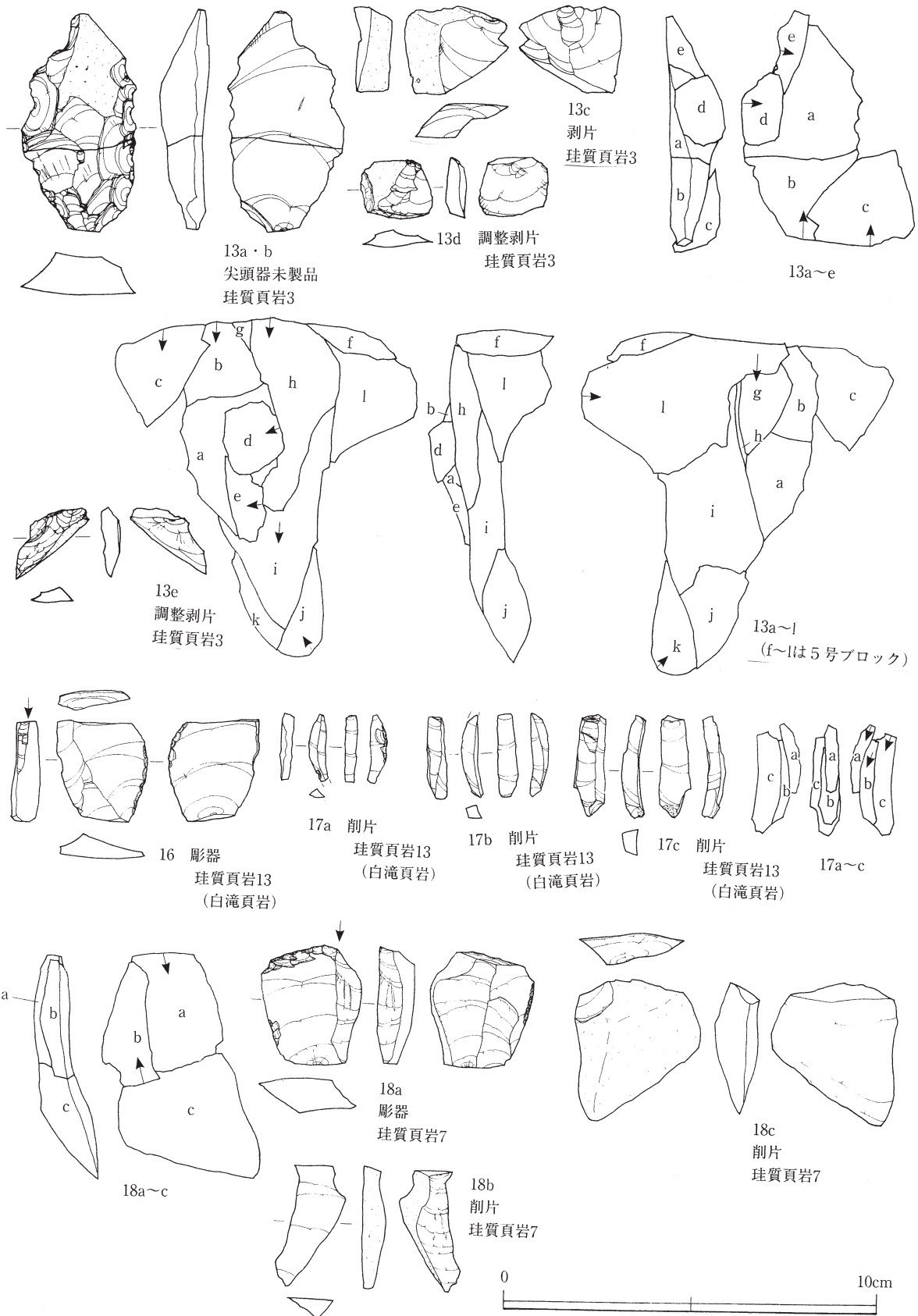


第2号ブロック出土（4）

第46図 寺平遺跡 第1文化層出土石器（4）

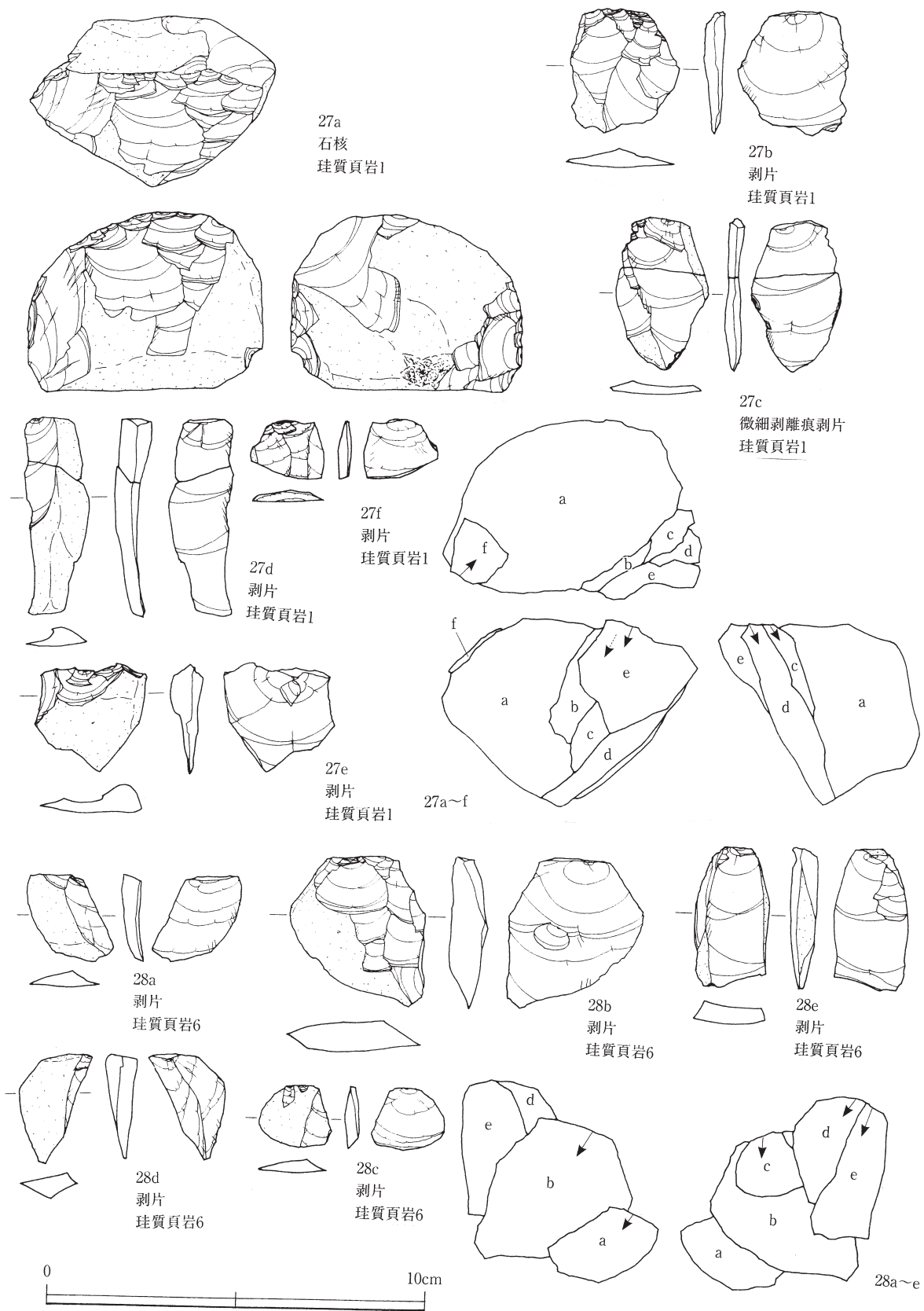


第47図 寺平遺跡 第1文化層出土石器 (5)



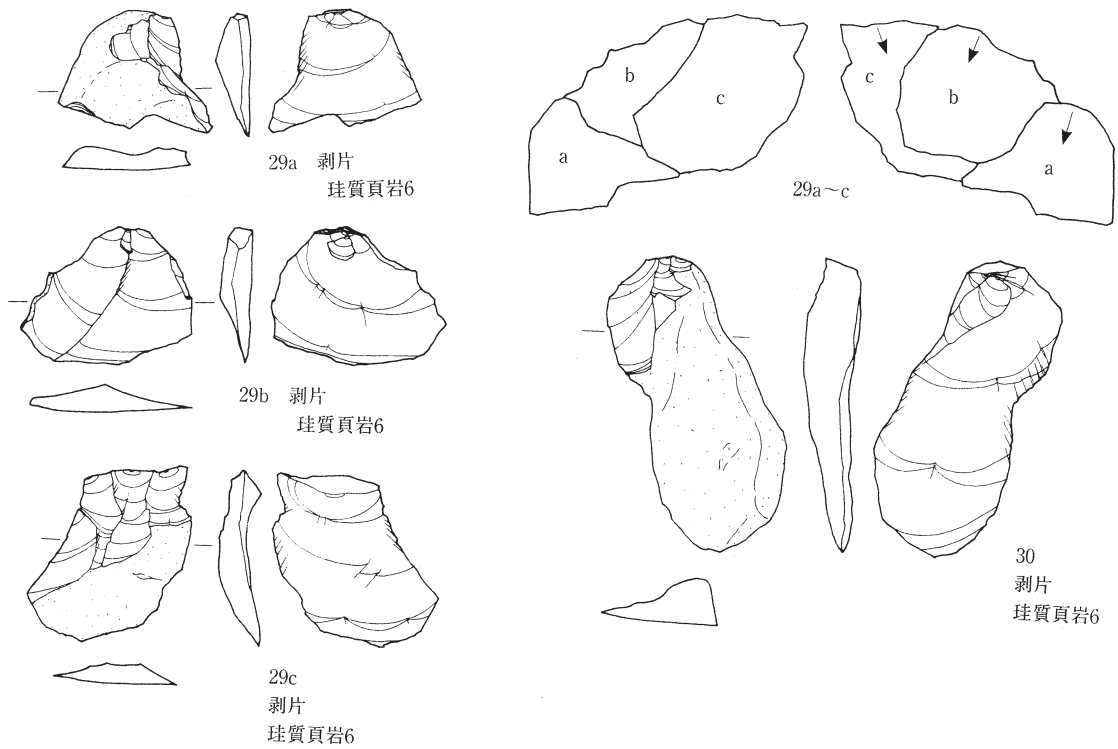
第4号ブロック出土（1）

第48図 寺平遺跡 第1文化層出土石器（6）

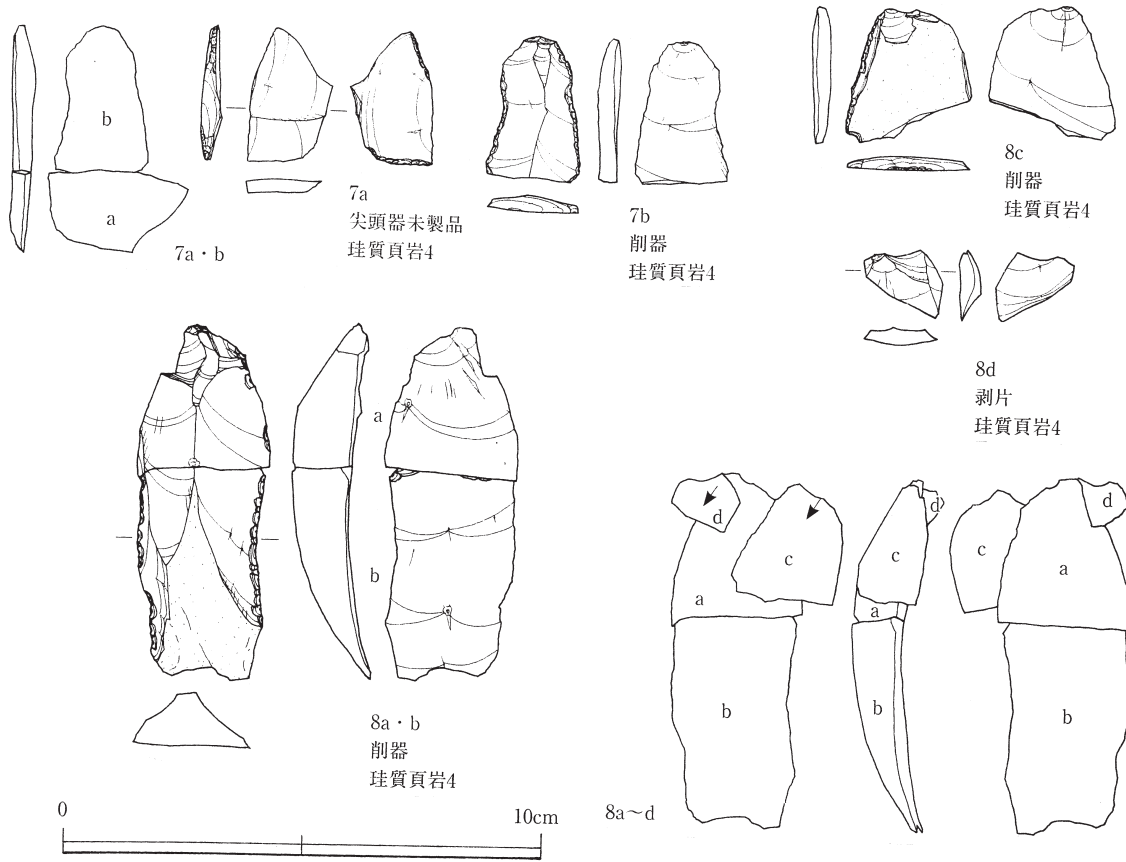


第4号ブロック出土 (2)

第49図 寺平遺跡 第1文化層出土石器 (7)

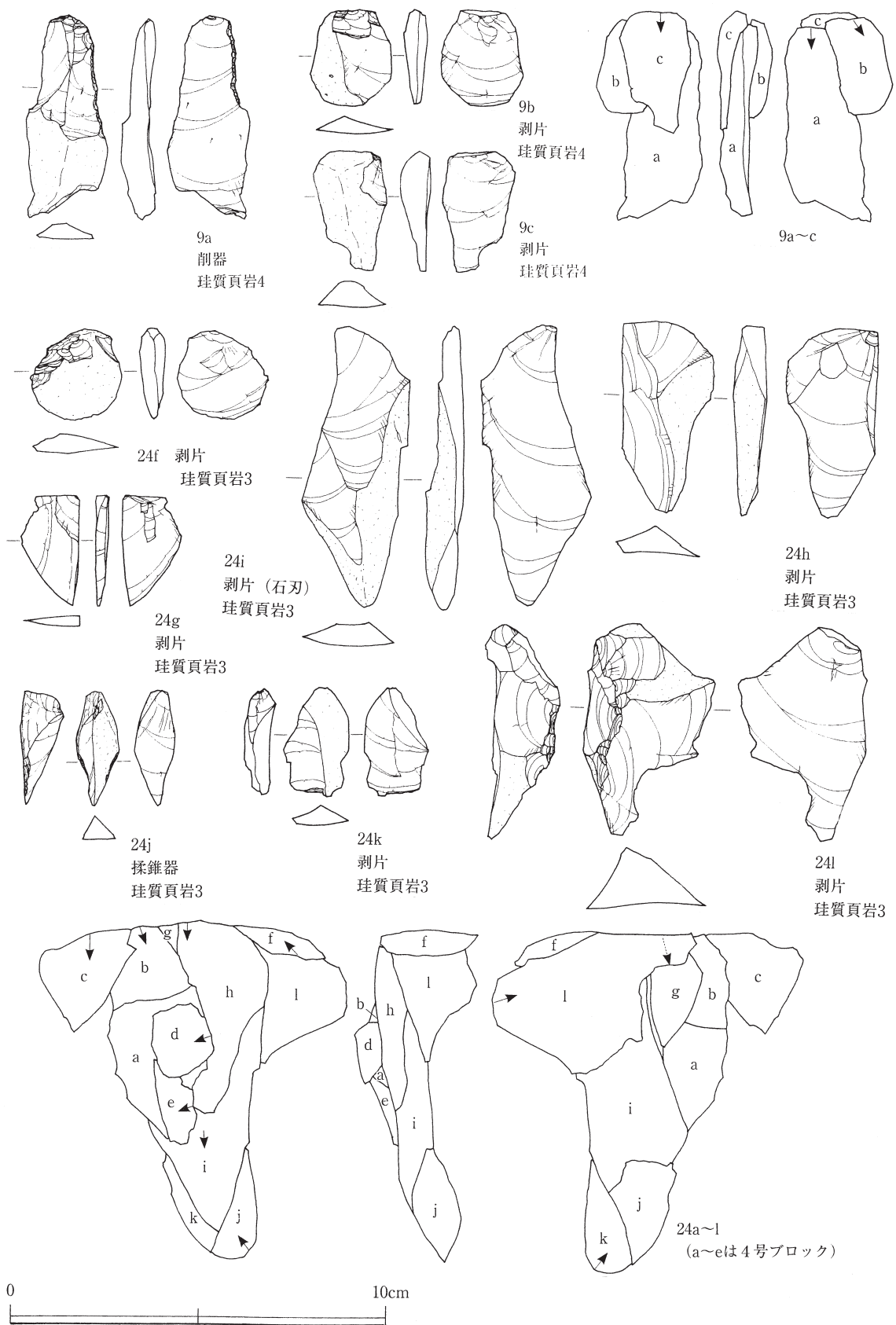


第4号ブロック出土（3）



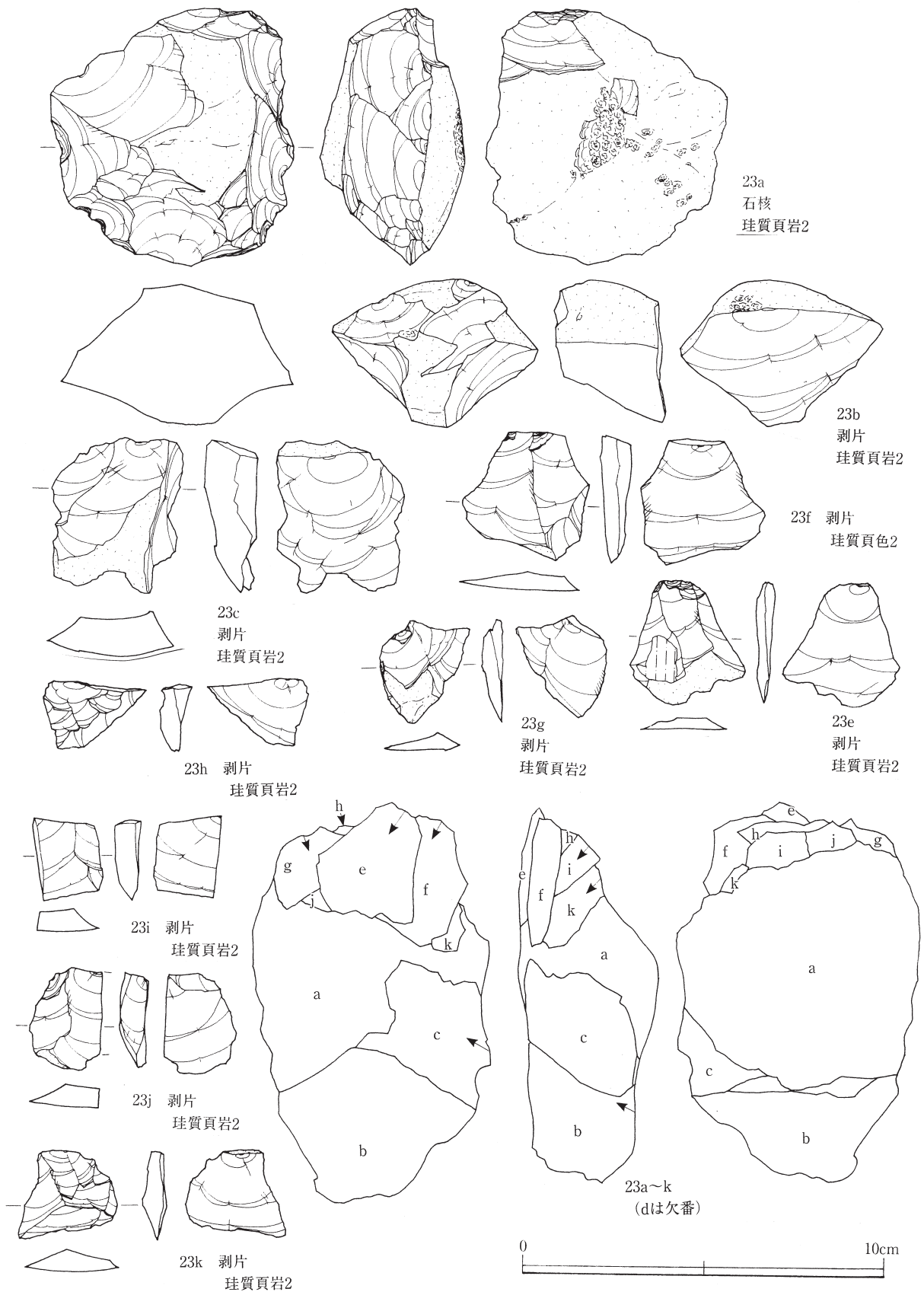
第5号ブロック出土（1）

第50図 寺平遺跡 第1文化層出土石器（8）



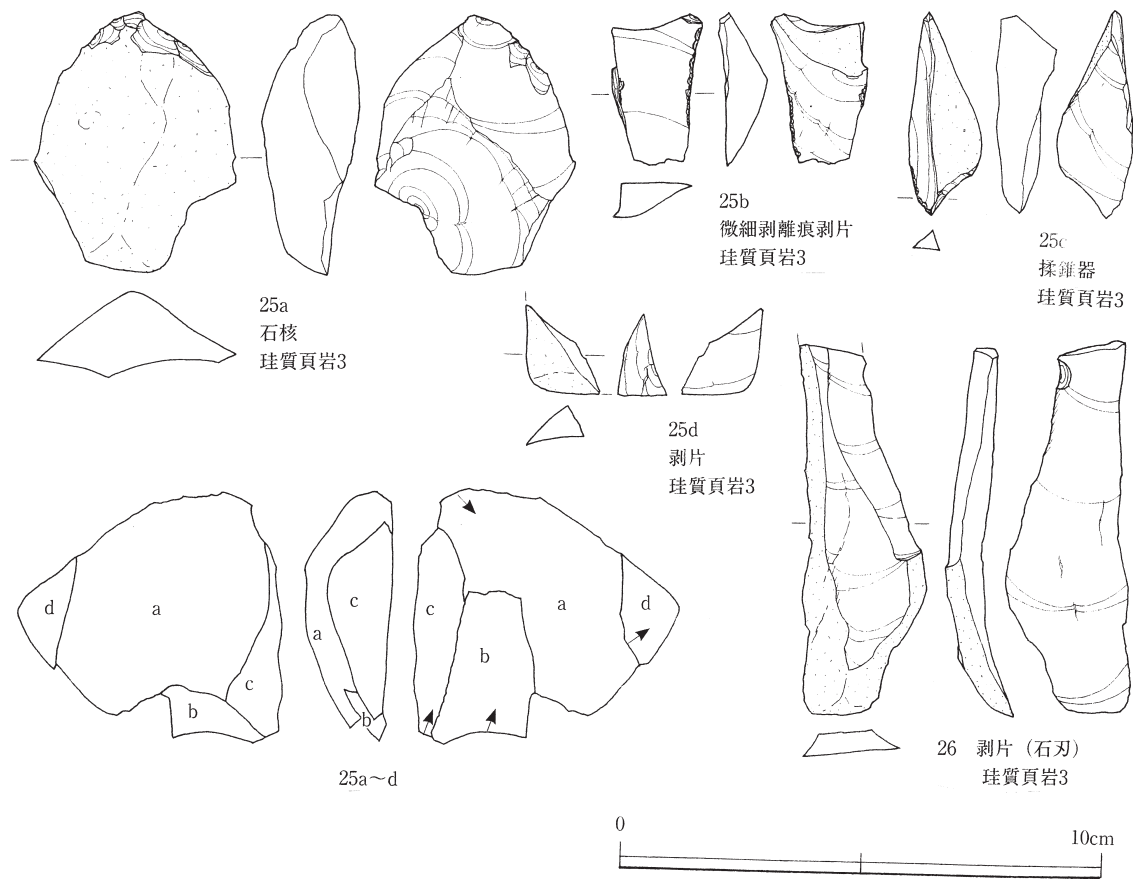
第5号ブロック出土(2)

第51図 寺平遺跡 第1文化層出土石器(9)



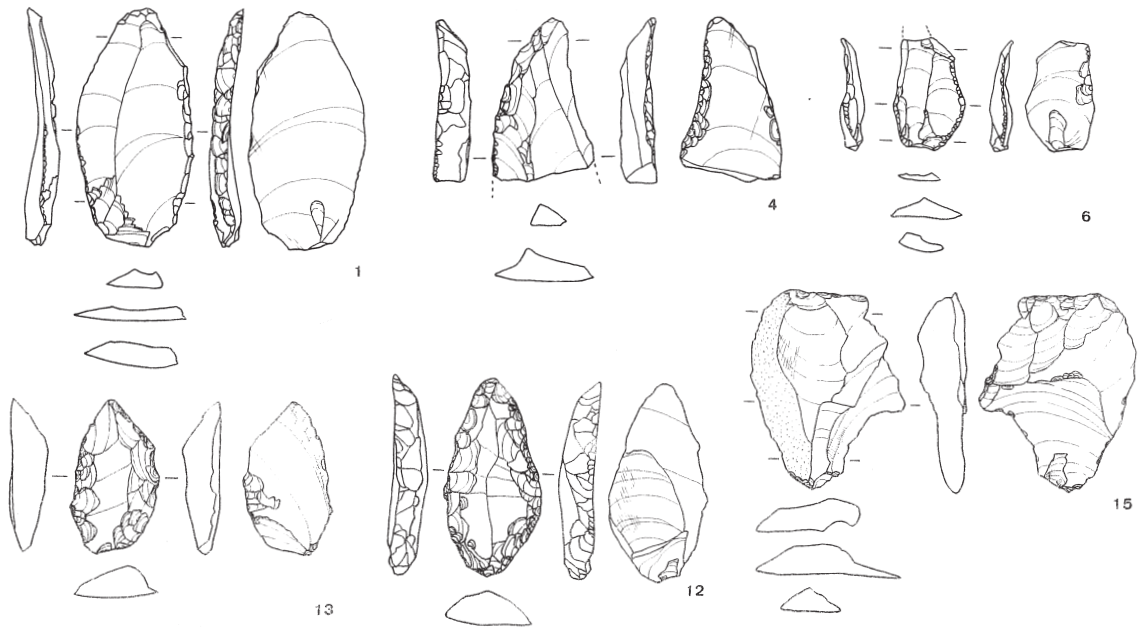
第5号ブロック出土（3）

第52図 寺平遺跡 第1文化層出土石器（10）

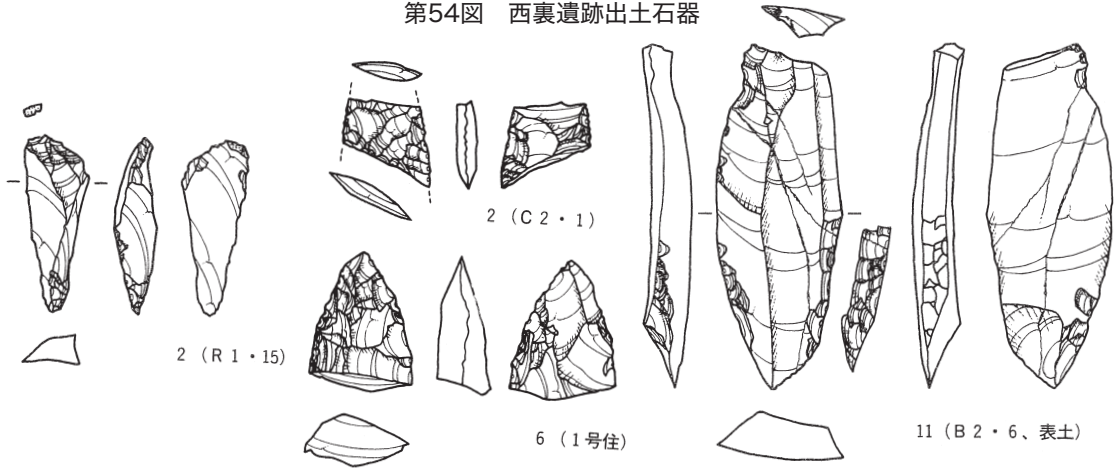


第5号ブロック出土 (4)

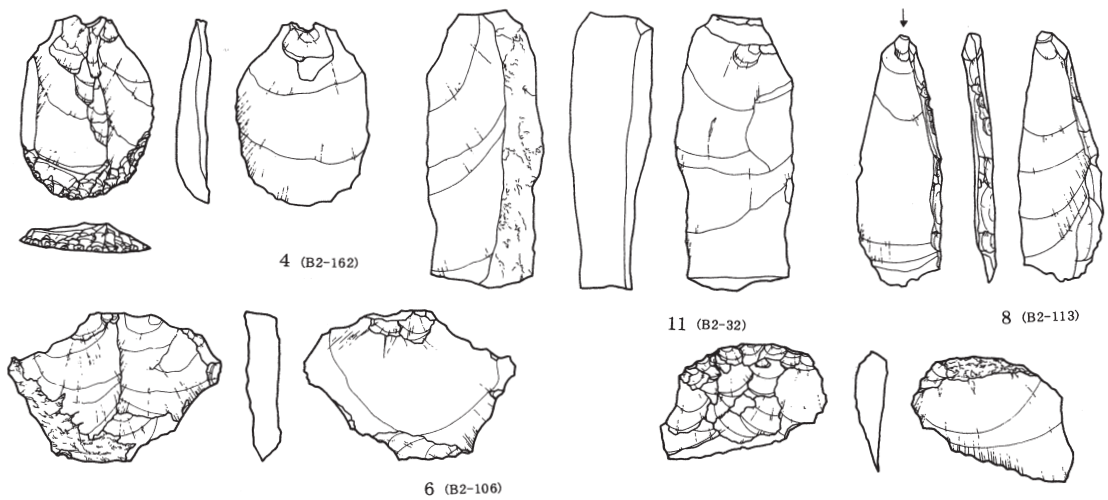
第53図 寺平遺跡 第1文化層出土石器 (11)



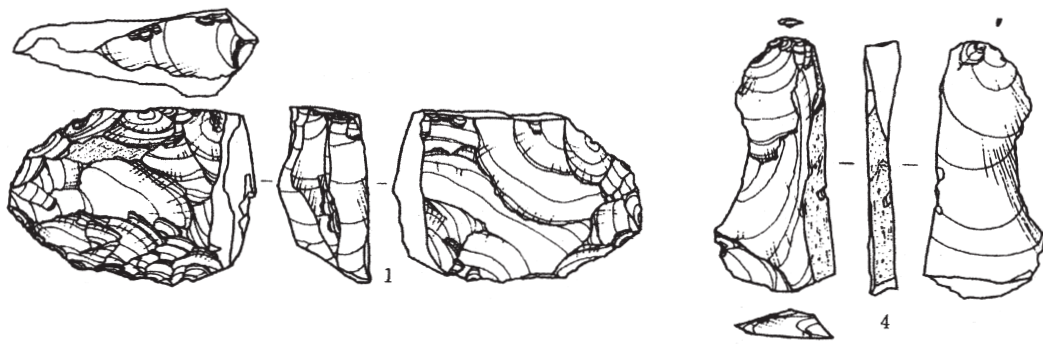
第54図 西裏遺跡出土石器



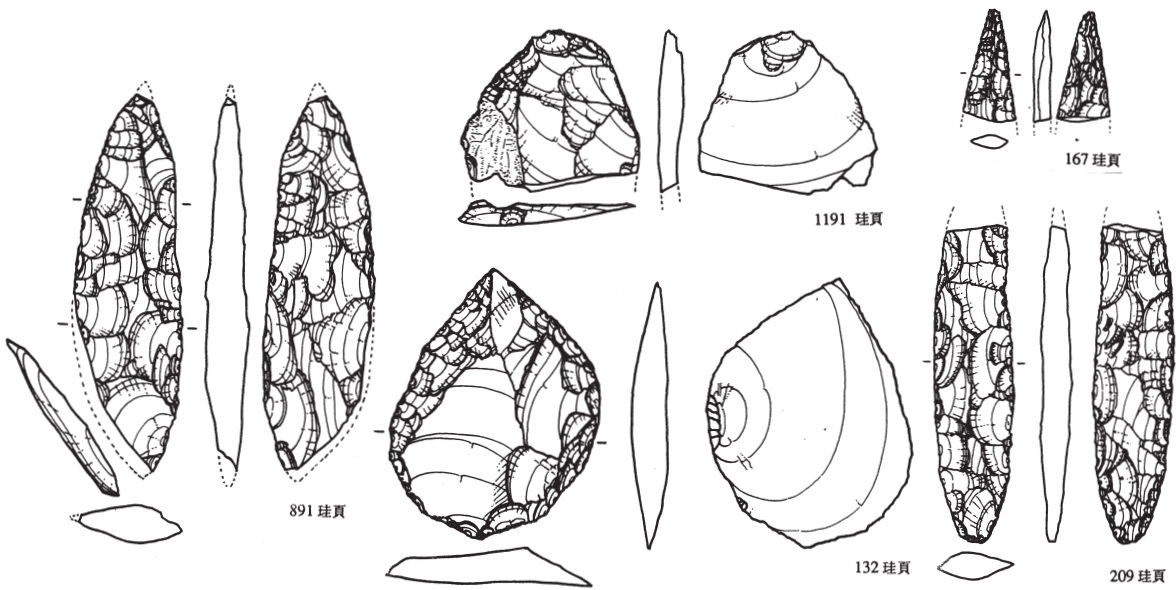
第55図 小倉水神社裏遺跡 ユニット外出土石器



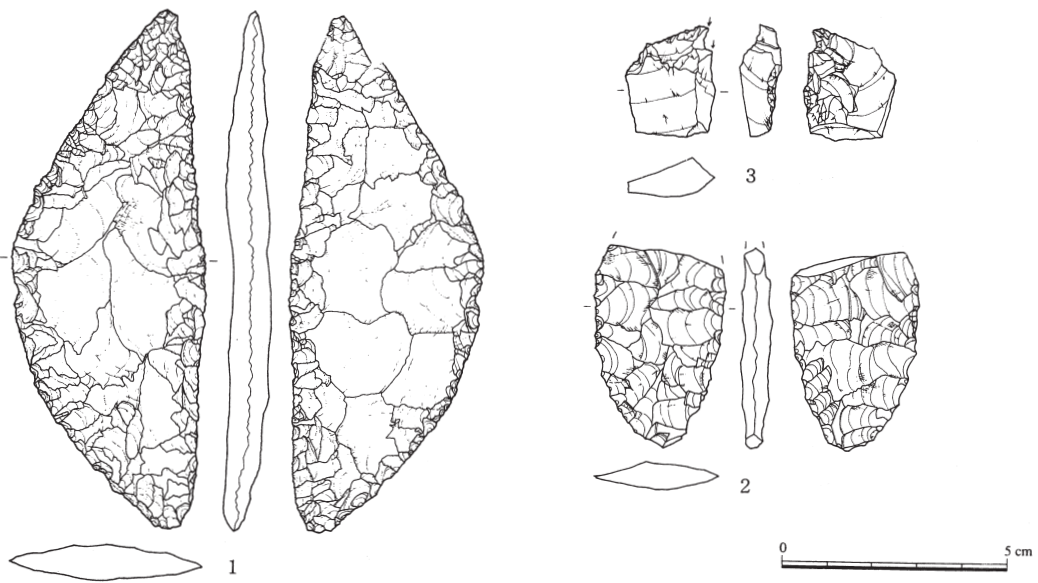
第56図 西赤堀遺跡 第IIブロック出土石器



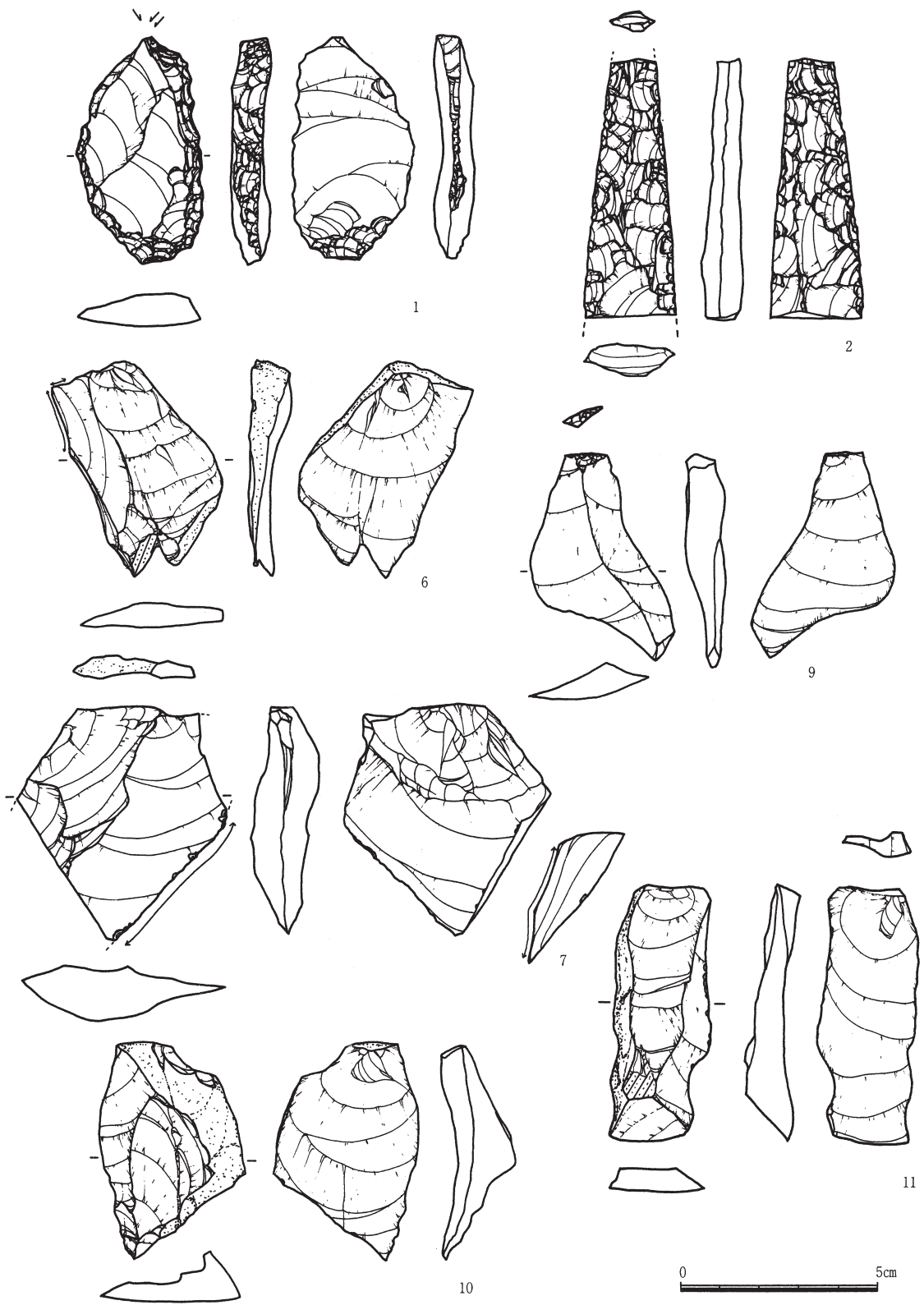
第57図 赤羽根遺跡出土石器



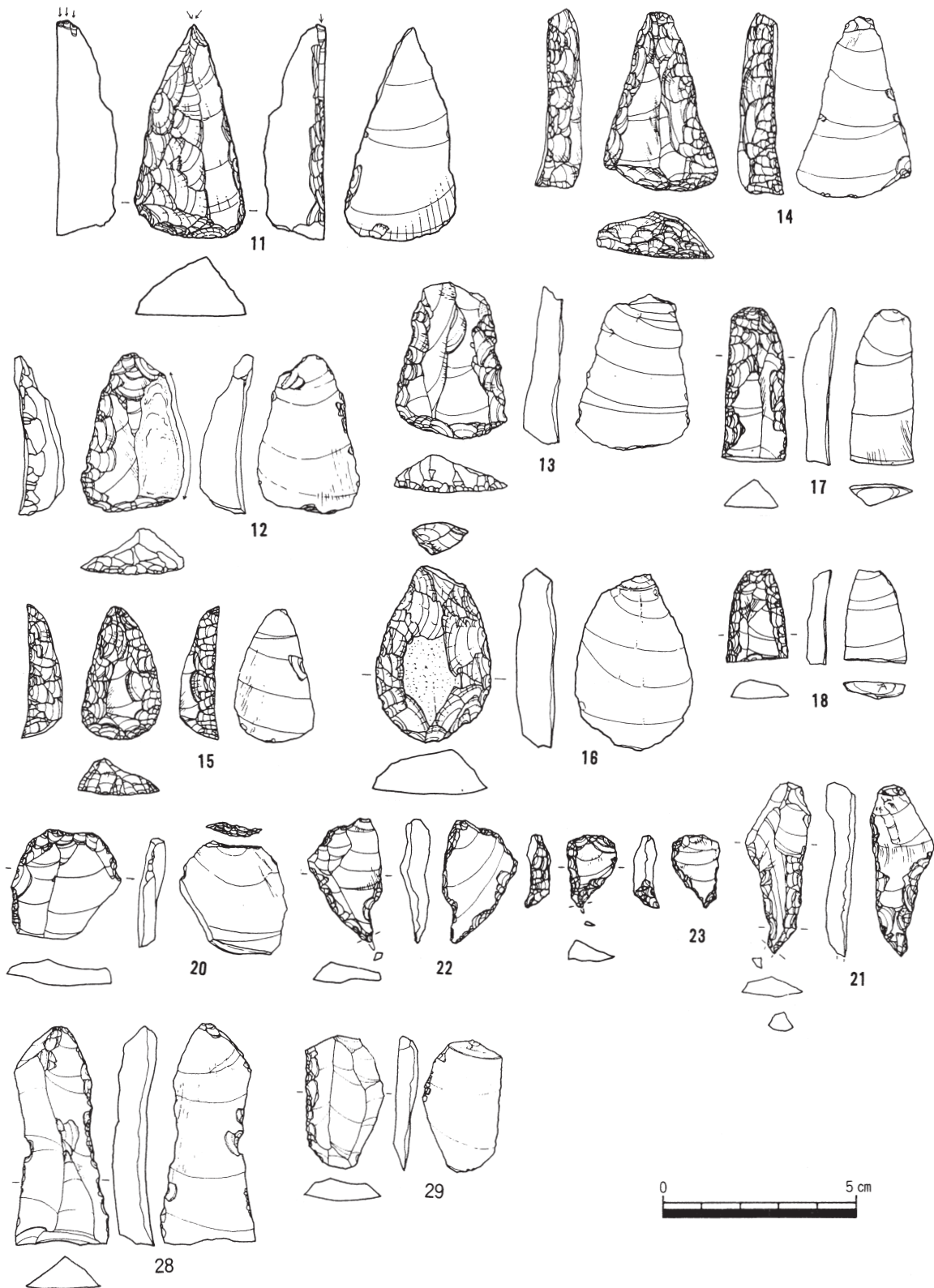
第58図 三ノ谷東遺跡 III地区第1文化層出土石器



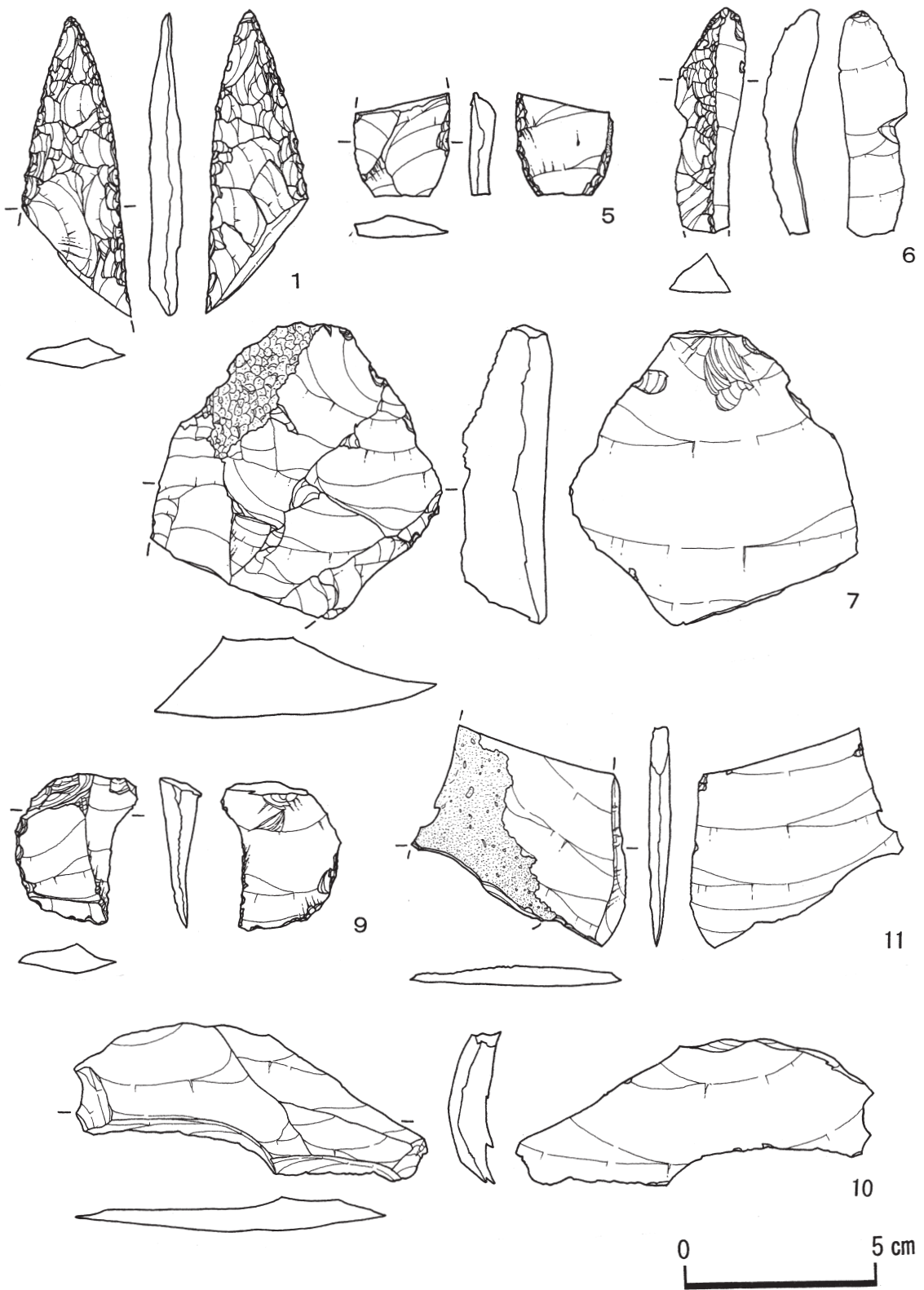
第59図 山崎北遺跡 包含層出土石器



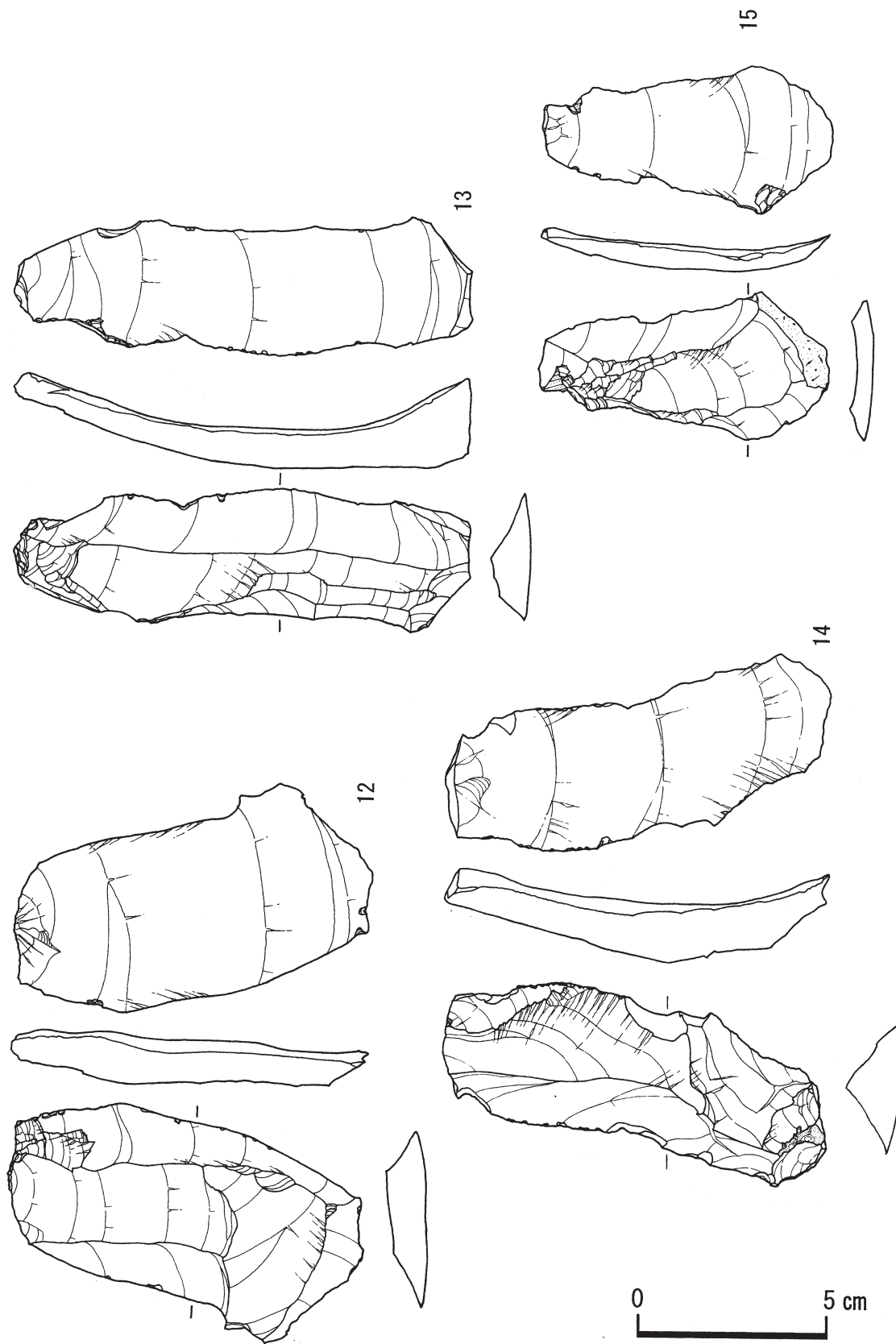
第60図 那須官衙関連遺跡 後世の遺構内出土石器



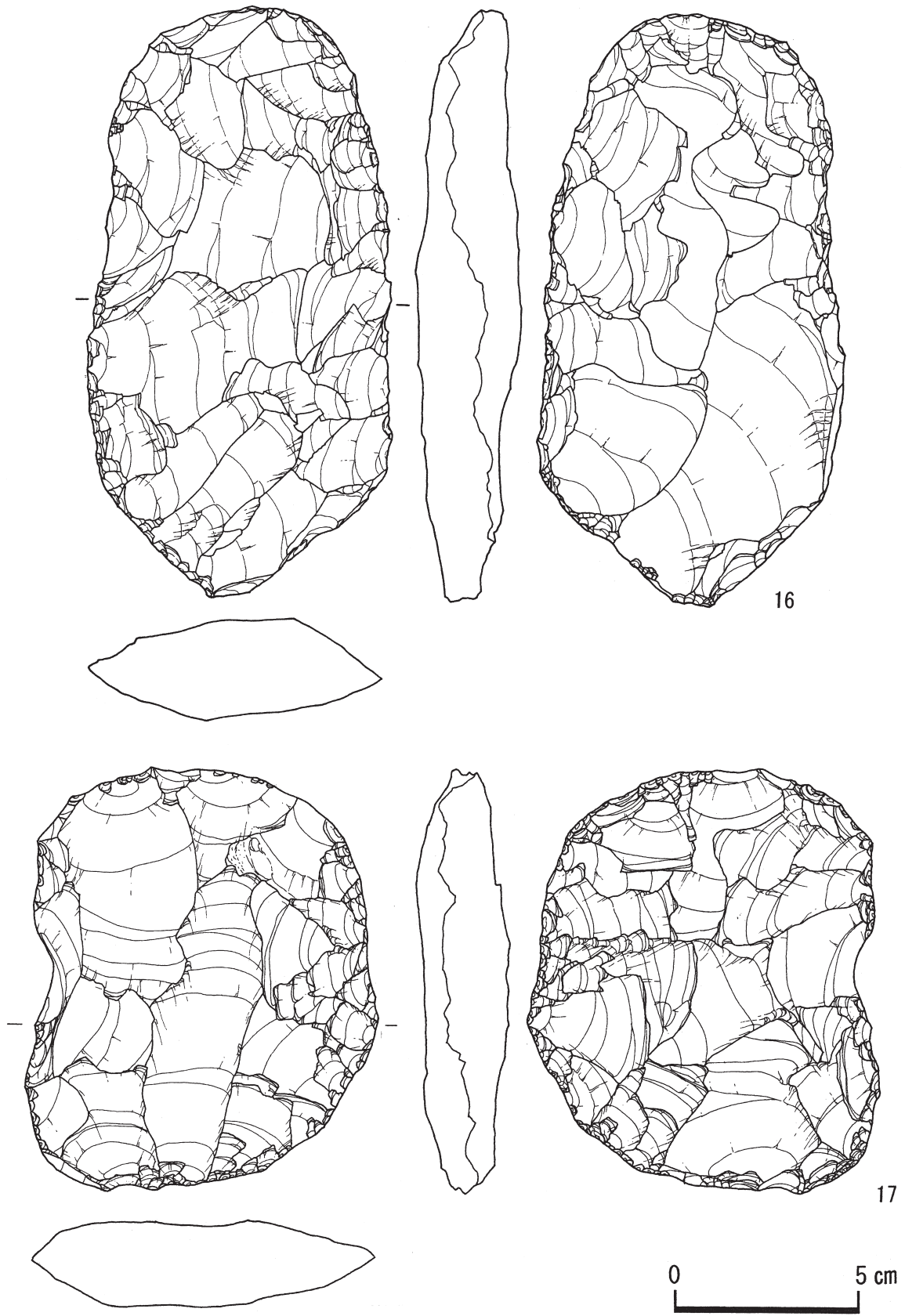
第61図 川木谷遺跡出土石器



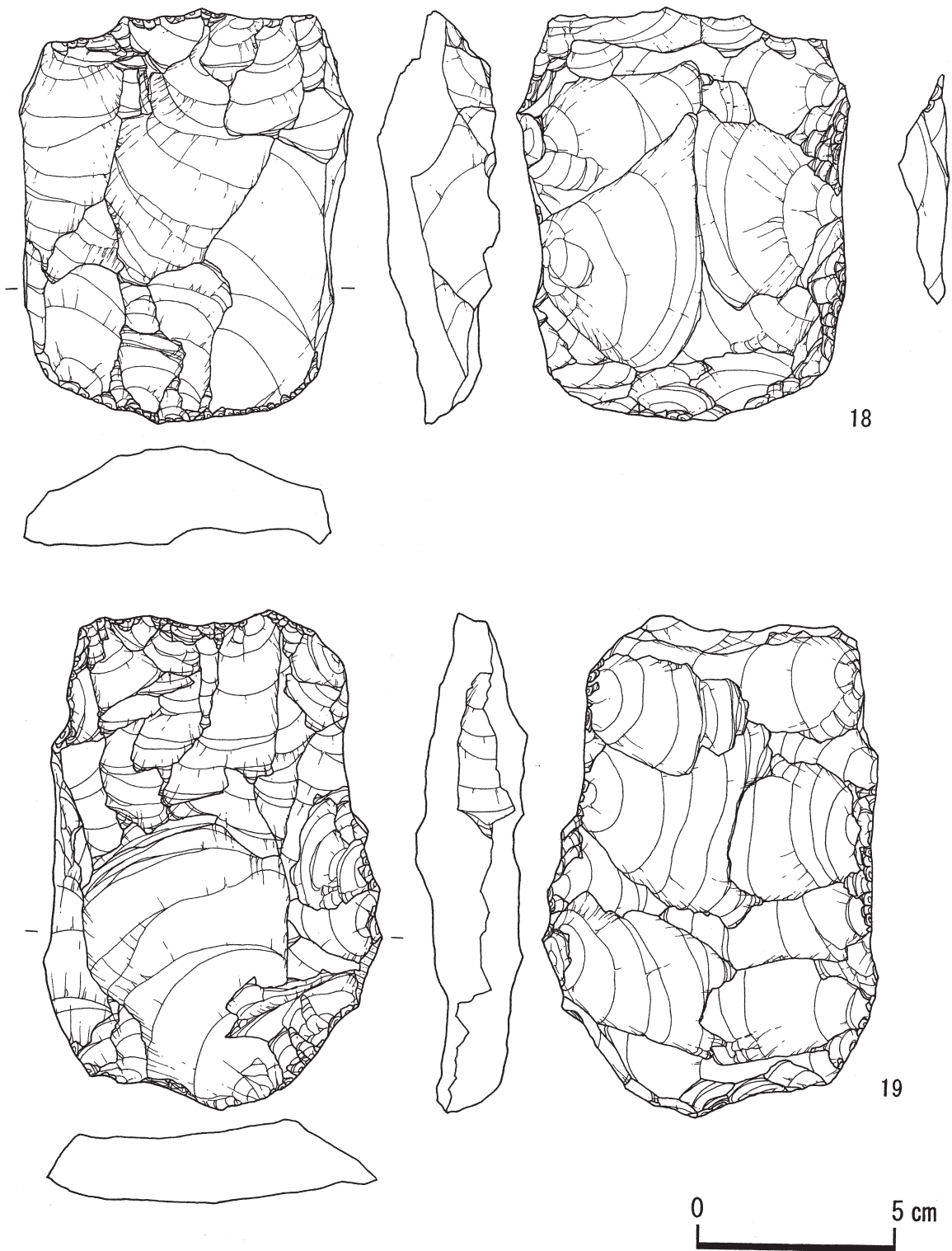
第62図 片府田富士山遺跡 後世の遺構内出土石器（1）



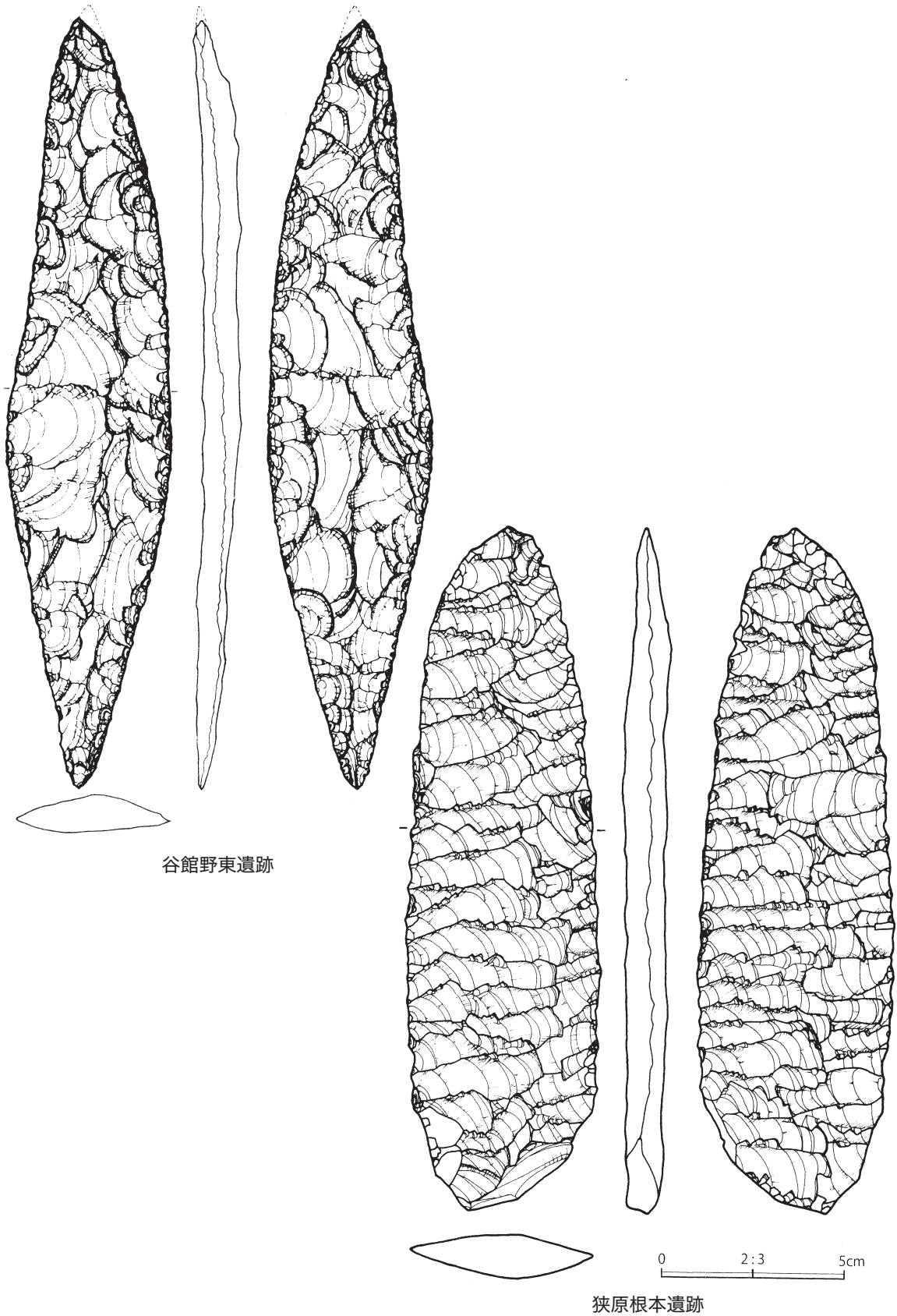
第63図 片府田富士山遺跡 後世の遺構内出土石器 (2)



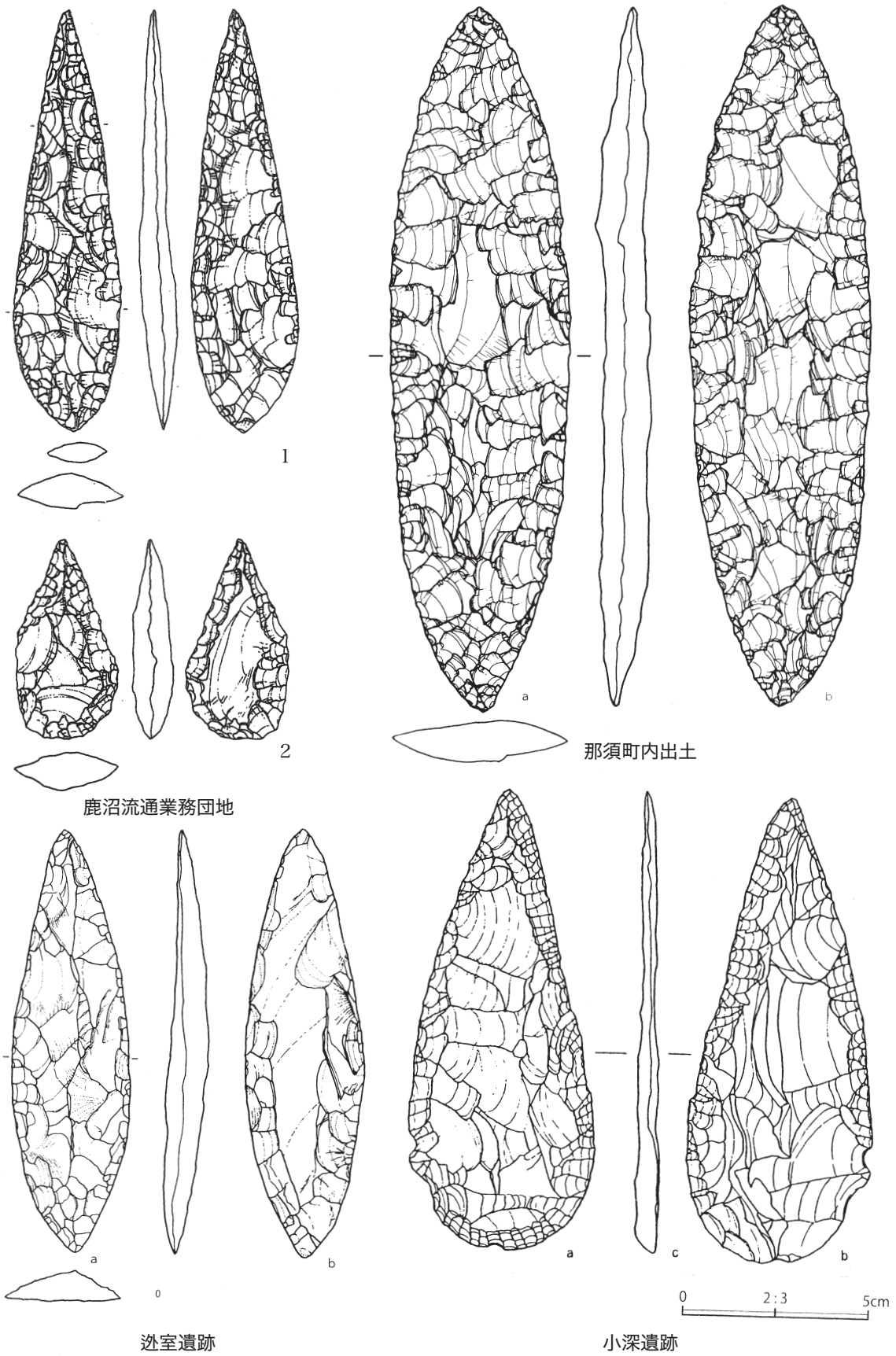
第64図 片府田富士山遺跡 後世の遺構内出土石器（3）



第65図 片府田富士山遺跡 後世の遺構内出土石器（4）



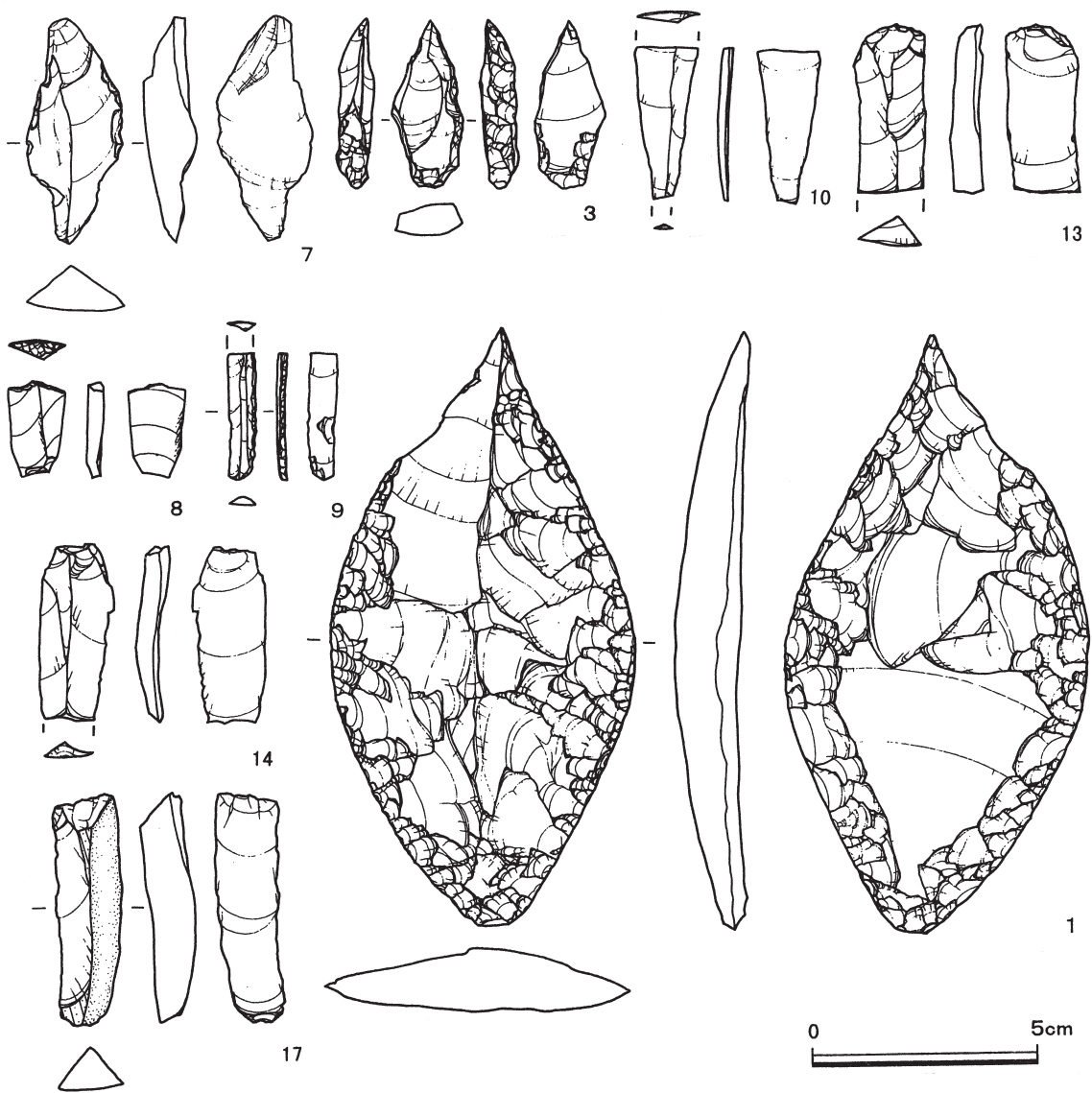
第66図 単独出土の大型尖頭器（1）



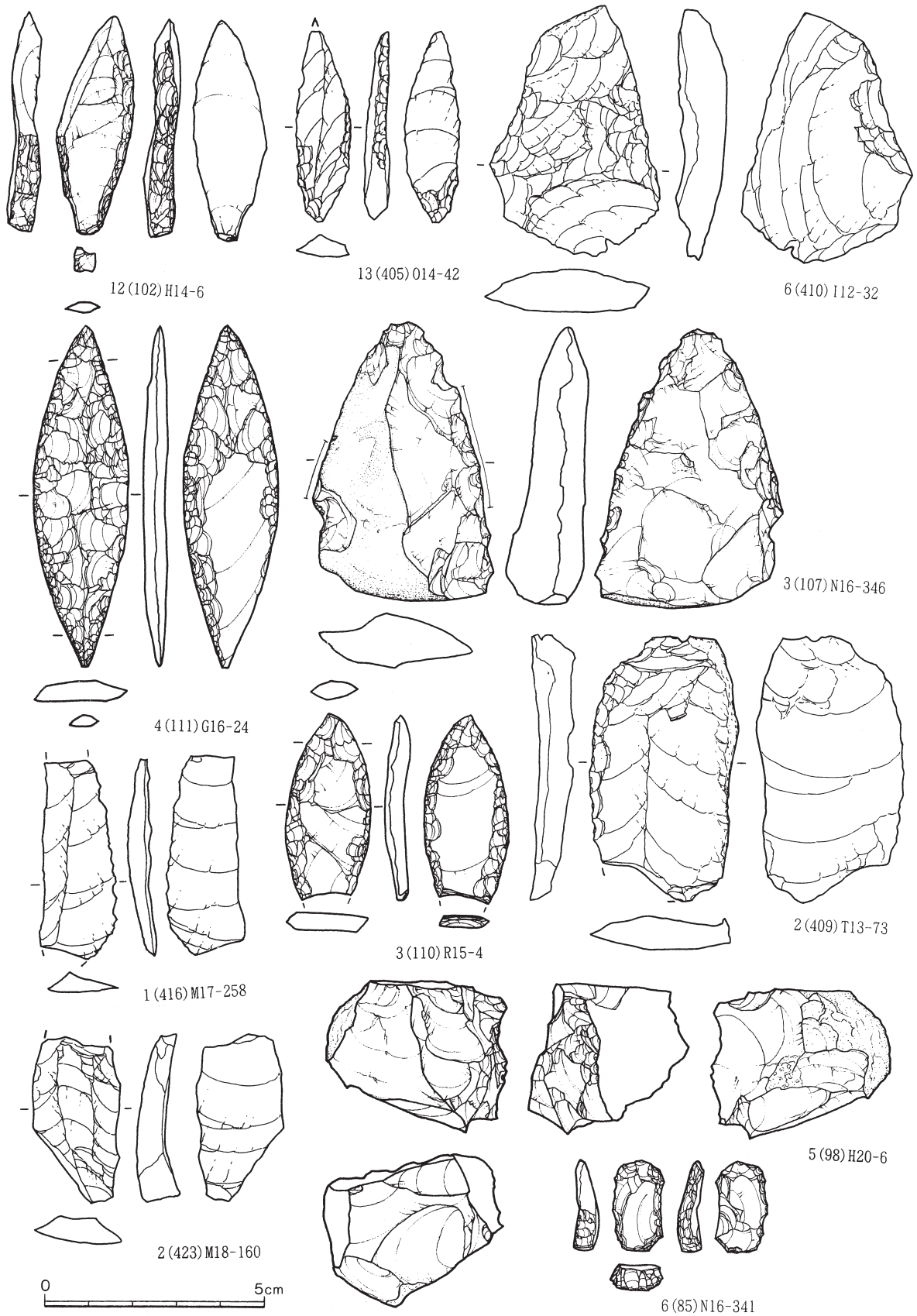
第67図 単独出土の大型尖頭器 (2)



第68図 間々田六本木遺跡 3号墳周辺地区出土石器



第69図 八剣遺跡 第1ブロック(7)・後世の遺構内出土石器



第70図 西山遺跡出土石器

研究紀要 第32号

発行 公益財団法人 とちぎ未来づくり財団

埋蔵文化財センター

〒329-0418

栃木県下野市紫474番地

TEL 0285 (44) 8441 (代表)

FAX 0285 (43) 1972

HP : <http://www.maibun.or.jp>

発行日 令和6 (2024) 年3月29日発行

印刷 第一印刷株式会社
